

愛宕中学校南舎トイレ改修工事

意匠図							
A-01	改修特記仕様書(1)		A-16	2階 トイレ平面詳細図【改修前・後】	1:50		
A-02	改修特記仕様書(2)		A-17	2階展開図【改修前】	1:50		
A-03	改修特記仕様書(3)		A-18	2階展開図【改修後】	1:50		
A-04	改修特記仕様書(4)		A-19	3階 トイレ平面詳細図【改修前・後】	1:50		
A-05	改修特記仕様書(5)		A-20	3階展開図【改修前】	1:50		
A-06	改修特記仕様書(6)		A-21	3階展開図【改修後】	1:50		
A-07	付近見取図・配置図兼仮設計画図	1:500	A-22	天井伏図【改修前・後】	1:100		
A-08	仕上表	—	A-23	建具表【改修前】	1:100		
A-09	1・2階平面図・仮設計画図	1:150	A-24	建具・サイン配置図【改修後】	1:60		
A-10	3階平面図・屋根伏図・仮設計画図	1:150	A-25	建具表【改修後】	1:100		
A-11	断面詳細図・立面図【改修前】	1:50	A-26	サイン図【改修前・後】	1:5・1:10 1:20		
A-12	断面詳細図・立面図【改修後】	1:50	A-27	部分詳細図	1:5・1:10		
A-13	1階 トイレ平面詳細図【改修前・後】	1:50					
A-14	1階展開図【改修前】	1:50					
A-15	1階展開図【改修後】	1:50					

愛宕中学校南舎トイレ改修工事 特記仕様書		2026.04		項目	特記事項	項目	特記事項
I 工事概要 1. 工事場所 高知市相模町1番54号 2. 工事種目 【南舎】鉄筋コンクリート造+鉄骨造 3階建て 延べ面積1,781㎡ 1) トイレ改修一式 3. 関連工事等 ○電気設備工事 ○機械設備工事 ・ガス設備工事 ・昇降機設備工事 ・植栽工事 ・合併処理装置設置工事 ・外構工事 4. 概成工期 ・完成期限の()日(令和 年 月 日) 5. 部分使用(工事請負契約書第34条第1項) ○令和8年10月21日からは、1階トイレを部分使用する。 ○工事完了後からは、全ての工事範囲を部分使用する。				10 工事安全計画書 11 統括安全衛生管理義務者の指名 12 発生材の処理		19 施工数量調査 20 技能士及び技能資格者 21 化学物質の室内濃度の測定 22 直接仮設の養生 23 建築材料等 24 特別な材料の工法 25 風圧力 26 仕上面の出隅処理	
II 建築工事仕様 1. 特記仕様 1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。○印のつかない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。 3) 特記事項に記載の()内表示番号は、「公共建築工事標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。 特記事項に記載の< >内表示番号は、「公共建築改修工事標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。 特記事項に記載の< >内表示番号は、「建築物解体工事共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。 2. 適用基準等 図面及び特記事項に記載されていない事項は、全て国土交通省(建設)大臣官房官庁営繕部監修の以下による。 ○公共建築工事標準仕様書(建築工事編) (令和4年版) ○公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) (令和4年版) ◎建築工事標準詳細図 (令和4年版) ◎敷地調査共通仕様書 (令和4年版) ・建築物解体工事共通仕様書 (令和4年版) 3. 「週休2日制工事」の実施について ※対象 ○選択Ⅰ型 ・選択Ⅱ型 本工事は、工事着手日から工事完成日までの間の土曜日及び日曜日を現場の休工日の基本とする「週休2日制工事」の対象工事である。実施にあたっては高知市「週休2日制工事」実施要領(営繕工事編)による。 ・対象外(理由:) 4. 「猛暑による作業不能日数」の実施について ※対象 ○見込んでいない(理由: ※過去のWBG7値に基づき算定した日数が0日のため) ○見込んでいる(作業不能日数: ※現場説明書による) ・対象外(理由:)				13 再生資源利用(促進)計画書及び実施書の提出 (請負金額100万円以上)		24 特別な材料の工法 25 風圧力 26 仕上面の出隅処理	
項目		特記事項		項目		特記事項	
一般共通事項 ① 工事実績情報サービス(CORINS)への登録(請負金額500万円以上)(受注、変更、完成時) 登録の手続きについては、(一財)日本建設情報総合センターの「建設実績情報のコリンズテクリス登録等に関する規約」による。 [1.1.4] ② 総合工程表 原則、工事の着手に先立ち、別契約関連工事の受注者と協議し、受注者及び別契約関連工事の受注者連名による総合工程表を監督職員に提出する。 ③ 総合図 工事の施工に先立ち別契約関連工事の受注者と調整のうえ、総合図を作成し、監督職員の承諾を受ける。 [1.2.3] ④ 工事日誌 週ごとに工事の全般的な経過及び次週の工事予定を記載した日誌を監督職員に提出する。 [1.2.4] また、工事の経過が明確にわかる写真を貼付すること。 ⑤ 工事写真 工事写真は1版程度とし、工事の内容、日付等必要事項を記入し1部提出する。(A4版台紙) [1.2.4] 撮影方法は、「営繕工事写真撮影要領(令和5年版)」による。 デジタル工事写真の黒板情報電子化の実施をする場合は、監督職員の承諾を受ける。 なお、実施については、国営建技第14号(令和5年3月1日付)「デジタル工事写真の黒板情報電子化について」による。 ⑥ 下請負者の報告 各下請負者については下請負契約前に監督職員に報告する。 ⑦ 電気保安技術者 適用する。 [1.3.3] ⑧ 施工条件 施工日及び施工時間 ※1.3.5(1)(7)による。 [1.3.5] 工用車両の駐車場所及び資機材の置場所 ※ 仮囲内 ○ 図示 その他の施工条件 ○現場着手は、令和8年7月18日以降とする。ただし、現地調査は除く。 ○撤去作業は、令和8年8月31日までとする。 ○資機材の搬出時には、専任の誘導員を配置する。その他の場合でも、工事関係車両(乗用車も含む)が敷地内を通行する際には必ず誘導するものをつけ、公道まで徐行する。 ○登下校時間帯や休み時間等は車両の通行を中止する等必要な配慮をする。 ○登校時間帯(7時30分～8時30分)は、工事関係車両の出入りを禁止とする。また、早朝からの騒音作業等は禁止とする。 ○A-07図参照				14 工事の保険 工事請負契約後、速やかに工事的目的物、工事材料等に生じる損害、第三者に及ぼした損害を補償する保険を締結する。保険期間は、工事着工のときから完成期限より24日後以降までの期間とする。 ※ 金銭的保証方式 ・有 ○無 15 契約保証 16 前払金支出割合区分補正 17 証明書の提出(グリーン購入法) 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」(グリーン購入法)及び「高知県グリーン購入基本方針及び実施計画」に基づき、重点調達品目については、積極的に利用すること。なお、重点調達品目の中で木材・木材製品等においては、その原料とされる原木が生産された国における森林に関する法律に照らして合法なものを使用する。 木材・木材製品等については、県産木材納入証明書、県外産合法木材納入証明書を監督職員に提出すること。 [1.4.2] 18 石綿含有建材の調査 事前調査の報告 一定規模以上の工事は労働基準監督署と高知市に報告が必要となる [1.5.1] 事前調査範囲 ※ 改修範囲 貸与資料 ※ 有 (○既存の設計図書) 分析調査 ※ 書面調査及び現地での目視調査の結果により、監督職員と協議する。 ・行う (調査建材使用部位 調査建材名 検体数) 分析方法 ※ 定性分析 定性分析の結果により、定量分析を行う場合は監督職員と協議する。		24 特別な材料の工法 公共建築工事標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、監督職員の承諾を受けて当該材料製造所の指定する工法による。 25 風圧力 本工事に使用する材料及び工法は、建築基準法に基づき定まる風圧力に対応したものとし、速度圧を求めた場合の風速(Vo)及び地表面粗土区分は、次の数値とする。 風速(Vo): ※ 38m/sec ・36m/sec 地表面粗土区分: ※ III ・II 26 仕上面の出隅処理 内外部とも仕上出隅で利用者の手の届く範囲は、図示が無くとも原則として全て面取りを施す。 木部(家具を含む) 6mm程度 コンクリート、モルタル部 20mm程度 鉄部、金属部 3mm程度 建具類等、上記により難い場合は、監督職員と協議する。	
⑨ 交通誘導警備員 交通誘導警備員を配置する場合は、原則として警備業法(昭和47年法律第117号)第4条による認定を受けた警備業者の警備員を配置することとし、建設作業員等の他職種の者を従事させないこととする。ただし、一時的な作業等で、安全確保に処置できると監督職員が認めたものについては、この限りでないものとする。 配置人員等 ・令和 年 月 日から令和 年 月 日までは 名常駐する。 ・作業日は 名常駐する。その他監督職員と協議し、適宜配置する。 ○監督職員と協議し、適宜配置する。				22 直接仮設の養生 内部養生に合板又は構造用パネルを使用する場合、その合板または構造用パネルのホルムアルデヒド放散量はF☆☆☆☆、又はそれと同等と認められる製品を使用する。 23 建築材料等 本工事に使用する材料等のうち、特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。(記載順序は不同)また、「評価名簿による」と特記されたものについては、「(社)公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿」によるもの、又は評価の内容についてこれらと同等と認められるものとする。ただし、同等とする場合は、監督職員の承諾を受ける。 24 特別な材料の工法 公共建築工事標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、監督職員の承諾を受けて当該材料製造所の指定する工法による。 25 風圧力 本工事に使用する材料及び工法は、建築基準法に基づき定まる風圧力に対応したものとし、速度圧を求めた場合の風速(Vo)及び地表面粗土区分は、次の数値とする。 風速(Vo): ※ 38m/sec ・36m/sec 地表面粗土区分: ※ III ・II 26 仕上面の出隅処理 内外部とも仕上出隅で利用者の手の届く範囲は、図示が無くとも原則として全て面取りを施す。 木部(家具を含む) 6mm程度 コンクリート、モルタル部 20mm程度 鉄部、金属部 3mm程度 建具類等、上記により難い場合は、監督職員と協議する。			
高知市 都市建設部 公共建築課				工事名 愛宕中学校南舎トイレ改修工事		係 係長 課長補佐 課長 図面番号 (信清) (大下) (西田) (松木) A-01	
図面名 改修特記仕様書(1)				図面名 改修特記仕様書(1)		縮尺 1 /	

項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項																																																																																																																																																																												
内装改修工事																																																																																																																																																																																	
① 他の部位との取合い等	撤去壁と取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※ 図示 ・ 壁厚程度 [6.1.3] 天井内の撤去壁と取合う天井の改修範囲 ※ 図示 ・ 壁面から両側600程度 撤去天井と取合う壁の改修範囲 ※ 図示 ・ 既存のまま 各部仕上りは、既存仕上に準じたものとする			22	ビニル床タイル張り [6.8.2～6.8.3] <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>寸法</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>特殊機能</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>※KT</td> <td>・無地</td> <td>※300×300</td> <td>※2.0</td> <td>・帯電防止</td> <td>・防汚性</td> </tr> <tr> <td>・TT</td> <td>・FT</td> <td>・柄物</td> <td>・2.0</td> <td>・帯電防止</td> <td>・防汚性</td> </tr> <tr> <td>・FOA</td> <td>・FOB</td> <td></td> <td></td> <td>・帯電防止</td> <td>・防汚性</td> </tr> </table> 帯電防止性能 ※ 帯電防止性能評価値(JIS A 1455)1.2以上～3.2未満又は 体積電気抵抗値(JIS A 1454) $1 \times 10^7 \sim 10^{10} \Omega$ 程度	種類の記号	色柄	寸法	厚さ(mm)	特殊機能	施工箇所	※KT	・無地	※300×300	※2.0	・帯電防止	・防汚性	・TT	・FT	・柄物	・2.0	・帯電防止	・防汚性	・FOA	・FOB			・帯電防止	・防汚性																																																																																																																																																				
種類の記号	色柄	寸法	厚さ(mm)	特殊機能	施工箇所																																																																																																																																																																												
※KT	・無地	※300×300	※2.0	・帯電防止	・防汚性																																																																																																																																																																												
・TT	・FT	・柄物	・2.0	・帯電防止	・防汚性																																																																																																																																																																												
・FOA	・FOB			・帯電防止	・防汚性																																																																																																																																																																												
② 既存床の撤去及び 下地補修	○ビニル床シート等の除去等 ※ 仕上げ材のみ(接着剤等共) [6.2.2] ○下地モルタル共(撤去範囲：※図示 ・ 撤去範囲すべて) ・合成樹脂塗床材の除去等 ・ 機械的除去工法 ・ 目荒し工法 改修後の床の清掃範囲 ※ 改修部分の端部から1.0m程度の範囲(工事で汚した範囲共)			23	誘導用床材及び 警告用床材 [6.8.2] <table border="1"> <tr> <th>種</th> <th>類</th> <th>寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・レジンコンクリート系</td> <td>・</td> <td>※300×300</td> <td>※30</td> <td>※JIS T 9251適合品</td> </tr> <tr> <td>・タイル系</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・60</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・塩化ビニル系</td> <td>・</td> <td>※300×300</td> <td>※図示</td> <td></td> </tr> </table>	種	類	寸法(mm)	厚さ(mm)	備考	・レジンコンクリート系	・	※300×300	※30	※JIS T 9251適合品	・タイル系	・	・	・60		・塩化ビニル系	・	※300×300	※図示																																																																																																																																																									
種	類	寸法(mm)	厚さ(mm)	備考																																																																																																																																																																													
・レジンコンクリート系	・	※300×300	※30	※JIS T 9251適合品																																																																																																																																																																													
・タイル系	・	・	・60																																																																																																																																																																														
・塩化ビニル系	・	※300×300	※図示																																																																																																																																																																														
③ 既存壁の撤去及び 下地補修	間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※ 図示 ・ モルタル塗り([4.3.10]による) [6.3.2]			②4	ビニル幅木 [6.8.2] <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>高さ(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>※軟質</td> <td>・硬質</td> <td>※1.5</td> <td>※60・75</td> <td>○100 図示</td> </tr> </table>	材種	厚さ(mm)	高さ(mm)	施工箇所	※軟質	・硬質	※1.5	※60・75	○100 図示																																																																																																																																																																			
材種	厚さ(mm)	高さ(mm)	施工箇所																																																																																																																																																																														
※軟質	・硬質	※1.5	※60・75	○100 図示																																																																																																																																																																													
④ ホルムアルデヒド放散量	※6.5.2 (9) のいずれかによる。 [6.5.2]			25	ゴム床タイル張り [6.8.2] <table border="1"> <tr> <th>色柄</th> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>寸法(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> <td>・3.0・4.0・5.0・6.0・9.0</td> <td></td> </tr> </table>	色柄	種類	厚さ(mm)	寸法(mm)	備考	・	・		・3.0・4.0・5.0・6.0・9.0																																																																																																																																																																			
色柄	種類	厚さ(mm)	寸法(mm)	備考																																																																																																																																																																													
・	・		・3.0・4.0・5.0・6.0・9.0																																																																																																																																																																														
⑤ 目視検査	日本農林規格以外の製材及び集成材について、目視による材の欠点がないことの確認は、 樹種ごとに無作為に抽出し、その抽出割合は10%以上とする。 [6.5.2]			26	カーペット敷き [6.9.2][表6.9.1] <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>長さ</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・織じゅうたん</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・タイルカーペット</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </table>	種類	厚さ(mm)	長さ	備考	・織じゅうたん	・	・		・タイルカーペット	・	・																																																																																																																																																																	
種類	厚さ(mm)	長さ	備考																																																																																																																																																																														
・織じゅうたん	・	・																																																																																																																																																																															
・タイルカーペット	・	・																																																																																																																																																																															
⑥ 製材	・下地用針葉樹製材 [6.5.2] <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>防虫処理</th> <th>難燃処理</th> </tr> <tr> <td>※ 図示</td> <td>・杉</td> <td>・</td> <td>日本農林規格を使用する場合： 日本農林規格以外を使用する場合：※特一等</td> <td>※15%以下</td> <td>・行う</td> <td>・行う</td> <td>・行う</td> </tr> </table> ・造作用針葉樹製材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>防虫処理</th> <th>難燃処理</th> </tr> <tr> <td>※ 図示</td> <td>・杉</td> <td>・</td> <td>日本農林規格を使用する場合： 日本農林規格以外を使用する場合：※特一等</td> <td>※15%以下</td> <td>・行う</td> <td>・行う</td> <td>・行う</td> </tr> </table> ・広葉樹製材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>防虫処理</th> <th>難燃処理</th> </tr> <tr> <td>※ 図示</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>日本農林規格を使用する場合： 日本農林規格以外を使用する場合：※特一等</td> <td>※10%以下</td> <td>・</td> <td>・行う</td> <td>・行う</td> </tr> </table> ・集成材の日本農林規格による造作用集成材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面数</th> <th>見付け材面の品質</th> </tr> <tr> <td>※ 図示</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※1等・2等</td> </tr> </table> ・「集成材の日本農林規格」による化粧張り造作用集成材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種</th> <th>化粧薄板の厚さ(mm)</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面数</th> <th>見付け材面の品質</th> </tr> <tr> <td>※ 図示</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※1等・2等</td> </tr> </table> ・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種</th> <th>化粧薄板の厚さ(mm)</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面数</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> </tr> <tr> <td>※ 図示</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※15%以下</td> </tr> </table> ・「集成材の日本農林規格」以外の化粧張り造作用集成材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種</th> <th>化粧薄板の厚さ(mm)</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面数</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> </tr> <tr> <td>※ 図示</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※15%以下</td> </tr> </table> ・「化粧積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材 [6.5.2] <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>表面の化粧加工</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td>※ 図示</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・有(・天然木化粧加工 ・ 塗装加工) ・無(等級：・1等 ・ 2等 ・ 3等)</td> <td>・行う ・行わない</td> </tr> </table> ・「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>表面の化粧加工</th> <th>防虫処理</th> <th>含水率</th> </tr> <tr> <td>※ 図示</td> <td>・</td> <td>・有(・天然木化粧加工 ・ 塗装加工) ・無(等級：・1等 ・ 2等 ・ 3等)</td> <td>・行う ・行わない</td> <td>※14%以下</td> </tr> </table> ・CLT(直交集成材) <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>曲げ強度(強度等級)</th> <th>種別</th> <th>接着性能(使用環境)</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> </tr> <tr> <td>※ 図示</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> 下地用合板 [6.5.2] <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>難燃処理</th> <th>防炎処理</th> </tr> <tr> <td>※ 図示</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・ラワン</td> <td>※1類</td> <td>広葉樹(※2等以上)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> 普通合板 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>難燃処理</th> <th>防炎処理</th> </tr> <tr> <td>※ 図示</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※2類</td> <td>針葉樹(※C级以上)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table>	施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	防虫処理	難燃処理	※ 図示	・杉	・	日本農林規格を使用する場合： 日本農林規格以外を使用する場合：※特一等	※15%以下	・行う	・行う	・行う	施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	防虫処理	難燃処理	※ 図示	・杉	・	日本農林規格を使用する場合： 日本農林規格以外を使用する場合：※特一等	※15%以下	・行う	・行う	・行う	施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	防虫処理	難燃処理	※ 図示	・	・	日本農林規格を使用する場合： 日本農林規格以外を使用する場合：※特一等	※10%以下	・	・行う	・行う	施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	※ 図示	・	・	・	・	※1等・2等	施工箇所	品名	樹種	化粧薄板の厚さ(mm)	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	※ 図示	・	・	・	・	・	※1等・2等	施工箇所	品名	樹種	化粧薄板の厚さ(mm)	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	含水率	※ 図示	・	・	・	・	・	・	※15%以下	施工箇所	品名	樹種	化粧薄板の厚さ(mm)	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	含水率	※ 図示	・	・	・	・	・	・	※15%以下	施工箇所	品名	厚さ(mm)	表面の化粧加工	防虫処理	※ 図示	・	・	・有(・天然木化粧加工 ・ 塗装加工) ・無(等級：・1等 ・ 2等 ・ 3等)	・行う ・行わない	施工箇所	厚さ(mm)	表面の化粧加工	防虫処理	含水率	※ 図示	・	・有(・天然木化粧加工 ・ 塗装加工) ・無(等級：・1等 ・ 2等 ・ 3等)	・行う ・行わない	※14%以下	施工箇所	品名	曲げ強度(強度等級)	種別	接着性能(使用環境)	樹種	寸法(mm)	※ 図示	・	・	・	・	・	・	施工箇所	品名	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	難燃処理	防炎処理	※ 図示	・	・	・ラワン	※1類	広葉樹(※2等以上)	・	・	・	施工箇所	品名	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	難燃処理	防炎処理	※ 図示	・	・	・	※2類	針葉樹(※C级以上)	・	・	・
施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	防虫処理	難燃処理																																																																																																																																																																										
※ 図示	・杉	・	日本農林規格を使用する場合： 日本農林規格以外を使用する場合：※特一等	※15%以下	・行う	・行う	・行う																																																																																																																																																																										
施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	防虫処理	難燃処理																																																																																																																																																																										
※ 図示	・杉	・	日本農林規格を使用する場合： 日本農林規格以外を使用する場合：※特一等	※15%以下	・行う	・行う	・行う																																																																																																																																																																										
施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	防虫処理	難燃処理																																																																																																																																																																										
※ 図示	・	・	日本農林規格を使用する場合： 日本農林規格以外を使用する場合：※特一等	※10%以下	・	・行う	・行う																																																																																																																																																																										
施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質																																																																																																																																																																												
※ 図示	・	・	・	・	※1等・2等																																																																																																																																																																												
施工箇所	品名	樹種	化粧薄板の厚さ(mm)	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質																																																																																																																																																																											
※ 図示	・	・	・	・	・	※1等・2等																																																																																																																																																																											
施工箇所	品名	樹種	化粧薄板の厚さ(mm)	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	含水率																																																																																																																																																																										
※ 図示	・	・	・	・	・	・	※15%以下																																																																																																																																																																										
施工箇所	品名	樹種	化粧薄板の厚さ(mm)	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	含水率																																																																																																																																																																										
※ 図示	・	・	・	・	・	・	※15%以下																																																																																																																																																																										
施工箇所	品名	厚さ(mm)	表面の化粧加工	防虫処理																																																																																																																																																																													
※ 図示	・	・	・有(・天然木化粧加工 ・ 塗装加工) ・無(等級：・1等 ・ 2等 ・ 3等)	・行う ・行わない																																																																																																																																																																													
施工箇所	厚さ(mm)	表面の化粧加工	防虫処理	含水率																																																																																																																																																																													
※ 図示	・	・有(・天然木化粧加工 ・ 塗装加工) ・無(等級：・1等 ・ 2等 ・ 3等)	・行う ・行わない	※14%以下																																																																																																																																																																													
施工箇所	品名	曲げ強度(強度等級)	種別	接着性能(使用環境)	樹種	寸法(mm)																																																																																																																																																																											
※ 図示	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																											
施工箇所	品名	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	難燃処理	防炎処理																																																																																																																																																																									
※ 図示	・	・	・ラワン	※1類	広葉樹(※2等以上)	・	・	・																																																																																																																																																																									
施工箇所	品名	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	難燃処理	防炎処理																																																																																																																																																																									
※ 図示	・	・	・	※2類	針葉樹(※C级以上)	・	・	・																																																																																																																																																																									
⑦ 造作用集成材	ホルムアルデヒド放散量等 ※6.5.2(9)による [6.5.2] ・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面数</th> <th>見付け材面の品質</th> </tr> <tr> <td>※ 図示</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※1等・2等</td> </tr> </table> ・「集成材の日本農林規格」による化粧張り造作用集成材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種</th> <th>化粧薄板の厚さ(mm)</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面数</th> <th>見付け材面の品質</th> </tr> <tr> <td>※ 図示</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※1等・2等</td> </tr> </table> ・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種</th> <th>化粧薄板の厚さ(mm)</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面数</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> </tr> <tr> <td>※ 図示</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※15%以下</td> </tr> </table> ・「集成材の日本農林規格」以外の化粧張り造作用集成材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種</th> <th>化粧薄板の厚さ(mm)</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面数</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> </tr> <tr> <td>※ 図示</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※15%以下</td> </tr> </table>	施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	※ 図示	・	・	・	・	※1等・2等	施工箇所	品名	樹種	化粧薄板の厚さ(mm)	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	※ 図示	・	・	・	・	・	※1等・2等	施工箇所	品名	樹種	化粧薄板の厚さ(mm)	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	含水率	※ 図示	・	・	・	・	・	・	※15%以下	施工箇所	品名	樹種	化粧薄板の厚さ(mm)	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	含水率	※ 図示	・	・	・	・	・	・	※15%以下																																																																																																																						
施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質																																																																																																																																																																												
※ 図示	・	・	・	・	※1等・2等																																																																																																																																																																												
施工箇所	品名	樹種	化粧薄板の厚さ(mm)	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質																																																																																																																																																																											
※ 図示	・	・	・	・	・	※1等・2等																																																																																																																																																																											
施工箇所	品名	樹種	化粧薄板の厚さ(mm)	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	含水率																																																																																																																																																																										
※ 図示	・	・	・	・	・	・	※15%以下																																																																																																																																																																										
施工箇所	品名	樹種	化粧薄板の厚さ(mm)	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	含水率																																																																																																																																																																										
※ 図示	・	・	・	・	・	・	※15%以下																																																																																																																																																																										
⑧ 造作用単板積層材	⑩ 合板等			27	合成樹脂塗床 [6.10.3][表6.10.4～表6.10.8] <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>工法</th> <th>仕上りの種類</th> </tr> <tr> <td>・厚膜型塗床材</td> <td>※ 図示</td> <td>・</td> <td>※平滑仕上げ</td> </tr> <tr> <td>・薄膜型塗床材</td> <td>※ 図示</td> <td>・薄膜流しのべ工法</td> <td>・平滑仕上げ</td> </tr> <tr> <td>・エポキシ樹脂系塗床材</td> <td>※ 図示</td> <td>・厚膜流しのべ工法</td> <td>・防汚仕上げ</td> </tr> <tr> <td>・薄膜型塗床材</td> <td>※ 図示</td> <td>・樹脂モルタル工法</td> <td>※平滑仕上げ</td> </tr> </table> 塗床材の塗料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆	種別	施工箇所	工法	仕上りの種類	・厚膜型塗床材	※ 図示	・	※平滑仕上げ	・薄膜型塗床材	※ 図示	・薄膜流しのべ工法	・平滑仕上げ	・エポキシ樹脂系塗床材	※ 図示	・厚膜流しのべ工法	・防汚仕上げ	・薄膜型塗床材	※ 図示	・樹脂モルタル工法	※平滑仕上げ																																																																																																																																																								
種別	施工箇所	工法	仕上りの種類																																																																																																																																																																														
・厚膜型塗床材	※ 図示	・	※平滑仕上げ																																																																																																																																																																														
・薄膜型塗床材	※ 図示	・薄膜流しのべ工法	・平滑仕上げ																																																																																																																																																																														
・エポキシ樹脂系塗床材	※ 図示	・厚膜流しのべ工法	・防汚仕上げ																																																																																																																																																																														
・薄膜型塗床材	※ 図示	・樹脂モルタル工法	※平滑仕上げ																																																																																																																																																																														
				28	フローリング張り [6.11.2][6.11.3][6.11.4][6.11.6][表6.11.1][表6.11.3][表6.11.5] <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>工法</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>樹種</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・フローリング「ボード」1等</td> <td>・釘留め工法(根太張り)</td> <td>※15</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・釘留め工法(直張り)</td> <td>・12</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・接着工法</td> <td>・8</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・フローリング「ブロック」1等</td> <td>・接着工法</td> <td>※15</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> フローリングボードの幅、長さ ※表6.11.1、表6.11.3、表6.11.5による フローリングブロックの幅、長さ ・300×300 ・303×303 複合フローリング [表6.11.2][表6.11.4][表6.11.6] <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>樹種</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">・釘留め工法(根太張り)</td> <td>・A種</td> <td>※12</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>・15</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※C種</td> <td>(ひき板の厚さ)</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </table> ・3mm以上 ※表6.11.4 フローリングの幅、長さ ※表6.11.2、表6.11.4、表6.11.6による 接着工法の場合の不陸緩和材 ※合成樹脂発泡シート [6.11.5] 塗装 ・ 工場塗装 ※ウレタン樹脂ワニス塗料 ・ A種 ※B種 [6.11.6][7.11.1] ・ 現場塗装 ※ウレタン樹脂ワニス塗料 ・ A種 ※B種 ・ オイルステイン塗りのうえワックス塗り ・ 生地そのままワックス塗り(自然塗料) 複合フローリングのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆、またはそれと同等と認められるもの [6.11.2]	種類	工法	厚さ(mm)	樹種	備考	・フローリング「ボード」1等	・釘留め工法(根太張り)	※15				・釘留め工法(直張り)	・12				・接着工法	・8			・フローリング「ブロック」1等	・接着工法	※15			工法	種別	厚さ(mm)	樹種	備考	・釘留め工法(根太張り)	・A種	※12	・		・B種	・15	・		※C種	(ひき板の厚さ)	・																																																																																																																																		
種類	工法	厚さ(mm)	樹種	備考																																																																																																																																																																													
・フローリング「ボード」1等	・釘留め工法(根太張り)	※15																																																																																																																																																																															
	・釘留め工法(直張り)	・12																																																																																																																																																																															
	・接着工法	・8																																																																																																																																																																															
・フローリング「ブロック」1等	・接着工法	※15																																																																																																																																																																															
工法	種別	厚さ(mm)	樹種	備考																																																																																																																																																																													
・釘留め工法(根太張り)	・A種	※12	・																																																																																																																																																																														
	・B種	・15	・																																																																																																																																																																														
	※C種	(ひき板の厚さ)	・																																																																																																																																																																														
				29	畳敷き (天井、壁仕上げ) [6.12.2][表6.12.1] ・畳種別 ※D種(畳床・KT-I・KT-II※KT-III・KT-K・KT-N) [6.12.2][表6.12.1] ・衝撃緩和型畳 畳表 ・C1 ・C2																																																																																																																																																																												
				③0	せつこうボードその他の ボード及び合板張り [6.13.2][表6.13.1] <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>JISの記号</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>規格等</th> </tr> <tr> <td>・硬質木毛セメント板</td> <td>HW</td> <td>・15・20・25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・普通木毛セメント板</td> <td>NW</td> <td>・15・20・25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・硬質木片セメント板</td> <td>HF</td> <td>・12・16・18・21</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・普通木片セメント板</td> <td>NF</td> <td>・30</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・けい酸カルシウム板(ノンアスベスト)</td> <td>0.8FK 1.0FK</td> <td>タイプ2(無石棉)・6・8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○化粧けい酸カルシウム板</td> <td>○6</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ロックウール化粧吸音板</td> <td>DR</td> <td>※フラットタイプ(※9(準不燃)・12()) ・凹凸タイプ(※12(不燃)・15())</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ロックウール吸音ボード1号</td> <td>RW-B</td> <td>※25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・グラスウール吸音ボード2号32K</td> <td>GW-B</td> <td>※25(ガラスクロス包)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○せつこうボード</td> <td>G-B-R</td> <td>※12.5(不燃)・15(不燃)</td> <td>・9.5(準不燃)</td> </tr> <tr> <td>・不燃積層せつこうボード</td> <td>G-B-NC</td> <td>・9.5(不燃)</td> <td>・化粧無(下地張り用) ・化粧有(トラバーチン模様)</td> </tr> </table>	種類	JISの記号	厚さ(mm)	規格等	・硬質木毛セメント板	HW	・15・20・25		・普通木毛セメント板	NW	・15・20・25		・硬質木片セメント板	HF	・12・16・18・21		・普通木片セメント板	NF	・30		・けい酸カルシウム板(ノンアスベスト)	0.8FK 1.0FK	タイプ2(無石棉)・6・8		○化粧けい酸カルシウム板	○6	・		・ロックウール化粧吸音板	DR	※フラットタイプ(※9(準不燃)・12()) ・凹凸タイプ(※12(不燃)・15())		・ロックウール吸音ボード1号	RW-B	※25		・グラスウール吸音ボード2号32K	GW-B	※25(ガラスクロス包)		○せつこうボード	G-B-R	※12.5(不燃)・15(不燃)	・9.5(準不燃)	・不燃積層せつこうボード	G-B-NC	・9.5(不燃)	・化粧無(下地張り用) ・化粧有(トラバーチン模様)																																																																																																																												
種類	JISの記号	厚さ(mm)	規格等																																																																																																																																																																														
・硬質木毛セメント板	HW	・15・20・25																																																																																																																																																																															
・普通木毛セメント板	NW	・15・20・25																																																																																																																																																																															
・硬質木片セメント板	HF	・12・16・18・21																																																																																																																																																																															
・普通木片セメント板	NF	・30																																																																																																																																																																															
・けい酸カルシウム板(ノンアスベスト)	0.8FK 1.0FK	タイプ2(無石棉)・6・8																																																																																																																																																																															
○化粧けい酸カルシウム板	○6	・																																																																																																																																																																															
・ロックウール化粧吸音板	DR	※フラットタイプ(※9(準不燃)・12()) ・凹凸タイプ(※12(不燃)・15())																																																																																																																																																																															
・ロックウール吸音ボード1号	RW-B	※25																																																																																																																																																																															
・グラスウール吸音ボード2号32K	GW-B	※25(ガラスクロス包)																																																																																																																																																																															
○せつこうボード	G-B-R	※12.5(不燃)・15(不燃)	・9.5(準不燃)																																																																																																																																																																														
・不燃積層せつこうボード	G-B-NC	・9.5(不燃)	・化粧無(下地張り用) ・化粧有(トラバーチン模様)																																																																																																																																																																														
				⑪	接合具等																																																																																																																																																																												
				12	木れんが																																																																																																																																																																												
				13	防腐・防蟻処理 [6.5.5] <table border="1"> <tr> <th>適用部材</th> <th>処理の方法</th> <th>薬剤の種類</th> </tr> <tr> <td>・K2 ・ K3 ・ K4</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・K2 ・ K3 ・ K4</td> <td>※薬剤製造所の仕様による</td> <td>・</td> </tr> </table>	適用部材	処理の方法	薬剤の種類	・K2 ・ K3 ・ K4	・	・	・K2 ・ K3 ・ K4	※薬剤製造所の仕様による	・																																																																																																																																																																			
適用部材	処理の方法	薬剤の種類																																																																																																																																																																															
・K2 ・ K3 ・ K4	・	・																																																																																																																																																																															
・K2 ・ K3 ・ K4	※薬剤製造所の仕様による	・																																																																																																																																																																															
				14	間仕切軸組に用いる 木材 [6.5.6]																																																																																																																																																																												
				⑬	床組に用いる木材 [6.5.6]																																																																																																																																																																												
				⑬	窓、出入口、その他に 用いる木材 [6.5.7]																																																																																																																																																																												
				17	縁甲板及び上がりがま ちに用いる木材 [6.5.8]																																																																																																																																																																												
				18	壁及び天井に用いる 木材 [6.5.9]																																																																																																																																																																												
				⑬	軽量鉄骨天井下地 [6.6.2][表6.6.1] <table border="1"> <tr> <th>野縁等の種類</th> <th>野縁受</th> <th>つりボルト及びピンサート</th> <th>周辺部の端からの距離</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table>	野縁等の種類	野縁受	つりボルト及びピンサート	周辺部の端からの距離	・	・	・	・																																																																																																																																																																				
野縁等の種類	野縁受	つりボルト及びピンサート	周辺部の端からの距離																																																																																																																																																																														
・	・	・	・																																																																																																																																																																														
				⑬	新規天井下地のつりボルト受け等の インサート及びあと施工アンカー [6.6.4] ○既存の埋込みインサートを使用する ○新たにつりボルト用あと施工アンカーを設ける つりボルトの引張試験 試験箇所数及び確認強度は6.6.4(9)による 屋内 ※行う ・行わない 屋外 ※行う ・行わない ・耐風圧性を考慮した補強 [6.6.4] 適用箇所：※図示 ・ 補強方法：※図示 ・ つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強 [6.6.4] 適用箇所：※図示 ・ 補強方法：※図示 ・ ○天井下地材における耐震性を考慮した補強 [6.6.4] 適用箇所：※すべて ・ 図示 補強方法：・国土交通省平成25年告示第771号の基準に適合するもの ※6.6.4(8)による。ただし、ふとこる1.5m以下の場合も適用し、 固定方法は専用金具又はボルトとし、溶接は不可とする。 ・天井のふとこるが3mを超える場合の補強 [6.7.3][表6.7.1] スタッド、ランナー等の種類 ※表6.7.1による ○ 図示 スタッドの高さが5mを超える場合 ※ 図示 [6.7.3] 出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※14.5.4(5)による ・ 図示 [6.7.4]																																																																																																																																																																												
				⑬	軽量鉄骨壁下地 [6.7.3][表6.7.1] スタッド、ランナー等の種類 ※表6.7.1による ○ 図示 スタッドの高さが5mを超える場合 ※ 図示 [6.7.3] 出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※14.5.4(5)による ・ 図示 [6.7.4]																																																																																																																																																																												
				⑬	ビニル床シート張り [6.8.2～6.8.3] <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>特殊機能</th> <th>施工箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※FS</td> <td>※無地</td> <td>※2.0</td> <td>○防汚性</td> <td>○抗菌</td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○納入</td> <td></td> <td>○防滑性</td> <td>・耐薬品性</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※FS</td> <td>※無地</td> <td>※2.0</td> <td>○帯電防止</td> <td>・耐動荷重性</td> <td>標準品</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○防汚性</td> <td>・耐薬品性</td> <td></td> </tr> </table> 接合部の処理 ※ 熱溶接工法 ・ 突付け (施工箇所：) 帯電防止性能 ※ 帯電防止性能評価値(JIS A 1455)1.2以上～3.2未満又は 体積電気抵抗値(JIS A 1454) $1 \times 10^7 \sim 10^{10} \Omega$ 程度 下地 ※ 図示	種類の記号	色柄	厚さ(mm)	特殊機能	施工箇所	備考	※FS	※無地	※2.0	○防汚性	○抗菌	※ 図示		○納入		○防滑性	・耐薬品性		※FS	※無地	※2.0	○帯電防止	・耐動荷重性	標準品				○防汚性	・耐薬品性																																																																																																																																															
種類の記号	色柄	厚さ(mm)	特殊機能	施工箇所	備考																																																																																																																																																																												
※FS	※無地	※2.0	○防汚性	○抗菌	※ 図示																																																																																																																																																																												
	○納入		○防滑性	・耐薬品性																																																																																																																																																																													
※FS	※無地	※2.0	○帯電防止	・耐動荷重性	標準品																																																																																																																																																																												
			○防汚性	・耐薬品性																																																																																																																																																																													

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	愛宕中学校南舎トイレ改修工事	係	信清	係長	大	課長補佐	豊	課長	松木	図面番号	A-04
図面名	改修特記仕様書(4)	縮尺	1 /	作図	年	月	日				

Table with 2 columns: Item (項目), Remarks (特記事項). Includes specifications for board types, adhesive agents, and tile laying.

Table with 2 columns: Item (項目), Remarks (特記事項). Includes specifications for painting work, wall treatments, and floor adjustments.

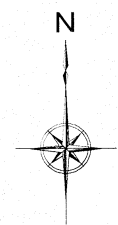
Table with 2 columns: Item (項目), Remarks (特記事項). Includes specifications for asbestos removal, fireproofing, and mold prevention.

項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項																																																																																																
5 透水性アスファルト舗装改修工事	既存舗装の撤去 ・ 撤去する ・ 一部再利用する [9.5.2] 路床 凍上抑制層 ・ 適用する [9.5.3] 厚さ ※ 図示 [9.5.3] 材料 ※ 有機物、ごみ等を含まないもの [9.5.3] ※適用しない 透水性舗装のフィルター厚さ管理用車両通行部 (※ 150mm) [9.5.3] 歩行者用通路 (※ 50mm) [9.5.3] 路床安定処理 ・ 適用する [9.5.3] 方法 ※ 添加材料による安定処理 厚さ ※ 300mm 目標CBR ※ 5以上 ・ 適用しない 盛土の種類 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 [9.5.3][表9.5.1] 路床安定処理用添加材料の種類 [9.5.3][表9.5.2] ジオテキスタイル ・ 適用する(品質) ・ 適用しない [9.5.3] 発生土の処理 ※ 構外搬出適切処理 [9.5.3] (搬出前に建設発生土の受入証明又は法令による許可書等を提出する) ・ 構内指示の場所に敷き均し ・ 構内指示の場所にたい積 ・ 構外指示の場所に処分(搬出調査等を提出する) ・ 受入れ施設名: ・ 受入れ場所: ・ 仮置き場所: 試験 路床土の支持力比(CBR)試験 ・ 行う ・ 行わない [9.5.3] 現場CBR試験 ・ 行う ・ 行わない [9.5.3] 路床縮固め度の試験 ・ 行う ・ 行わない [9.5.3] 砂の粒度試験 ・ 行う ・ 行わない [9.5.3] 路盤 厚さ 管理用車両通行部 (※ 150mm) [9.5.4] 歩行者用通路 (※ 100mm) [9.5.4] 材料 ・ クラッシュラン ・ 粒度調整砕石 [9.5.4][表9.5.3] ※再生クラッシュラン ・ 再生粒度調整砕石 ・ クラッシュラン鉄鋼スラグ ・ 粒度調整鉄鋼スラグ ・ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ 締固め度の試験 ※ 行う ・ 行わない [9.5.4] 舗装の構成及び仕上り 厚さ 管理用車両通行部 (※ 50mm) [9.5.5] 歩行者用通路 (※ 30mm) [9.5.5] 平坦性 ※ 著しい不陸がないもの [9.5.5] 開粒度アスファルト混合物の抽出試験 ・ 行う ※ 行わない [9.5.9]	コンクリート工事 ① コンクリートの種類・強度・スランプ ※普通コンクリート (6.2.1~6.2.2)(6.2.4)(表6.2.2) 設計基準強度 Fe(N/mm ²) スランプ (cm) 適用箇所 ※21 ○15・18 全て ・18 ・15・18 ・軽量コンクリート 設計基準強度 Fe(N/mm ²) スランプ (cm) 適用箇所 (5.4.0) ※21 ・15・18 ・18 ・15・18 コンクリートの種類 ※I類 ・II類 (6.2.1)(表6.2.1) ※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 (6.3.1)(6.13.2) ・高炉セメントB種 (適用箇所: ・フライアッシュセメントB種(適用箇所: アルカリシリカ反応性による区分 ※ A ・ B (6.3.1) ④ 混和材料 ○ 混和剤 ※AE剤又はAE減水剤標準形 (JIS A 6204) (6.3.1) ・高性能AE減水剤標準形 (JIS A 6204) ・混和材 ・フライアッシュ (I種・II種・IV種) (JIS A 6201) ・コンクリート用高炉スラグ微粉末 (JIS A 6206) ・コンクリート用シリカフェューム (JIS A 6207) ・コンクリート用膨張材 (JIS A 6202) ※表6.3.2による ○無 (6.3.2) 6 打継ぎ目地及びひび割れ誘発目地 打継ぎ目地の寸法 ※9.7.3(1)(7)による (6.6.4)(9.7.3) ひび割れ誘発目地の位置 ※ 図示 (6.8.1) (6.8.1) ひび割れ誘発目地の形状及び寸法※9.7.3(1)(7)による (6.8.1)(9.7.3) 7 打増し厚さ 外部に面するコンクリートの打増し厚さ(mm) (6.8.1) 外壁 ※ 図示 ・ 20 ・ 25 軒天 ※ 図示 ・ 10 ・ 15 ・ 20 その他 ※ 図示 ・ 20 8 構造体コンクリートの仕上り コンクリートの打放し仕上げ ※合板せき板を用いる場合 (6.2.5)(6.8.2)(表6.2.4) <table border="1"> <tr><th>種別</th><th>厚さ(mm)</th><th>施工箇所</th></tr> <tr><td>・A種</td><td>※12</td><td></td></tr> <tr><td>・B種</td><td>※12</td><td></td></tr> <tr><td>・C種</td><td>※12</td><td></td></tr> </table> ・せき板の材料として合板を用いない場合 材料 () 厚さ () 適用部位 ※下表 ・ 図示 (6.2.5)(表6.2.5)(15.4.2) <table border="1"> <tr><th>種別</th><th>コンクリートの内外装仕上げ</th><th>平たんさ</th><th>適用部位による仕上げの目安</th></tr> <tr><td>a種</td><td>コンクリートが見え掛りとなる場合又は仕上げ厚さが極めて薄い場合その他非常に良好な平たんさ及び良好な表面状態が必要な場合</td><td>3mにつき7mm以下</td><td>化粧打放しコンクリート 塗装仕上げ 壁紙張り 接着剤による陶磁器質タイル張り</td><td>合成樹脂塗床 ビニル系床材張り 床コンクリート直均し仕上げ フリアクセリア (置敷式)</td></tr> <tr><td>b種</td><td>仕上げ厚さが7mm未満の場合その他良好な平たんさが必要な場合</td><td>3mにつき10mm以下</td><td>仕上塗材塗り 外装タイルモタル張り</td><td>カーペット張り 防水下地 セメント系「ソラ」材塗り</td></tr> <tr><td>c種</td><td>仕上げ厚さが7mm以上の場合又は下地の影響を受けにくい仕上げの場合</td><td>1mにつき10mm以下</td><td>セメント系陶磁器質タイル張り タイル張り モタル塗り 二重床</td><td></td></tr> </table> ⑨ コンクリートの仕上りの平たんさ ⑩ スリーブの材種、規格等 ※下記の通り ・ 図示 (6.8.2)(表6.8.1) (i) 外壁の地中部分等水密を要する部分に用いるスリーブは、つば付き鋼管とする。 (ii) 地中部分で水密を要しない部分に用いるスリーブは、硬質ポリ塩化ビニル管とする。 (iii) (i)及び(ii)以外の円形スリーブは、溶融亜鉛めっき鋼板とし、原則として、筒形の両端を外側に折り曲げてつばを設ける。また、必要に応じて、円筒部を両方から差し込む伸縮形とする。 (iv) 硬質ポリ塩化ビニル管は、防火区画を貫通する場合には使用しない。 なお、柱及び梁以外の箇所、開口補強が不要であり、かつ、スリーブ径が 200mm 以下の部分は、紙チューブとすることができる。 ⑪ 型型枠用鋼製デッキプレート ⑫ 軽量コンクリート <table border="1"> <tr><th>種別</th><th>所要気乾単位容積質量 (t/m³)</th><th>スランプ</th><th>適用箇所</th></tr> <tr><td>・1種</td><td>※表6.10.1による</td><td>※21</td><td>※ 図示</td></tr> </table> ⑬ 無筋コンクリート (捨コンクリートを除く) コンクリートの種類 ※普通コンクリート ・ 軽量コンクリート (6.14.1) 設計基準強度 Fe(N/mm ²) スランプ (cm) 適用箇所 ※18 ・ ※15 ・ 18 ※6.14.1(4)による ・ 図示	種別	厚さ(mm)	施工箇所	・A種	※12		・B種	※12		・C種	※12		種別	コンクリートの内外装仕上げ	平たんさ	適用部位による仕上げの目安	a種	コンクリートが見え掛りとなる場合又は仕上げ厚さが極めて薄い場合その他非常に良好な平たんさ及び良好な表面状態が必要な場合	3mにつき7mm以下	化粧打放しコンクリート 塗装仕上げ 壁紙張り 接着剤による陶磁器質タイル張り	合成樹脂塗床 ビニル系床材張り 床コンクリート直均し仕上げ フリアクセリア (置敷式)	b種	仕上げ厚さが7mm未満の場合その他良好な平たんさが必要な場合	3mにつき10mm以下	仕上塗材塗り 外装タイルモタル張り	カーペット張り 防水下地 セメント系「ソラ」材塗り	c種	仕上げ厚さが7mm以上の場合又は下地の影響を受けにくい仕上げの場合	1mにつき10mm以下	セメント系陶磁器質タイル張り タイル張り モタル塗り 二重床		種別	所要気乾単位容積質量 (t/m ³)	スランプ	適用箇所	・1種	※表6.10.1による	※21	※ 図示	② 表示 ③ 天井見切縁 ④ 点検口 ⑤ 面台 ⑥ 乾式二重床 ⑦ サイディング工事	室名札等 (20.2.11) <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>材質・厚さ(mm)</th><th>印刷等の種別</th><th>色彩</th><th>取付形式</th><th>書体</th></tr> <tr><td>・室名札</td><td></td><td></td><td>※ 図示</td><td>※ 図示</td><td>※ 図示</td></tr> <tr><td>○ピクトグラフ ・とびら番号 ・非常用出入口</td><td>※ 図示 ・アクリル板 (※ 5.0)</td><td>※ シルクスクリーン印刷 ○ 図示</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・建物案内板 ・各階案内板</td><td>※アクリル板 (※ 8.0) ・ 図示</td><td>※ シルクスクリーン印刷</td><td>※ 図示</td><td>※ 図示</td><td>※ 図示</td></tr> </table> ・対人衝突防止表示 ※ 図示 材種 ・アルミニウム製 ※塩ビ <table border="1"> <tr><th>形式</th><th>材種</th><th>寸法</th><th colspan="2">形 式</th><th>鍵</th></tr> <tr><td>天井</td><td>※アルミニウム製</td><td>※450×450 ・ 600×600</td><td>一一般形 ○額縁タイプ ・ 目地タイプ</td><td>内 枠 ○ 目地タイプ</td><td>※なし ・あり</td></tr> <tr><td>床</td><td>・アルミニウム製 ・ステンレス製</td><td>・450×450 ・ 600×600</td><td>・ 一般形 ・ 結露防止形</td><td>○ 密閉形</td><td>・なし ※あり</td></tr> </table> 製造所 評価名簿による 材種 ○タリタホ ストフォーム t=20 学校向け二重床下地システム クッションゴム付き支柱脚 際根太及びその他詳細は、製造所の仕様による 業系サイディング (JIS A 5422) <table border="1"> <tr><th>種 類</th><th>形 状</th><th>働き長さ</th><th>働き幅</th><th>厚さ</th><th>表面仕上げ</th><th>耐凍害性能</th><th>防火性能</th></tr> <tr><td>フラットパネル</td><td>製造所指定</td><td>3030</td><td>455</td><td>16</td><td>-</td><td>無</td><td>-</td></tr> </table>	区分	材質・厚さ(mm)	印刷等の種別	色彩	取付形式	書体	・室名札			※ 図示	※ 図示	※ 図示	○ピクトグラフ ・とびら番号 ・非常用出入口	※ 図示 ・アクリル板 (※ 5.0)	※ シルクスクリーン印刷 ○ 図示				・建物案内板 ・各階案内板	※アクリル板 (※ 8.0) ・ 図示	※ シルクスクリーン印刷	※ 図示	※ 図示	※ 図示	形式	材種	寸法	形 式		鍵	天井	※アルミニウム製	※450×450 ・ 600×600	一一般形 ○額縁タイプ ・ 目地タイプ	内 枠 ○ 目地タイプ	※なし ・あり	床	・アルミニウム製 ・ステンレス製	・450×450 ・ 600×600	・ 一般形 ・ 結露防止形	○ 密閉形	・なし ※あり	種 類	形 状	働き長さ	働き幅	厚さ	表面仕上げ	耐凍害性能	防火性能	フラットパネル	製造所指定	3030	455	16	-	無	-
種別	厚さ(mm)	施工箇所																																																																																																			
・A種	※12																																																																																																				
・B種	※12																																																																																																				
・C種	※12																																																																																																				
種別	コンクリートの内外装仕上げ	平たんさ	適用部位による仕上げの目安																																																																																																		
a種	コンクリートが見え掛りとなる場合又は仕上げ厚さが極めて薄い場合その他非常に良好な平たんさ及び良好な表面状態が必要な場合	3mにつき7mm以下	化粧打放しコンクリート 塗装仕上げ 壁紙張り 接着剤による陶磁器質タイル張り	合成樹脂塗床 ビニル系床材張り 床コンクリート直均し仕上げ フリアクセリア (置敷式)																																																																																																	
b種	仕上げ厚さが7mm未満の場合その他良好な平たんさが必要な場合	3mにつき10mm以下	仕上塗材塗り 外装タイルモタル張り	カーペット張り 防水下地 セメント系「ソラ」材塗り																																																																																																	
c種	仕上げ厚さが7mm以上の場合又は下地の影響を受けにくい仕上げの場合	1mにつき10mm以下	セメント系陶磁器質タイル張り タイル張り モタル塗り 二重床																																																																																																		
種別	所要気乾単位容積質量 (t/m ³)	スランプ	適用箇所																																																																																																		
・1種	※表6.10.1による	※21	※ 図示																																																																																																		
区分	材質・厚さ(mm)	印刷等の種別	色彩	取付形式	書体																																																																																																
・室名札			※ 図示	※ 図示	※ 図示																																																																																																
○ピクトグラフ ・とびら番号 ・非常用出入口	※ 図示 ・アクリル板 (※ 5.0)	※ シルクスクリーン印刷 ○ 図示																																																																																																			
・建物案内板 ・各階案内板	※アクリル板 (※ 8.0) ・ 図示	※ シルクスクリーン印刷	※ 図示	※ 図示	※ 図示																																																																																																
形式	材種	寸法	形 式		鍵																																																																																																
天井	※アルミニウム製	※450×450 ・ 600×600	一一般形 ○額縁タイプ ・ 目地タイプ	内 枠 ○ 目地タイプ	※なし ・あり																																																																																																
床	・アルミニウム製 ・ステンレス製	・450×450 ・ 600×600	・ 一般形 ・ 結露防止形	○ 密閉形	・なし ※あり																																																																																																
種 類	形 状	働き長さ	働き幅	厚さ	表面仕上げ	耐凍害性能	防火性能																																																																																														
フラットパネル	製造所指定	3030	455	16	-	無	-																																																																																														

項目	特記事項																					
鉄筋工事																						
① 鉄筋の種類	(5.2.1)(表5.2.1) <table border="1"> <tr><th>種 類 の 記 号</th><th>呼 び 名</th><th>使 用 箇 所</th></tr> <tr><td>○SD295</td><td>D10、D13</td><td>土間、和便器除去(400×750)のみ</td></tr> <tr><td>・SD345</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・SD390</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・SD490</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・SR235</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・SR295</td><td></td><td></td></tr> </table>	種 類 の 記 号	呼 び 名	使 用 箇 所	○SD295	D10、D13	土間、和便器除去(400×750)のみ	・SD345			・SD390			・SD490			・SR235			・SR295		
種 類 の 記 号	呼 び 名	使 用 箇 所																				
○SD295	D10、D13	土間、和便器除去(400×750)のみ																				
・SD345																						
・SD390																						
・SD490																						
・SR235																						
・SR295																						
2 溶接金網等	規格 ※ JIS G 3551 (5.2.2) 種類 ・ 溶接金網 ・ 鉄筋格子 鉄線の形状、網目寸法 () 鉄線の径(mm) ()																					
③ 鉄筋の継手及び定着	継手 (5.3.4)(表5.3.2~表5.3.3) <table border="1"> <tr><th>部 位</th><th>継 手 方 法</th><th>呼び名</th></tr> <tr><td>柱・梁の主筋</td><td>※ガス圧接継手 ・ 重ね継手 ・ 機械式継手 ・ 溶接継手</td><td></td></tr> <tr><td>耐力壁の鉄筋</td><td>※重ね継手</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td>※重ね継手</td><td></td></tr> </table> 継手の位置 ※ 図示 ・ 配筋標準図による (5.3.4) 先組み工法等で柱、梁の主筋の隣り合う継手を同一箇所にはける場合 ※ 図示 (表5.3.2)(5.3.4(3)) 重ね継手の長さ ※ 図示 ・ 5.3.4(3)による (表5.3.4)(5.3.4(5)) 鉄筋の定着の長さ ※表5.3.4による (表5.3.4)(5.3.4(5)) 機械式定着工法 ・ 適用する 適用箇所、種類 ※ 図示	部 位	継 手 方 法	呼び名	柱・梁の主筋	※ガス圧接継手 ・ 重ね継手 ・ 機械式継手 ・ 溶接継手		耐力壁の鉄筋	※重ね継手		その他	※重ね継手										
部 位	継 手 方 法	呼び名																				
柱・梁の主筋	※ガス圧接継手 ・ 重ね継手 ・ 機械式継手 ・ 溶接継手																					
耐力壁の鉄筋	※重ね継手																					
その他	※重ね継手																					
④ 鉄筋のかぶり厚さ	※表5.3.6による (表5.3.6)(5.3.5) ※かぶり厚さは目地底から算定する。 ・塩害を受けるおそれのある部分等、耐久性上不利な箇所の最小かぶり厚さは下表による。(5.3.5) <table border="1"> <tr><th>施 工 箇 所 等</th><th>表5.3.6の値に加える数値(mm)</th></tr> <tr><td>柱、梁、壁及び庇等の外気に接する打増し面</td><td>※10</td></tr> </table> ・軽量コンクリートで土に接する部分の最小かぶり厚さ 表5.3.6の値に加える数値 (mm) (5.3.5) ・機械式継手及び溶接継手の場合の鉄筋相互のあき ※ 図示 (5.3.5) ※ 図示 (5.3.7)	施 工 箇 所 等	表5.3.6の値に加える数値(mm)	柱、梁、壁及び庇等の外気に接する打増し面	※10																	
施 工 箇 所 等	表5.3.6の値に加える数値(mm)																					
柱、梁、壁及び庇等の外気に接する打増し面	※10																					
⑤ 各部の配筋	※ 図示																					
6 圧接完了後の試験	試験方法 ※超音波探傷試験 ・ 引張試験																					
7 機械式継手	平成12年建設省告示第1463号に適合する性能 (5.5.3) ・ A級 鉄筋相互のあき (5.5.3) ・ 評定等の内容による ・ 図示 施工完了後の継手部の試験 (5.5.5) ・ 外観試験 試験項目、試験方法 ※ 図示 ・ 超音波探傷試験 試験対象 ※ 図示 不合格となった場合の措置 ※ 図示 (5.5.5)																					
8 溶接継手	平成12年建設省告示第1463号に適合する性能 (5.6.3) ・ A級 鉄筋相互のあき (5.6.3) ・ 評定等の内容による ・ 図示 施工完了後の継手部の試験 (5.6.5) ・ 外観試験 試験項目、試験方法 ※ 図示 ・ 超音波探傷試験 試験対象 ※ 図示 不合格となった場合の措置 ※ 図示 (5.6.5)																					

項目	特記事項
① あと施工アンカー (天井下地用を除く)	施工後の確認(引張試験) ・ 行う ○行わない 確認強度 () (14.1.3)
ユニット及びその他工事	
① トイレブース	パネル表面材 ※ 図示 ・メラミン樹脂系化粧板 ・ ポリエステル樹脂系化粧板 (20.2.5) 脚部の種類 ※ 図示 ・ 幅木タイプ ドアエッジ ※ 図示 ・ アルミニウム製 ・ ステンレス製 製造所 評価名簿による

項目	特記事項
① 解体範囲	※ 図示(土中解体で図面に記載がない場合は、基礎掘コンクリートまでとする。) ・ その他()
② 解体作業注意事項	a) 解体機器は圧砕機を主体とし、騒音及び振動等の発生防止に努める。 b) 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、その他の関係法令等によるほか、工事に伴い発生する廃棄物は選別等を行い、リサイクル等再資源化に努めること。 c) 車両の出入りにおいては、道路を泥等で汚さないように留意すること。また、止むを得ず汚した場合は、速やかに清掃すること。 d) 解体作業中は散水等を行い、粉塵等の飛散防止に努め、廃材搬出車両には、飛散防止用のシートを被せて運行すること。 e) 工事作業者の通動用車両での乗り込みは最小限に留め、全ての工事関係車両は進入路及び敷地内では徐行運転すること。 f) 工事関係車両は、周辺道路での待機及び路上駐車は行わないこと。 g) 施設関係者、通行者、近隣等に危害が及ばぬよう、騒音及び振動、工事関係車両の通行等に注意すること。 h) PCBが含まれる機器類が発見された場合は、監督職員に報告すること。また、そのPCBを含む機器類については、高知市が指示する場所に保管すること。 i) 以上の項目は受注者はもとより請業者にも、周知徹底させること。
3 作業時間等	資材、機材の搬入は朝夕の交通ラッシュ時には行わないこと。
4 騒音測定等	解体作業中はデジタル式の(騒音計・振動計)を設置し、記録すること。また、記録したものを報告書として提出すること。なお、関連法令で定める数値を上回った場合は、作業を中止し、監督職員に速やかに報告すること。 測定点 ※敷地境界 ()か所：詳細な位置は監督職員と協議による ・ 図示 ・ その他()
5 その他	・ 電灯等は、別途設備工事で撤去することとする。 ・ 工事現場着手は電気及び機械設備工事の切り替え後とする。



工事場所：高知市相模町1番54号
愛宕中学校



付近見取図

【改修対象施設】

高知市相模町1番54号 愛宕中学校
施設用途：中学校
主要構造：鉄筋コンクリート造+鉄骨造 3階建て

【施工条件等】

- ・施設を利用しながらの工事となるため、日常的な清掃を行い、作業時間・作業内容・騒音及び振動を伴う作業については、施設管理者と協議の上、作業時間等に配慮すること。
- ・原則工事範囲内以外に資材等ものを置かないこと。資材置場等、止むを得ないものは学校側と協議を行い了承を得ること。
- ・原則外部足場からの搬出入とする。但し学校側と協議の上、学校運営に支障がなく安全確保もできることを前提に承諾を得られる場合は、屋内廊下・階段からの資材搬入もよいこととする。
- ・仮囲い等は、作業時間外には必ず撤除すること。
- ・下記日程は、現場作業不可とする。

令和8年 7月27日(月)終日、7月28日(火)終日
10月22日(木)終日、10月23日(金)終日

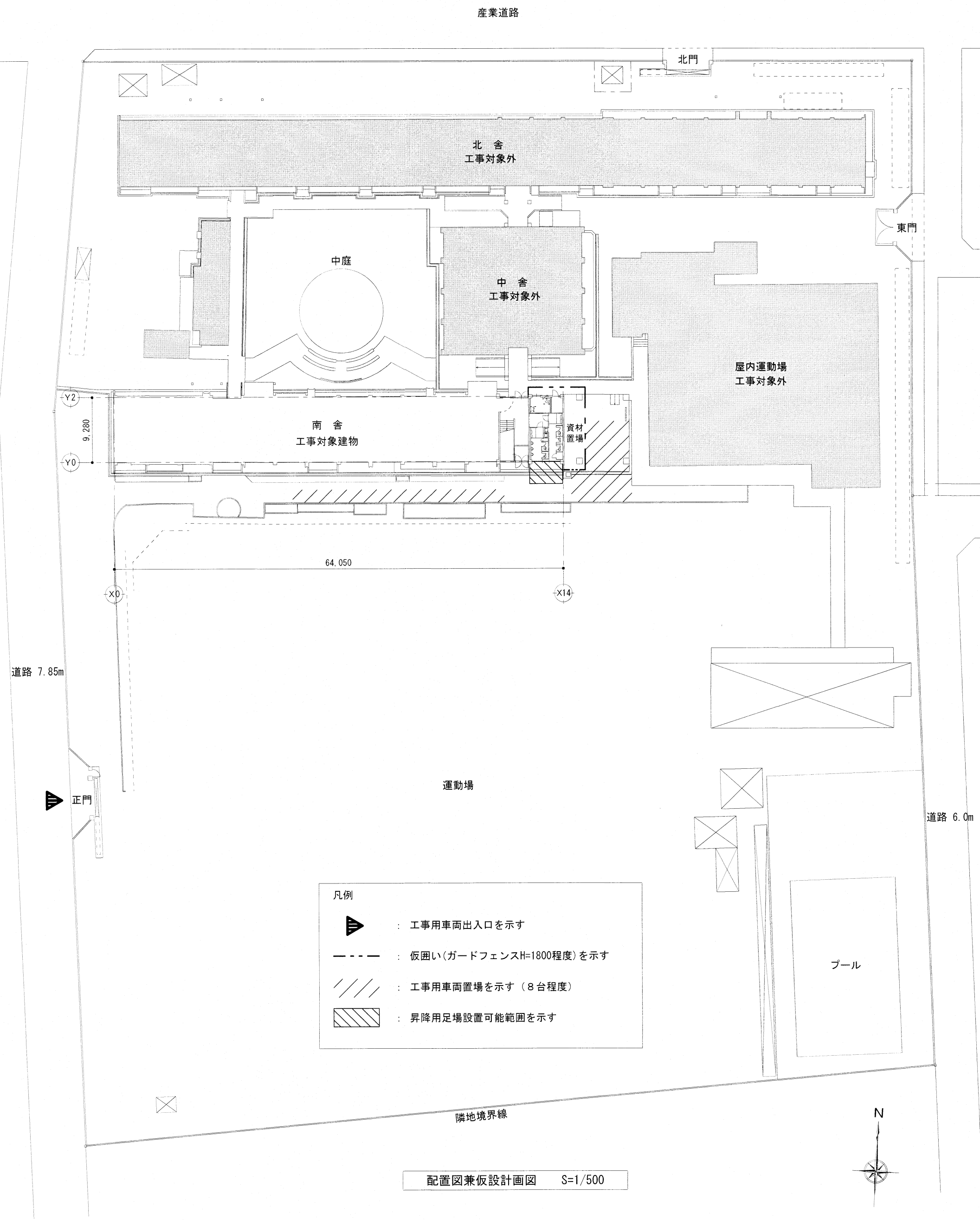
【工事概要】

南舎 1～3階 男女トイレの改修工事
1階 バリアフリートイレの改修工事

・下記日程は、大きな騒音又は振動を伴う作業不可とする。





令和8年 8月4日(火)午前、8月20日(木)終日
8月25日(火)午前、9月2日(水)終日
10月8日(木)終日、10月9日(金)終日

※なお、学校行事予定が変更になる等、作業可能となる場合もあるため、事前に施設管理者に確認すること。



配置図兼仮設計画図 S=1/500

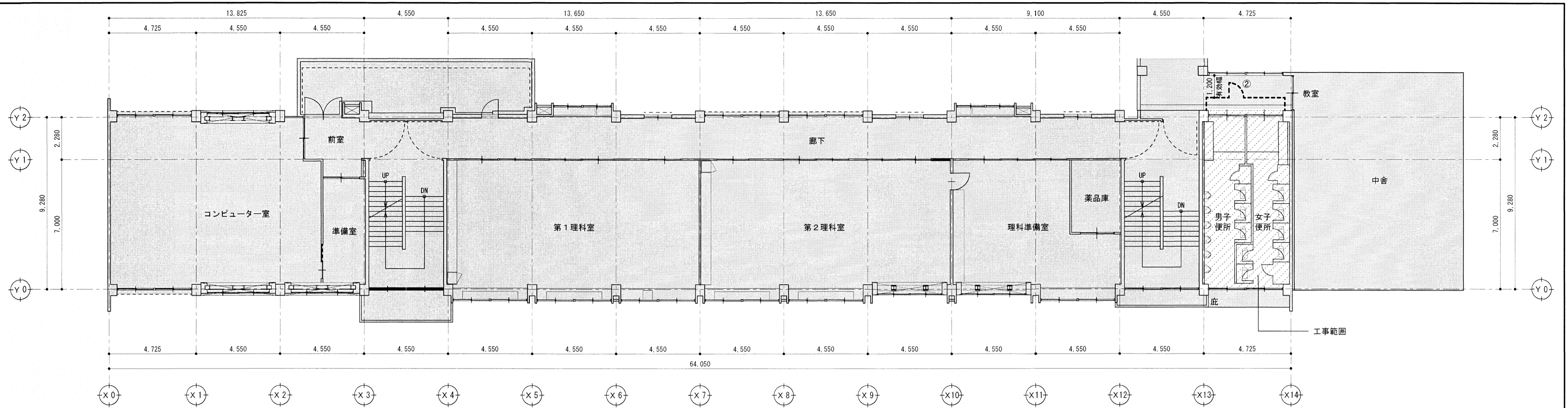


高知市 都市建設部 公共建築課				工事名 愛宕中学校南舎トイレ改修工事		NO A-07
係	係長	課長補佐	課長	図面名 付近見取図・配置図兼仮設計画図	SCALE 1/500	
				CHECKED BY	DRAWN BY Matsumoto	一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史

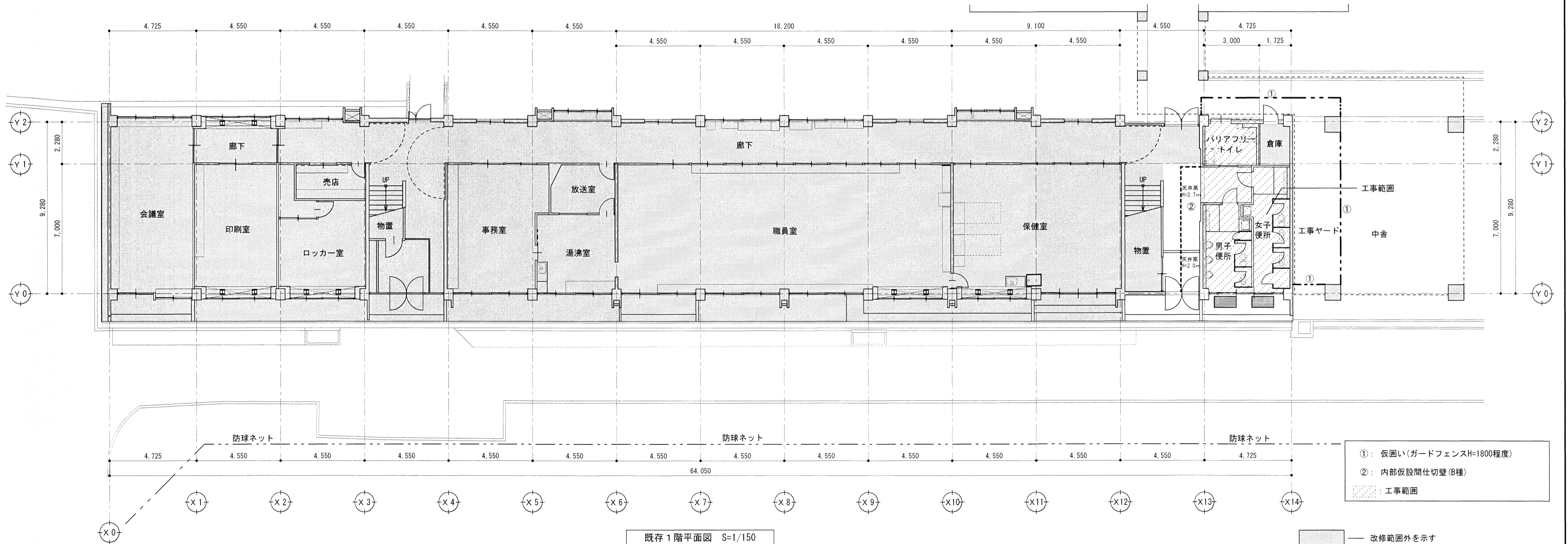
■ 外部仕上表		特記事項	防火認定番号			
外 壁 (1階男子・女子トイレ 南側)	スチールタテ筋線：C-100×50×20×2.3 @455 強化石膏ボード(防水防カビタイプ) t=15+15+透湿防水シート+窯業系サイディング(塗装品) t=16横張り(通気金具工法) 断熱材：グラスウール t=50 24kg/m3 (1時間耐火構造 認定工法) 立上りコンクリート t=150新設(鉄筋D10@200・差筋アンカーD10@200) 打継部止水テープ共 上下端通気水切：ガルバリウム鋼板 t=0.4加工	・乾式二重床設置は、セルフレベリング t=10を行うこと	せっこうボード t=12.5 (GB-R 12.5)	不燃 大臣認定品	化粧けい酸カルシウム板 t=6	不燃 大臣認定品
			せっこうボード t=9.5 (GB-R 9.5)	準不燃 大臣認定品	岩綿吸音板 t=9	不燃 大臣認定品
			シーリングせっこうボード t=12.5 (GB-S 12.5)	準不燃 大臣認定品	化粧石膏吸音ボード t=9.5	不燃 大臣認定品
			化粧せっこうボード t=9.5 (GB-D)	準不燃 大臣認定品	ビニールクロス	不燃 大臣認定品
			けい酸カルシウム板 t=6	不燃 大臣認定品		

■ 内部仕上表									
階数	室名		床	幅木	壁	廻り縁	天井	天井高	備考
1階	バリアフリートイレ	改修前	土間コンクリート t=100+モルタル下地 ビニル床シート t=2.5張り【全て撤去】 SUS床排水：既存のまま	ビニル幅木 H=100【撤去】	LGS下地：ラワン合板 t=9.0+けい酸カルシウム板 t=6.0 EP-G塗り【既存のまま】 一部撤去 RC下地：モルタル塗+EP塗り【既存のまま】 面台：LGS下地 ラワン合板 t=9.0+けい酸カルシウム t=6.0下地 100角タイル接着張り【全て撤去】	塩ビ【撤去】	LGS下地 石膏ボード t=9.5捨張+ ロックウール吸音化粧板 t=9.0張り【全て撤去】	2,800	SUS面台【撤去】 SUS製床排水ボックス【既存のまま】 アルミガラリ・天井点検口【撤去】
		改修後	土間コンクリート t=120新設 モルタル塗り t=30下地 乾式トイレ用ビニル床シート張り t=2.0	床材巻上げ H=100	新設LGS下地 GB-S t=12.5+化粧けい酸カルシウム板張り t=6.0 下地調整の上 EP-G塗り	塩ビ(目透タイプ)	新設LGS下地 GB-D t=9.5張り	2,800	天井点検口450×450
	前室	改修前	モルタル下地 ビニル床シート t=2.0張り【仕上材のみ撤去】 一部コンクリート(モルタル含む) t=30~110 ビニル床シート t=2.0張り【全て撤去】	ビニル幅木 H=100【撤去】	LGS下地：ラワン合板 t=9.0+けい酸カルシウム板 t=6.0 EP-G塗り【全て撤去】 RC下地：モルタル塗+EP塗り【既存のまま】	塩ビ【撤去】	LGS下地 石綿板 t=6.0 目透し張り VP塗【全て撤去】	2,350	床点検口【撤去】
		改修後	既存モルタル下地 ポリマーセメントペースト塗りの上 防滑性ビニル床シート張り t=2.0 一部モルタル塗り t=30下地 防滑性ビニル床シート張り t=2.0	ビニル幅木 H=100	一部 新設LGS下地 GB-R t=12.5+EP塗り 下地調整の上 EP塗り	塩ビ(目透タイプ)	新設LGS下地 GB-D t=9.5張り	2,350~ 2,430	
	女子トイレ	改修前	モルタル下地 25角モザイクタイル張り【全て撤去】 一部 モルタル下地 ビニル床シート t=2.5張り【仕上材のみ撤去】	—	モルタル下地 100角カラータイル張り【既存のまま】 LGS下地 ラワン合板 t=9.0+けい酸カルシウム板 t=6.0+100角カラータイル接着張り 【既存のまま 一部全て撤去】 面台：CB t=100下地 モルタル+100角カラータイル張り【全て撤去】	塩ビ【撤去】	LGS下地 石綿板 t=6.0 目透し張り VP塗【全て撤去】	2,350 2,400	面台：テラゾブロック25×150【撤去】 トイレベース・アルミサッシ【撤去】
		改修後	乾式二重床 構造用合板 t=12下地 乾式トイレ用ビニル床シート張り t=2.0 既存モルタル下地 ポリマーセメントペースト塗りの上 乾式トイレ用ビニル床シート張り t=2.0 踏込：モルタル塗り t=30下地 100角タイル張り	床材巻上げ H=100 一部ビニル幅木 H=100	ポリマーセメントペースト塗りの上 化粧けい酸カルシウム板張り t=6.0 一部 新設LGS下地 GB-S t=12.5+化粧けい酸カルシウム板張り t=6.0 (グラスウール24kg/m3 t=50充填) 面台：新設LGS下地 耐水合板 t=12.0+化粧けい酸カルシウム板張り t=6.0	塩ビ(目透タイプ)	新設LGS下地 GB-D t=9.5張り	2,350	天井点検口450×450 床点検口600×600
男子トイレ	改修前	モルタル下地 25角モザイクタイル張り【全て撤去】 一部 モルタル下地 ビニル床シート t=2.5張り【仕上材のみ撤去】	—	モルタル下地 100角カラータイル張り【既存のまま】 LGS下地 ラワン合板 t=9.0+けい酸カルシウム板 t=6.0+100角カラータイル接着張り 【既存のまま 一部全て撤去】 面台：CB t=100下地 モルタル+100角カラータイル張り【全て撤去】	塩ビ【撤去】	LGS下地 石綿板 t=6.0 目透し張り VP塗【全て撤去】	2,350 2,400	面台：テラゾブロック25×150【撤去】 トイレベース・アルミサッシ【撤去】 床下点検口【既存のまま】	
	改修後	乾式二重床 構造用合板 t=12下地 乾式トイレ用ビニル床シート張り t=2.0 既存モルタル下地 ポリマーセメントペースト塗りの上 乾式トイレ用ビニル床シート張り t=2.0 踏込：モルタル塗り t=30下地 100角タイル張り 小便器下部：乾式二重床 構造用合板 t=12下地 汚垂石タイル張り(3方テーパー加工)	床材巻上げ H=100 一部ビニル幅木 H=100	ポリマーセメントペースト塗りの上 化粧けい酸カルシウム板張り t=6.0 一部 新設LGS下地 GB-S t=12.5+化粧けい酸カルシウム板張り t=6.0 (グラスウール24kg/m3 t=50充填) 面台：新設LGS下地 耐水合板 t=12.0+化粧けい酸カルシウム板張り t=6.0	塩ビ(目透タイプ)	新設LGS下地 GB-D t=9.5張り	2,350	天井点検口450×450	
2・3階	女子トイレ	改修前	軽量コンクリート t=60下地 25角モザイクタイル(モルタル含む)張り【全て撤去】 一部軽量コンクリート(モルタル含む) t=220下地 ビニル床シート t=2.5張り【全て撤去】	—	モルタル下地 100角カラータイル張り【既存のまま】 LGS下地 ラワン合板 t=9.0+けい酸カルシウム板 t=6.0+100角カラータイル接着張り 【既存のまま 一部全て撤去】 面台：CB t=100下地 モルタル+100角カラータイル張り【全て撤去】	塩ビ【撤去】	LGS下地 石綿板 t=6.0 目透し張り VP塗【全て撤去】	2,300 2,400	面台：テラゾブロック25×150【撤去】 トイレベース【撤去】
		改修後	既存モルタル下地 ポリマーセメントペースト塗りの上 乾式トイレ用ビニル床シート張り t=2.0 一部モルタル塗り t=30下地 乾式トイレ用ビニル床シート張り t=2.0	床材巻上げ H=100	ポリマーセメントペースト塗りの上 化粧けい酸カルシウム板張り t=6.0 一部 新設LGS下地 GB-S t=12.5+化粧けい酸カルシウム板張り t=6.0 (グラスウール24kg/m3 t=50充填) 面台：新設LGS下地 耐水合板 t=12.0+化粧けい酸カルシウム板張り t=6.0	塩ビ(目透タイプ)	新設LGS下地 GB-D t=9.5張り	2,490	天井点検口450×450
	男子トイレ	改修前	軽量コンクリート(モルタル含む) t=120下地 25角モザイクタイル張り【全て撤去】 一部軽量コンクリート(モルタル含む) t=220下地 ビニル床シート t=2.5張り【全て撤去】	—	モルタル下地 100角カラータイル張り【既存のまま】 LGS下地 ラワン合板 t=9.0+けい酸カルシウム板 t=6.0+100角カラータイル接着張り 【既存のまま 一部全て撤去】 面台：CB t=100下地 モルタル+100角カラータイル張り【全て撤去】	塩ビ【撤去】	LGS下地 石綿板 t=6.0 目透し張り VP塗【全て撤去】	2,300 2,400	面台：テラゾブロック25×150【撤去】 トイレベース【撤去】
		改修後	既存モルタル下地 ポリマーセメントペースト塗りの上 乾式トイレ用ビニル床シート張り t=2.0 一部モルタル塗り t=30下地 乾式トイレ用ビニル床シート張り t=2.0 小便器下部：既存モルタル下地 ポリマーセメントペースト塗りの上 汚垂石タイル張り(3方テーパー加工)	床材巻上げ H=100	ポリマーセメントペースト塗りの上 化粧けい酸カルシウム板張り t=6.0 一部 新設LGS下地 GB-S t=12.5+化粧けい酸カルシウム板張り t=6.0 (グラスウール24kg/m3 t=50充填) 面台：新設LGS下地 耐水合板 t=12.0+化粧けい酸カルシウム板張り t=6.0	塩ビ(目透タイプ)	新設LGS下地 GB-D t=9.5張り	2,490	天井点検口450×450
廊下	改修前	ビニル床シート張り【仕上材のみ撤去】	ビニル幅木 H=100	モルタル下地 EP塗り【既存のまま】	塩ビ【既存のまま】	LGS下地 化粧吸音石膏ボード t=9.5【既存のまま】	2,800		
	改修後	ビニル床シート張り t=2.0	ビニル幅木 H=100	下地調整の上 EP塗り	—	下地調整の上 EP塗り	2,800		

高知市 都市建設部 公共建築課				工事名 愛宕中学校南舎トイレ改修工事		松本塚史建築設計事務所 TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates		NO
係	係長	課長補佐	課長	図面名 仕上表				A-08
用紙サイズによる縮尺補正值 A2:100% A3:70.7%				CHECKED BY		DRAWN BY	Matsumoto	SCALE
						一級建築士大臣登録第322947号 松本塚史		—



既存2階平面図 S=1/150

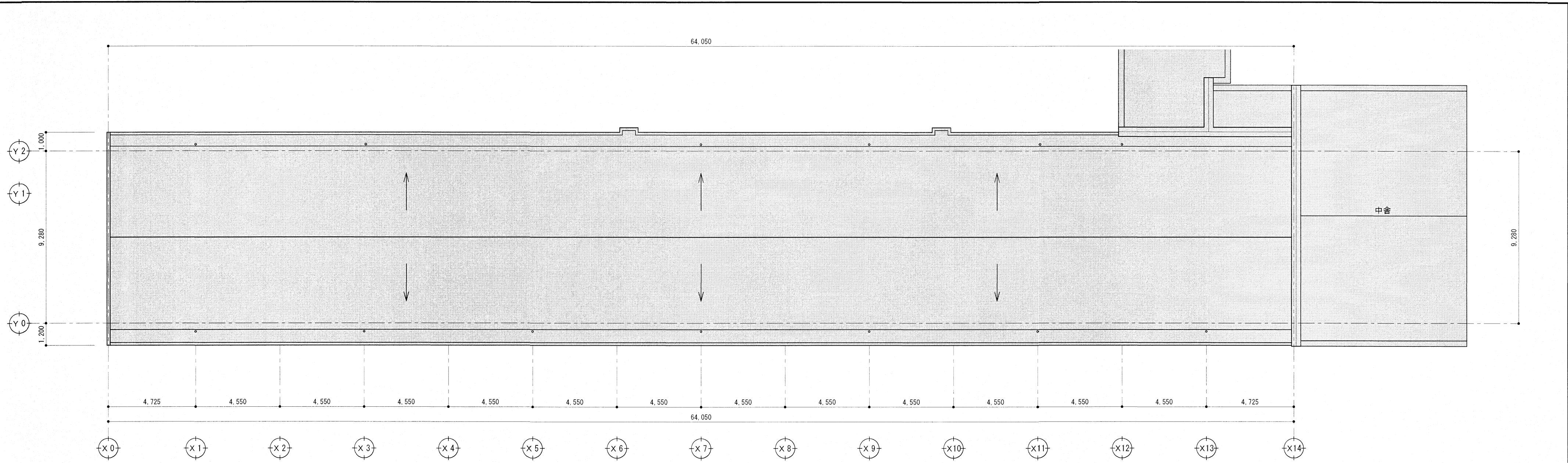


既存1階平面図 S=1/150

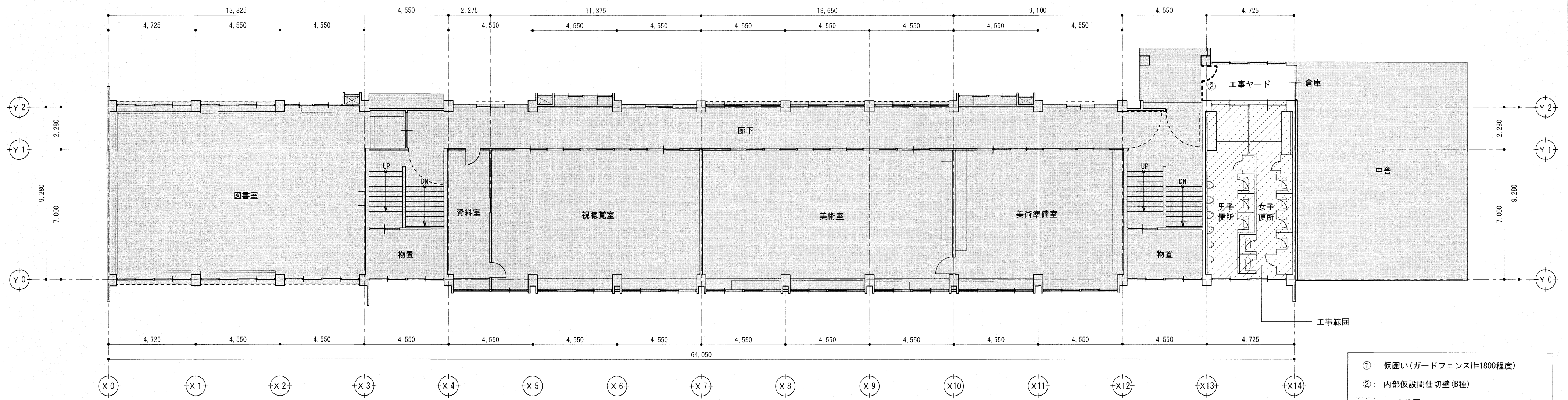
- ①: 仮囲い(ガードフェンスH=1800程度)
- ②: 内部仮設間仕切壁(B種)
- : 工事範囲

— 改修範囲外を示す

高知市 都市建設部 公共建築課				工事名	愛宕中学校南舎トイレ改修工事		NO A-09	
係	係長	課長補佐	課長	図面名	1・2階平面図・仮設計画図			SCALE 1/150
				CHECKED BY	DRAWN BY	Matsumoto	一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史	
用紙サイズによる縮尺補正値 A2: 100% A3: 70.7%								



既存屋根伏図 S=1/150

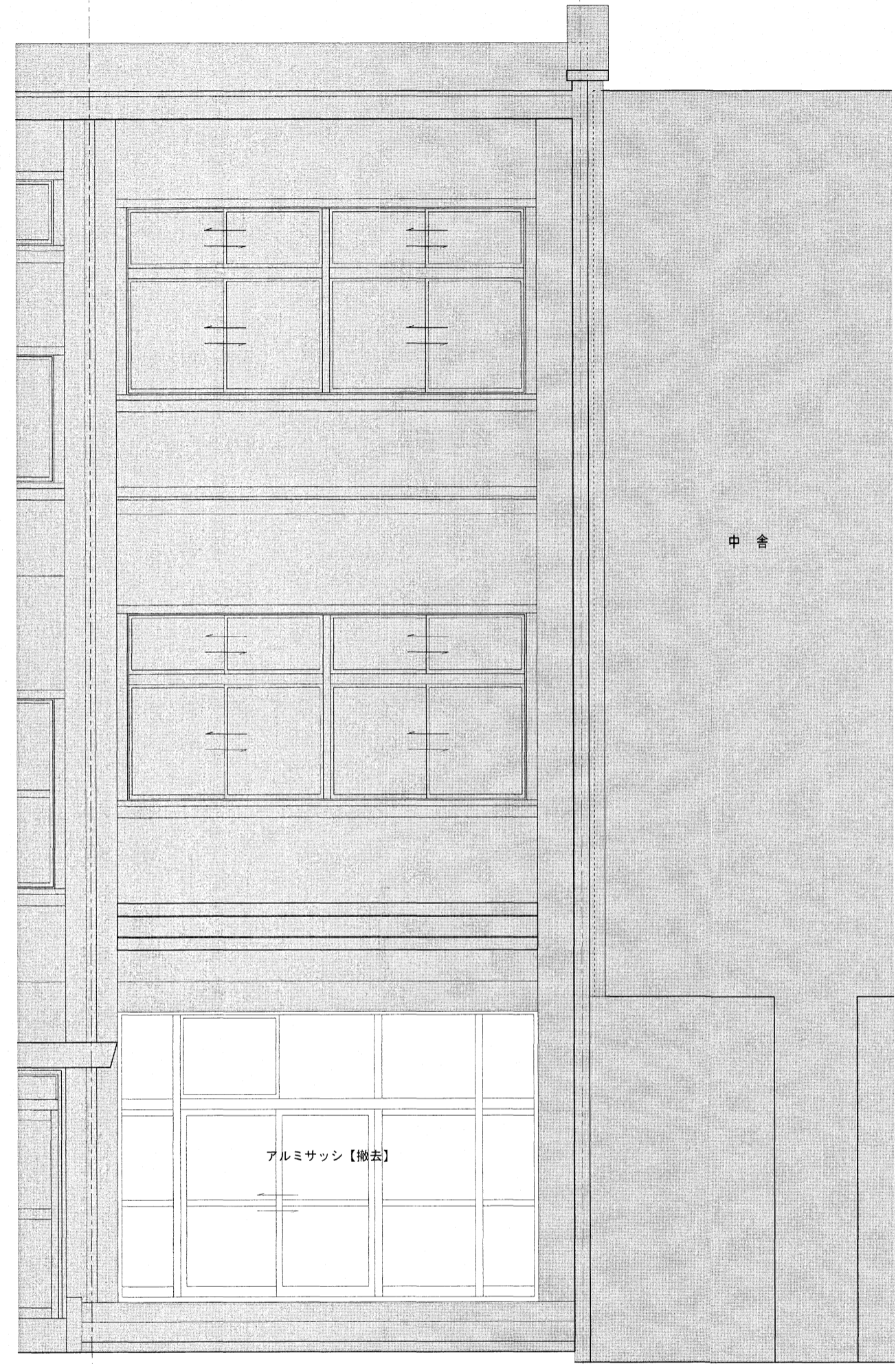


既存3階平面図 S=1/150

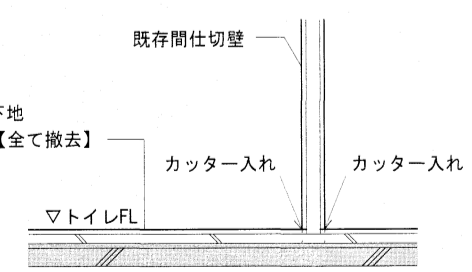
- ①: 仮囲い(ガードフェンスH=1800程度)
- ②: 内部仮設間仕切壁(B種)
- ▨: 工事範囲

— 改修範囲外を示す

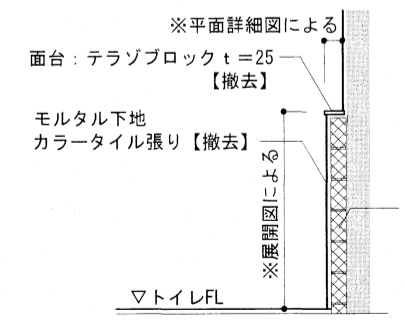
高知市 都市建設部 公共建築課				工事名	愛宕中学校南舎トイレ改修工事		NO A-10
係	係長	課長補佐	課長	図面名	3階平面図・屋根伏図・仮設計計画図		
				CHECKED BY		DRAWN BY	Matsumoto
用紙サイズによる縮尺補正値 A2: 100% A3: 70.7%				松本琢史建築設計事務所 TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates 一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史			



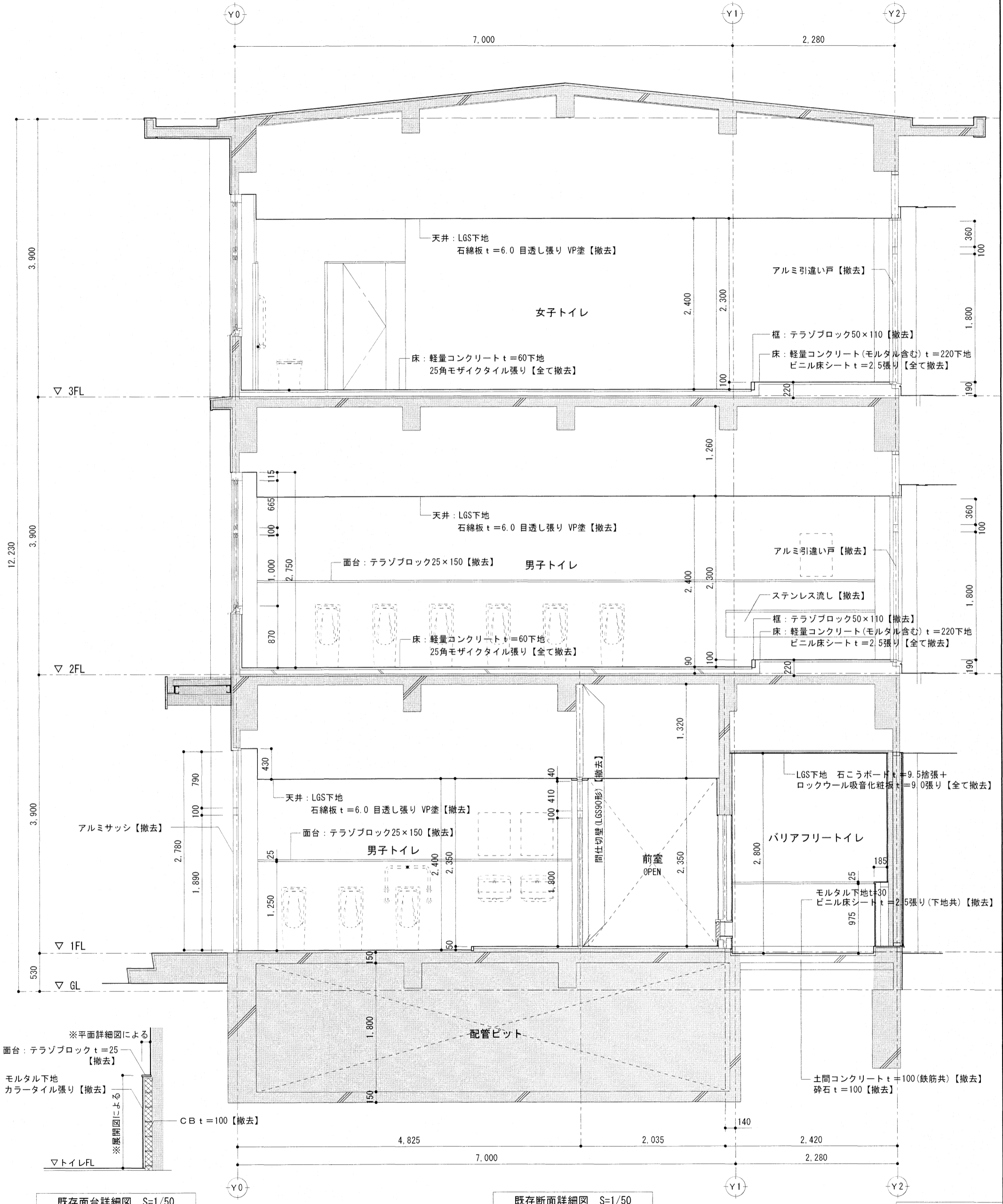
既存立面図 S=1/50



既存床撤去部詳細図 S=1/50



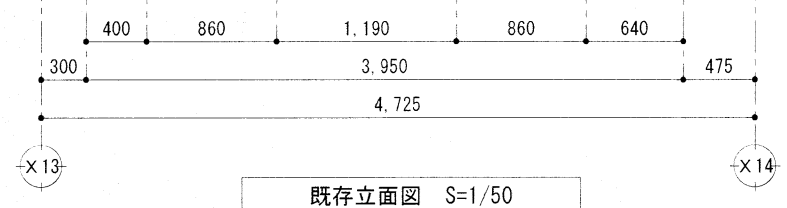
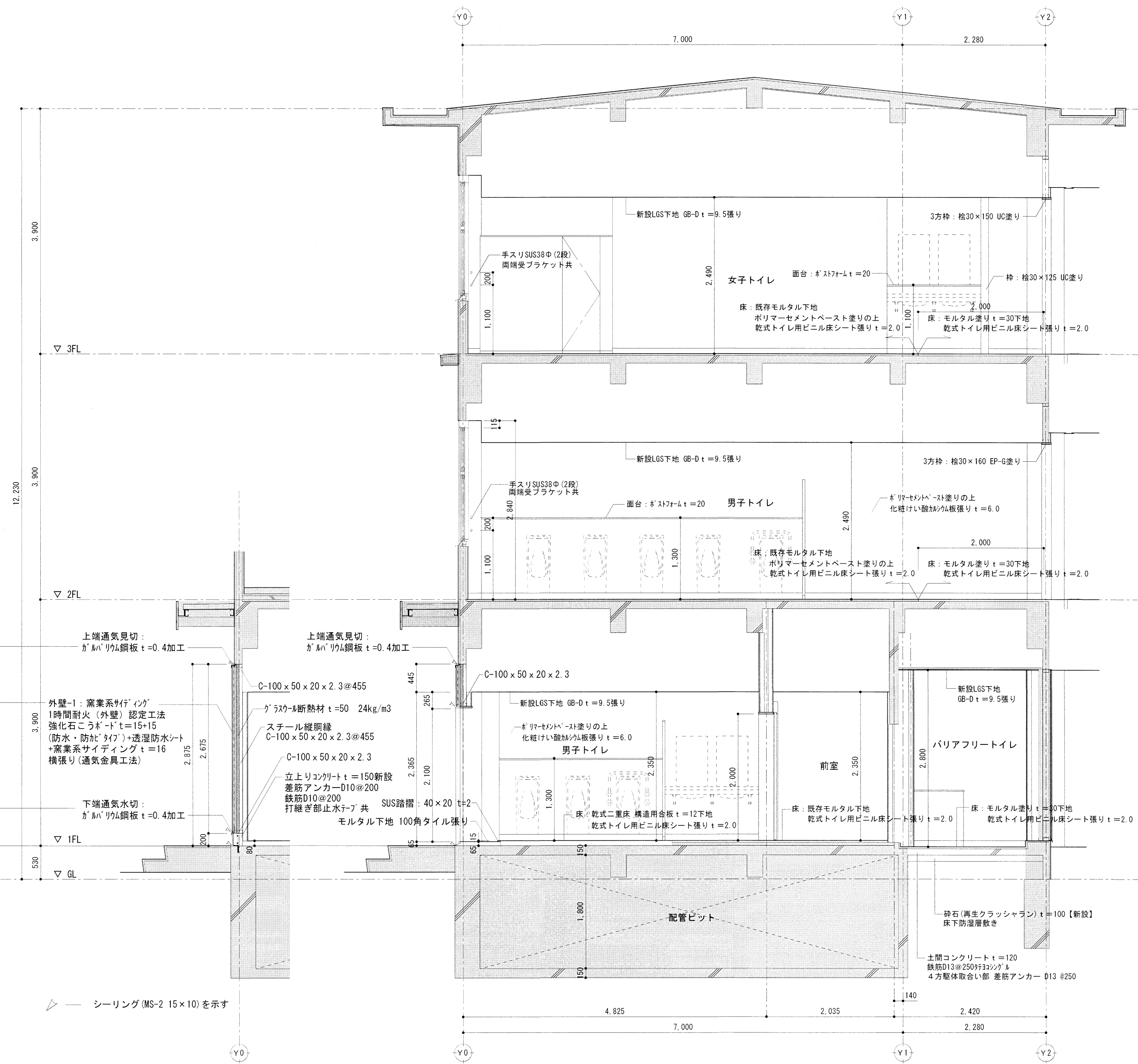
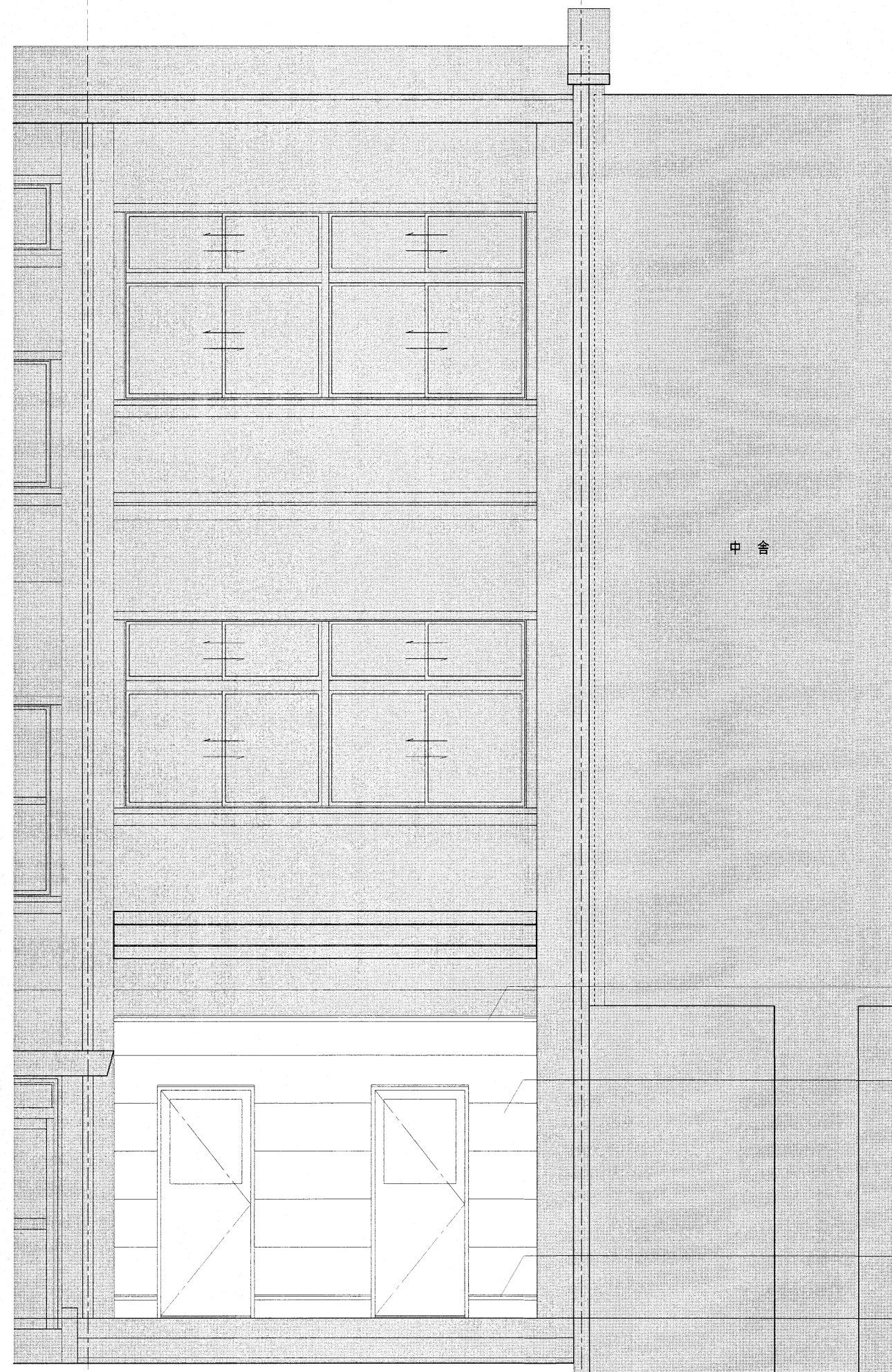
既存面台詳細図 S=1/50



既存断面詳細図 S=1/50

改修前

高知市 都市建設部 公共建築課				工事名	愛宕中学校南舎トイレ改修工事	松本琢史建築設計事務所 TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates 一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史	NO A-11	
係	係長	課長補佐	課長	図面名	断面詳細図・立面図【改修前】			SCALE 1/50
				CHECKED BY	DRAWN BY	Matsumoto		
用紙サイズによる縮尺補正値 A2: 100% A3: 70.7%								

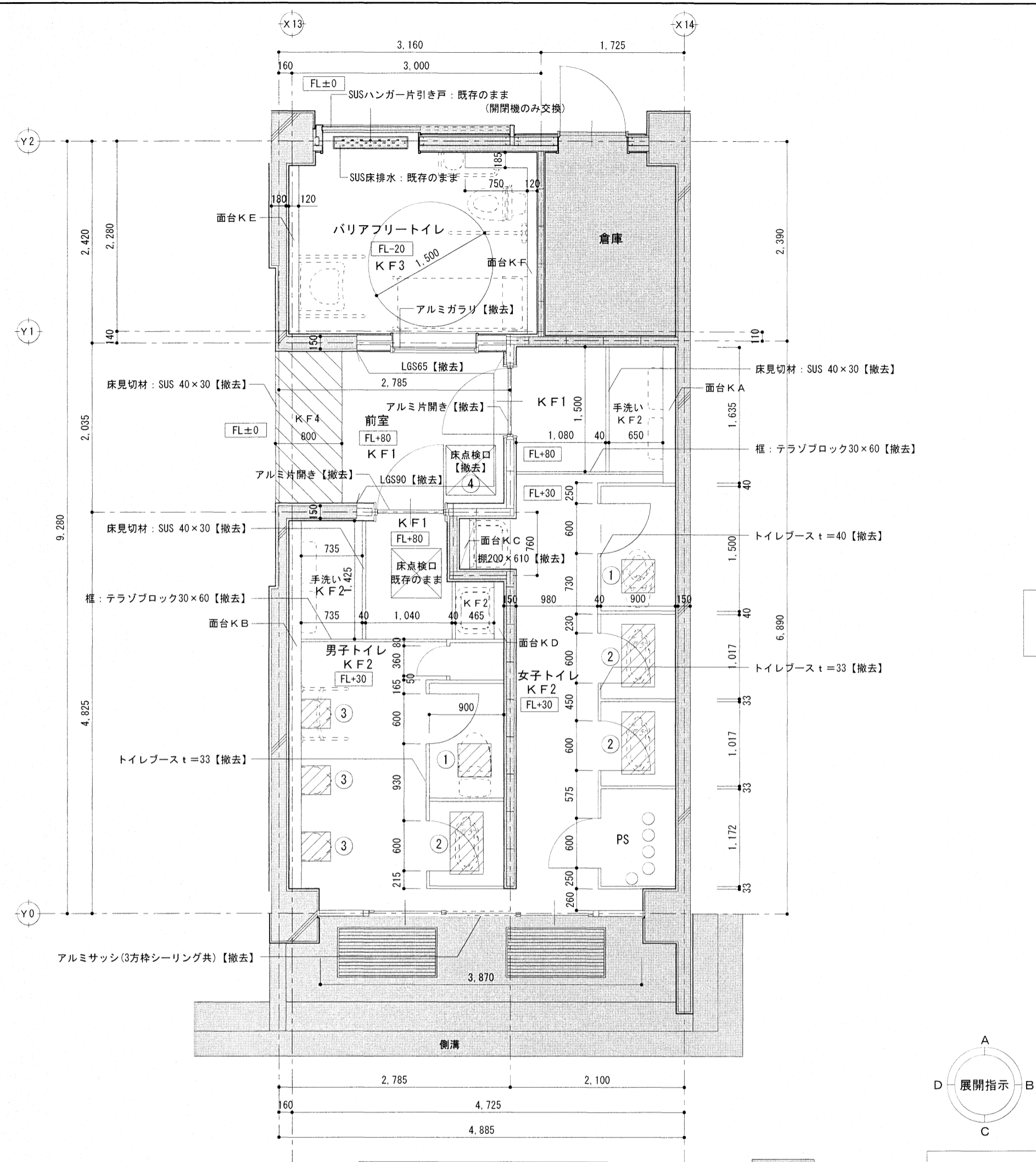


既存立面図 S=1/50

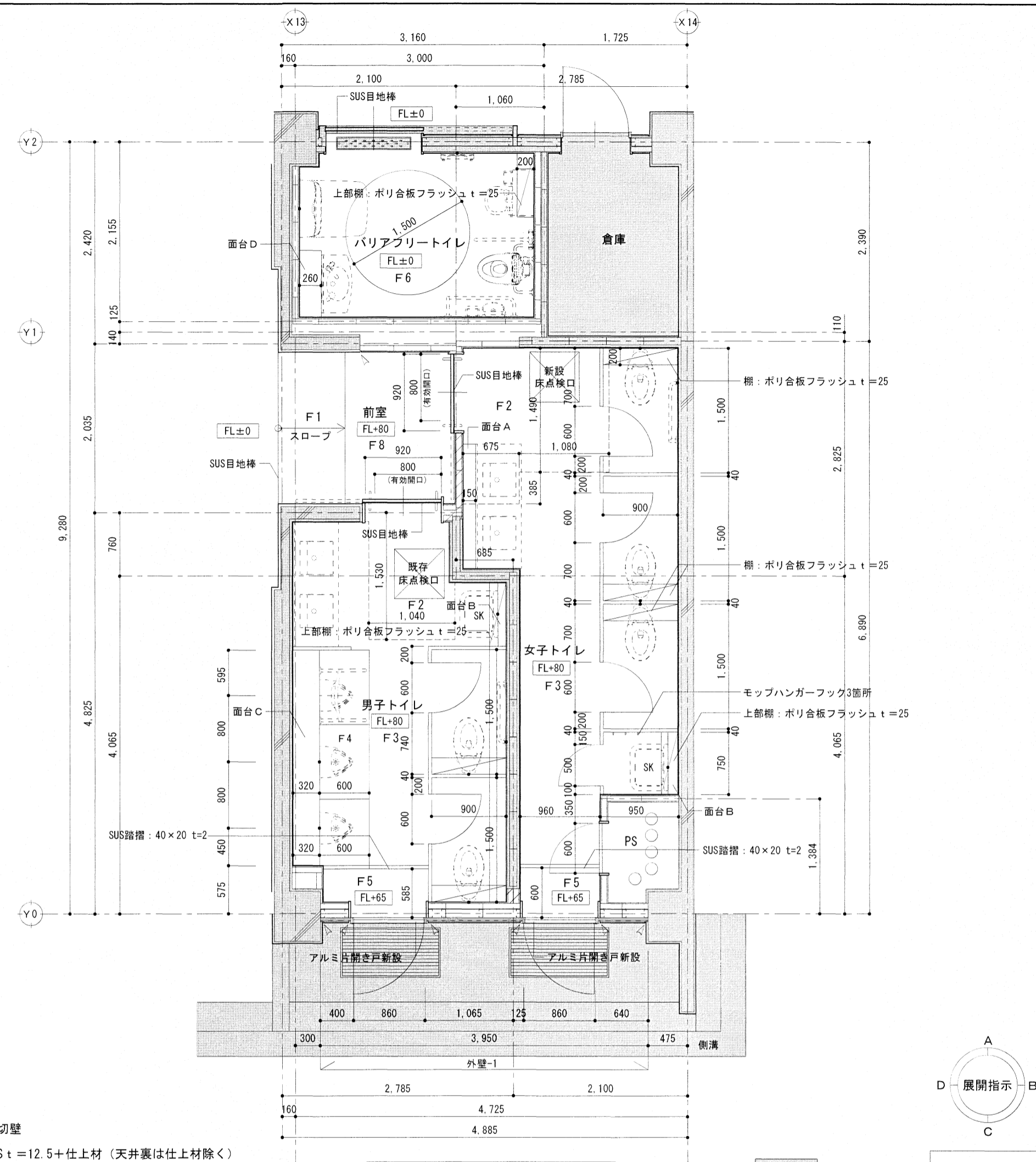
シーリング(MS-2 15×10)を示す

改修後

高知市 都市建設部 公共建築課				工事名	愛宕中学校南舎トイレ改修工事	松本琢史建築設計事務所 TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates	NO A-12
係	係長	課長補佐	課長	図面名	断面詳細図・立面図【改修後】		
用紙サイズによる縮尺補正值 A2: 100% A3: 70.7%				CHECKED BY	DRAWN BY	Matsumoto	一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史



既存 1階平面詳細図 S=1/50



改修後 1階平面詳細図 S=1/50

既存仕上表	
床	
K F 1	モルタル下地 ビニル床シート t=2.0張り【仕上材のみ撤去】
K F 2	モルタル下地 25角モザイクタイル張り【全て撤去】
K F 3	コンクリート土間 t=100+モルタル下地 ビニル床シート t=2.5張り【全て撤去】
K F 4	コンクリート(モルタル含む) t=30~110 ビニル床シート t=2.0張り【全て撤去】
K F 5	軽量コンクリート(モルタル含む) t=220下地 ビニル床シート t=2.0張り【全て撤去】
K F 6	軽量コンクリート t=60下地 25角モザイクタイル(モルタル含む張り)【全て撤去】

* 換気扇、照明器具、衛生陶器類、配管、コンセント、手すり、スイッチ類の撤去は設備工事で行う。
* 解体後、鉄筋露出部分は錆止め塗りをを行う。

既存平面詳細図凡例

- ① 床コンクリート t=150 400×400撤去 4方カッター入れ共 撤去跡開口閉塞
- ② 床コンクリート t=150 400×750撤去 4方カッター入れ共 撤去跡開口閉塞
- ③ 床コンクリート t=150 350×350撤去 4方カッター入れ共 撤去跡開口閉塞
- ④ 床点検口 600×600撤去 撤去跡開口閉塞

面台KA: テラズブロック25×150 L=1.635【撤去】 面台KF: SUS 25×185 L=750+25×120 L=2180【撤去】
 面台KB: テラズブロック25×150 L=4.425【撤去】 面台KG: テラズブロック25×150 L=8.650【撤去】
 面台KC: SUS 25×120 L=610【撤去】 面台KH: テラズブロック25×150 L=2.100【撤去】
 面台KD: SUS 25×120 L=700【撤去】
 面台KE: SUS 25×120 L=2000【撤去】

間仕切壁
LGS下地 面台GB-S t=12.5仕上材(天井裏は仕上材除く)
グラスウール24kg/m³ t=50充填の上 スラブ下まで運せしめる

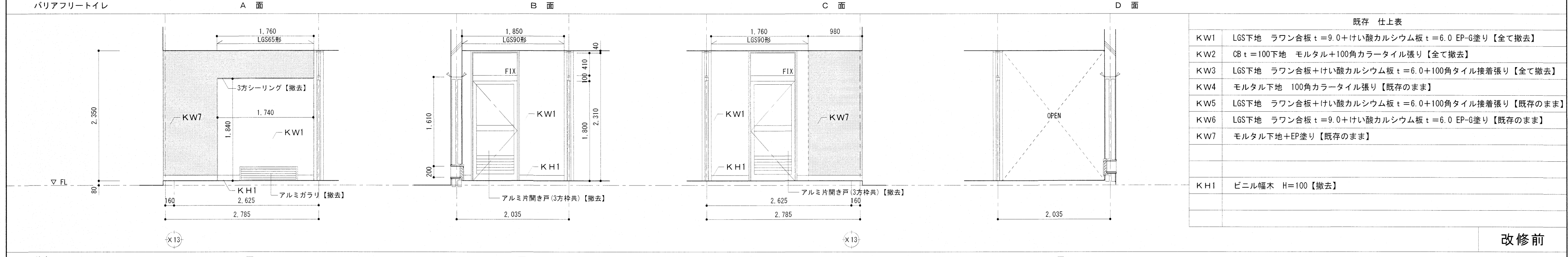
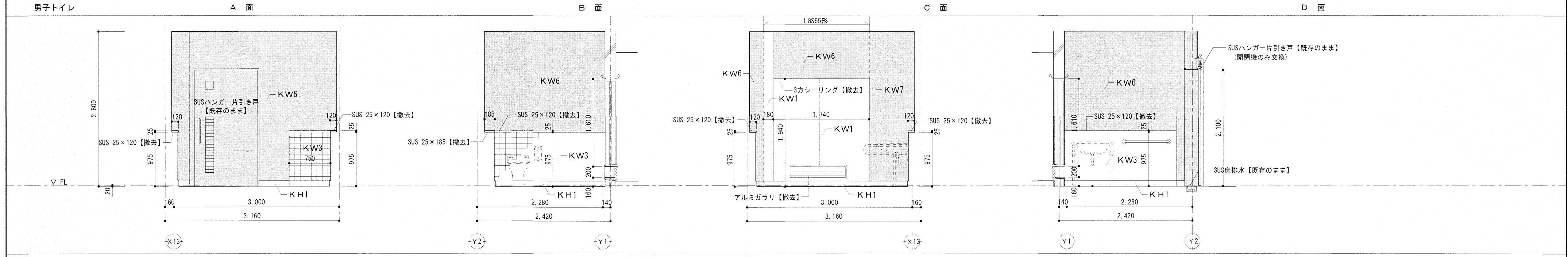
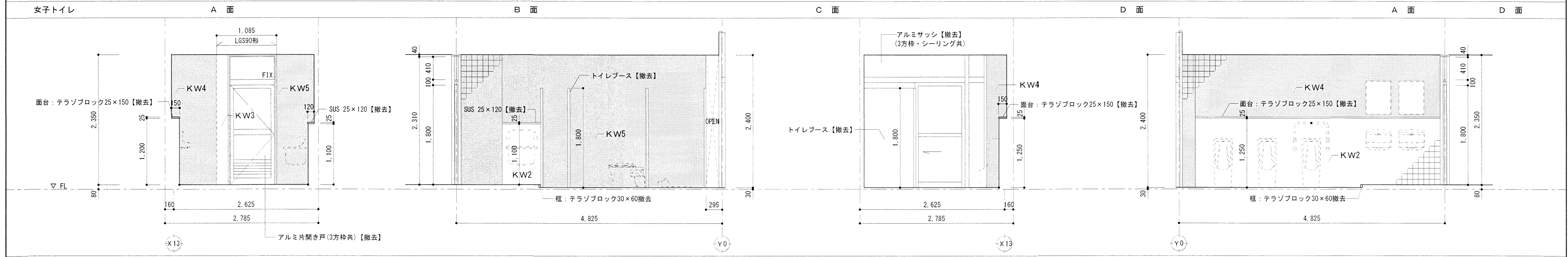
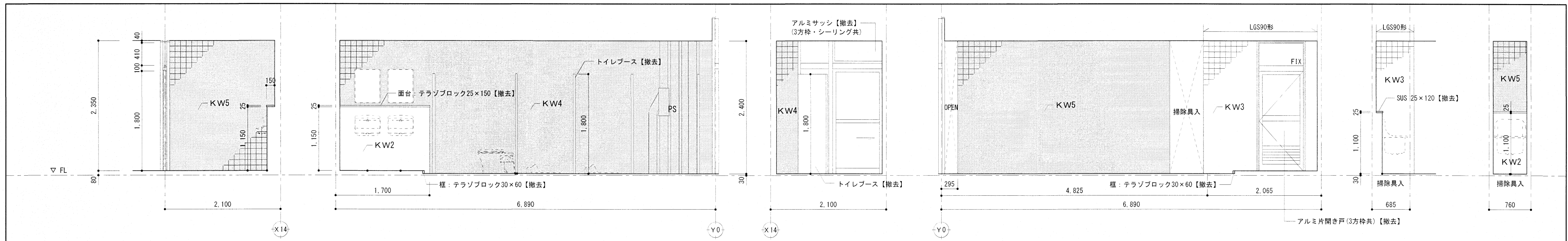
改修後仕上表	
外壁	
外壁-1	スチールタテ筋線: C-100×50×20×2.3 @455 グラスウール断熱材 t=50 24kg/m ³ 強化石こうボード(防水防カビタイプ) t=15+15+透湿防水シート+窯業系サイディング t=16横張り(通気金具工法) (1時間耐火認定工法)
床	
F 1	モルタル塗り t=30下地 防滑性ビニル床シート張り t=2.0
F 2	既存モルタル下地 ポリマーセメントペースト塗りの上 乾式トイレ用ビニル床シート張り t=2.0
F 3	乾式二重床 構造用合板 t=12下地 乾式トイレ用ビニル床シート張り t=2.0
F 4	乾式二重床 構造用合板 t=12下地 汚垂石タイル張り(3方テーパー加工)
F 5	モルタル塗り t=30下地 100角タイル張り
F 6	モルタル塗り t=30下地 乾式トイレ用ビニル床シート張り t=2.0
F 7	既存モルタル下地 ポリマーセメントペースト塗りの上 汚垂石タイル張り(3方テーパー加工)
F 8	既存モルタル下地 ポリマーセメントペースト塗りの上 防滑性ビニル床シート張り t=2.0
F 9	ビニル床シート張り t=2.0

アルミ床点検口600×600新設

改修後平面詳細図凡例

面台A: ポストフォーム t=20 D150×L1500新設
 面台B: ポストフォーム t=20 D120×L750新設
 面台C: ポストフォーム t=20 D320×L2600新設
 面台D: ポストフォーム t=20 D260×L800新設
 面台E: ポストフォーム t=20 D120×L950+480新設
 面台F: ポストフォーム t=20 D300×L900新設
 面台G: ポストフォーム t=20 D300×L5100新設
 面台H: ポストフォーム t=20 D120×L975新設

* 特記なき新設LGS下地は65形
 ↳ シーリング(MS-2 15×10)を示す
 ※ 乾式二重床は、セルフレベリング t=10を行うこと

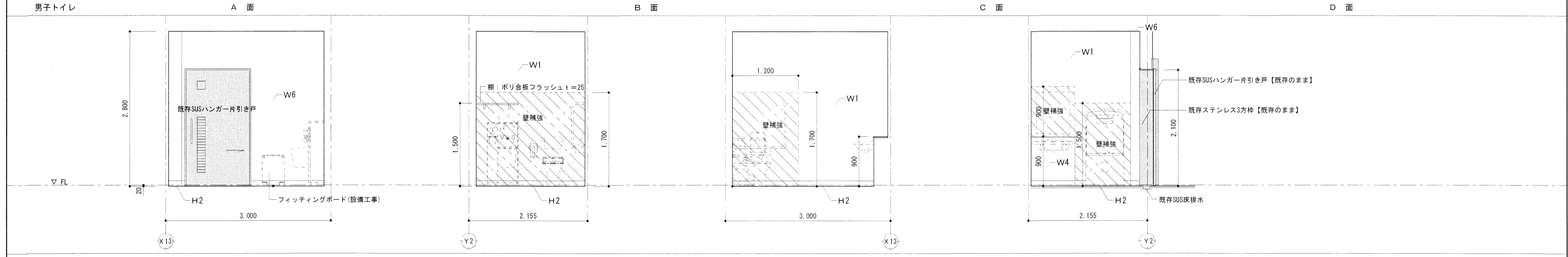
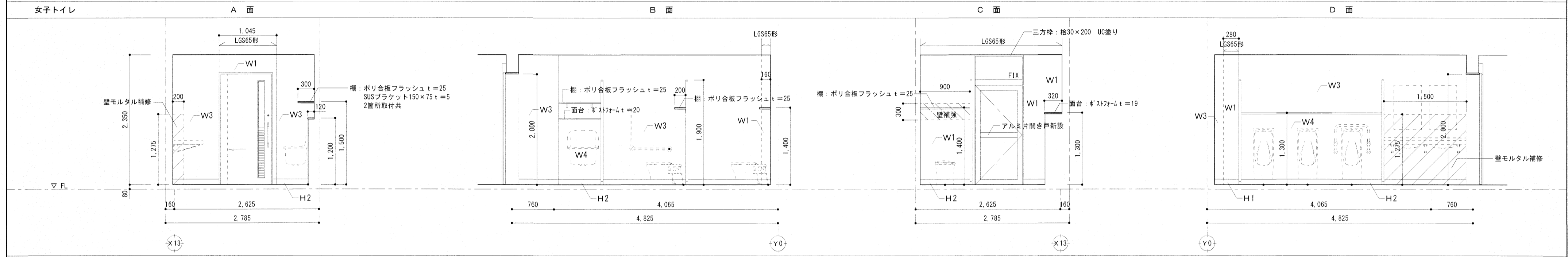
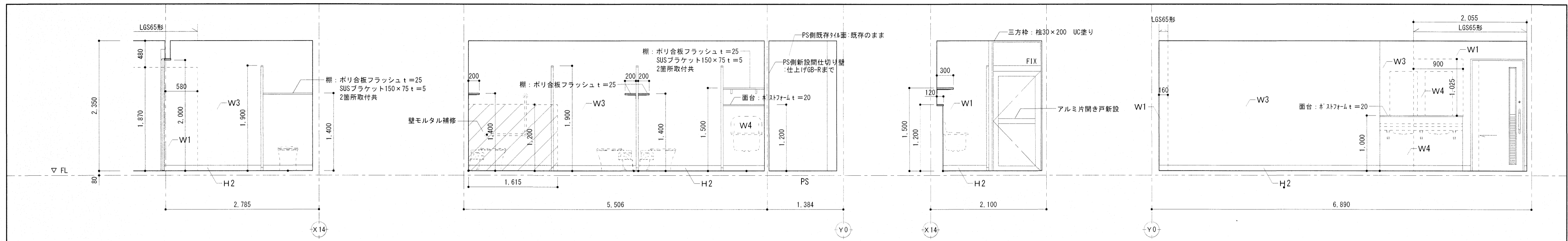


既存 仕上表	
KW1	LGS下地 ラワン合板 t=9.0+けい酸カルシウム板 t=6.0 EP-G塗り【全て撤去】
KW2	CB t=100下地 モルタル+100角カラータイル張り【全て撤去】
KW3	LGS下地 ラワン合板+けい酸カルシウム板 t=6.0+100角タイル接着張り【全て撤去】
KW4	モルタル下地 100角カラータイル張り【既存のまま】
KW5	LGS下地 ラワン合板+けい酸カルシウム板 t=6.0+100角タイル接着張り【既存のまま】
KW6	LGS下地 ラワン合板 t=9.0+けい酸カルシウム板 t=6.0 EP-G塗り【既存のまま】
KW7	モルタル下地+EP塗り【既存のまま】
KH1	ビニル幅木 H=100【撤去】

高知市 都市建設部 公共建築課	工事名 愛宕中学校南舎トイレ改修工事	松本琢史建築設計事務所 TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates	NO A-14
係 係長 課長補佐 課長	図面名 1階展開図【改修前】		
信清 大下 豊田 松本	CHECKED BY	DRAWN BY Matsumoto	一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史

用紙サイズによる縮尺補正値 A2:100% A3:70.7%

改修前



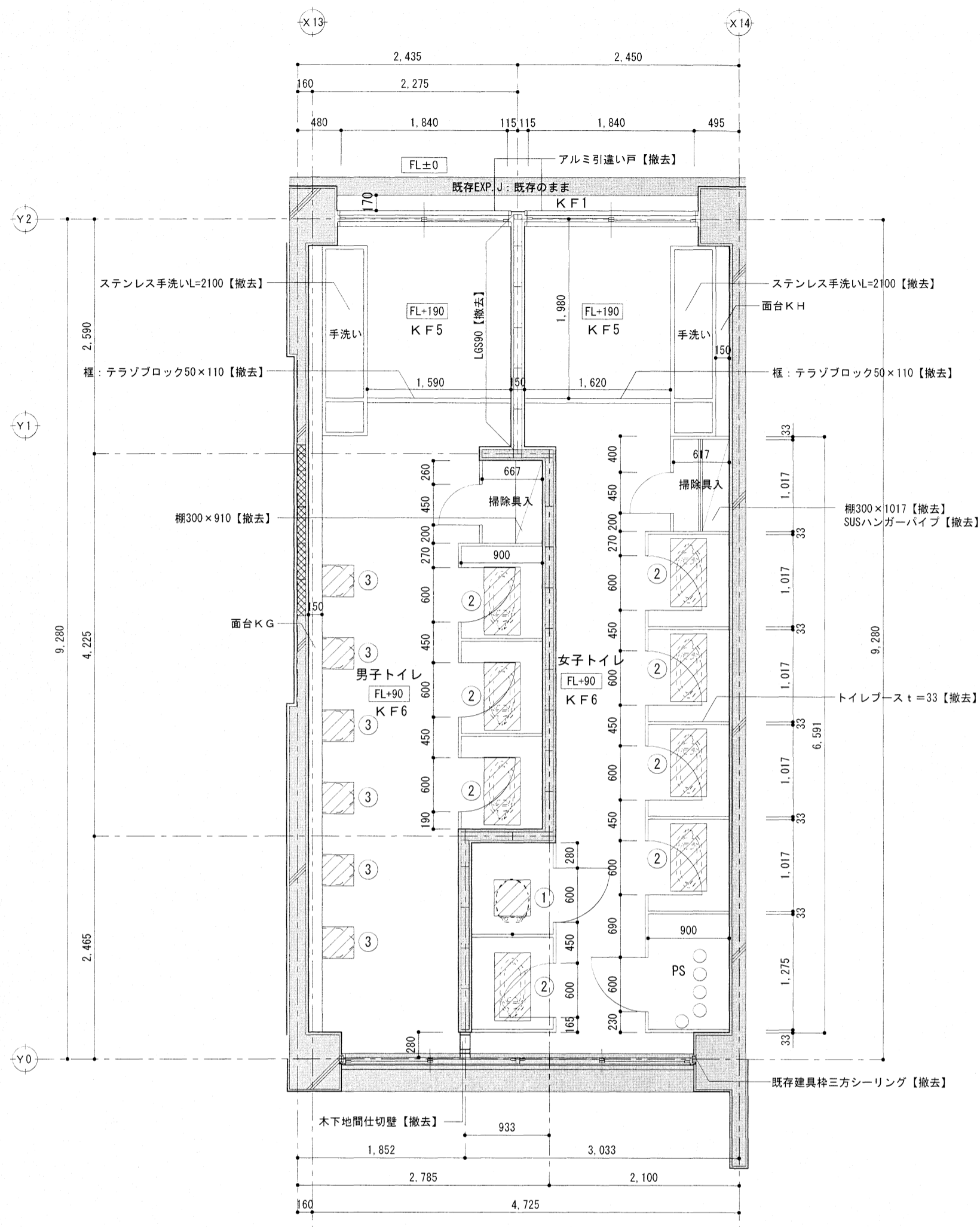
改修後 仕上表	
W1	新設LGS下地 GB-S t=12.5+化粧けい酸カルシウム板張り t=6.0
W2	下地調整の上 EP塗り
W3	ポリマーセメントペースト塗りの上 化粧けい酸カルシウム板張り t=6.0
W4	新設LGS下地 耐水合板 t=12.0(構造用合板)+化粧けい酸カルシウム板張り t=6.0
W5	新設LGS下地 GB-R t=12.5+EP塗り
W6	下地調整の上 EP-G塗り
H1	ビニル幅木 H=100
H2	床材巻上げ H=100
壁モルタル補修範囲 壁補強：耐水合板 t=12.0(構造用合板)	

前室 A面 B面 C面 D面

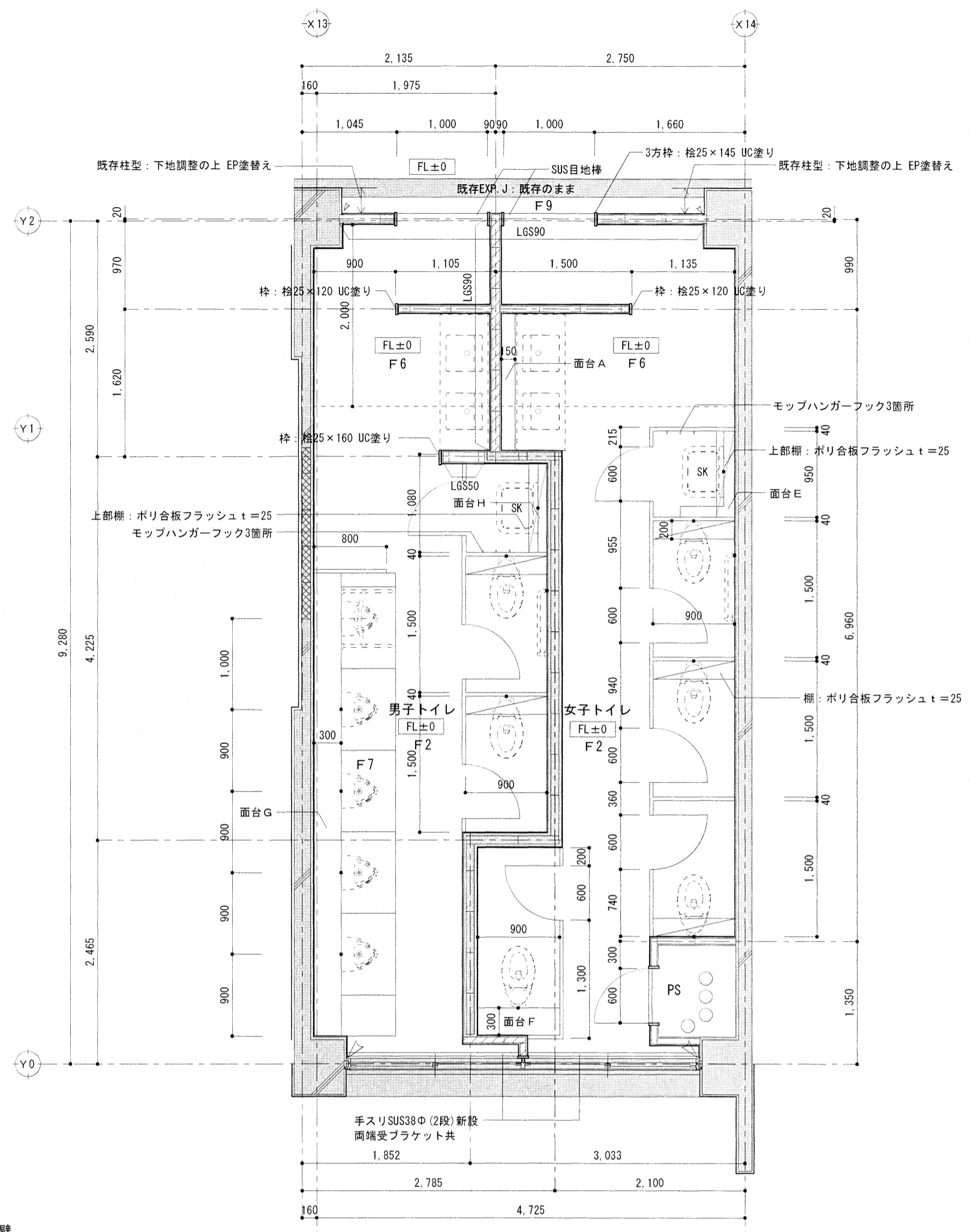
高知市 都市建設部 公共建築課				工事名	愛宕中学校南舎トイレ改修工事		NO A-15
係	係長	課長補佐	課長	図面名	1階展開図【改修後】		
				CHECKED BY	DRAWN BY	Matsumoto	一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史

用紙サイズによる縮尺補正值 A2:100% A3:70.7%

改修後



既存 2階平面詳細図 S=1/50



改修後 2階平面詳細図 S=1/50

既存仕上表	
床	
K F 1	モルタル下地 ビニル床シート t=2.0張り【仕上材のみ撤去】
K F 2	モルタル下地 25角モザイクタイル張り【全て撤去】
K F 3	コンクリート土間 t=100+モルタル下地 ビニル床シート t=2.5張り【全て撤去】
K F 4	コンクリート(モルタル含む) t=30~110 ビニル床シート t=2.0張り【全て撤去】
K F 5	軽量コンクリート(モルタル含む) t=220下地 ビニル床シート t=2.0張り【全て撤去】
K F 6	軽量コンクリート t=60下地 25角モザイクタイル(モルタル含む張り)【全て撤去】

* 換気扇、照明器具、衛生陶器類、配管、コンセント、手すり、スイッチ類の撤去は設備工事で行う。
* 解体後、鉄筋露出部分は錆止め塗りをを行う。

既存平面詳細図凡例

- 床コンクリート t=150 400x400撤去 4方カッター入れ共 撤去跡開口閉塞
- 床コンクリート t=150 400x750撤去 4方カッター入れ共 撤去跡開口閉塞
- 床コンクリート t=150 350x350撤去 4方カッター入れ共 撤去跡開口閉塞
- 床点検口 600x600撤去 撤去跡開口閉塞

面台K A : テラゾブロック25x150 L=1,635【撤去】
面台K B : テラゾブロック25x150 L=4,425【撤去】
面台K C : SUS 25x120 L=610【撤去】
面台K D : SUS 25x120 L=700【撤去】
面台K E : SUS 25x120 L=2000【撤去】

面台K F : SUS 25x185 L=750+25x120 L=2180【撤去】
面台K G : テラゾブロック25x150 L=8,650【撤去】
面台K H : テラゾブロック25x150 L=2,100【撤去】

間仕切壁
LGS下地 両面GB-S t=12.5+仕上材(天井裏は仕上材除く)
グラスウール24kg/m3 t=50充填の上 スラブ下まで達せしめる

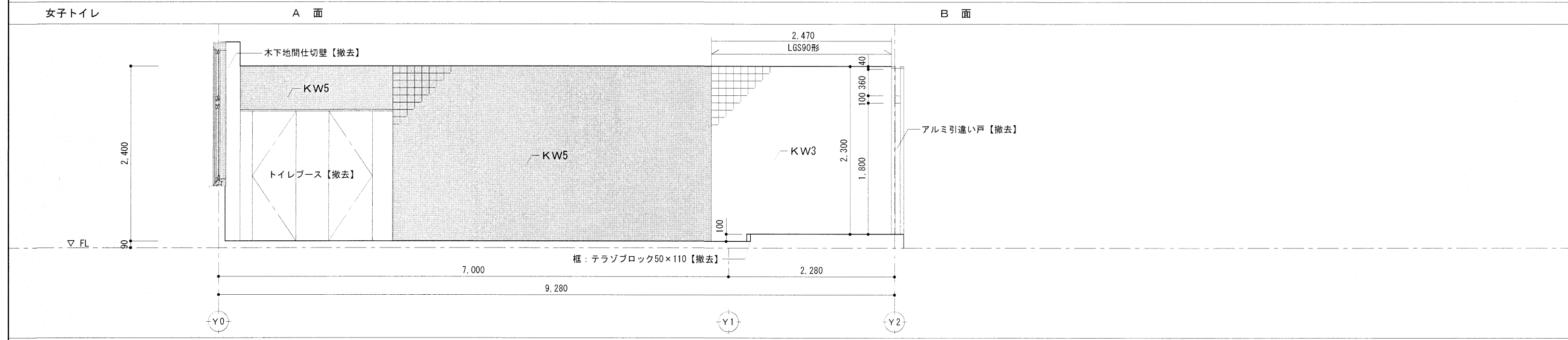
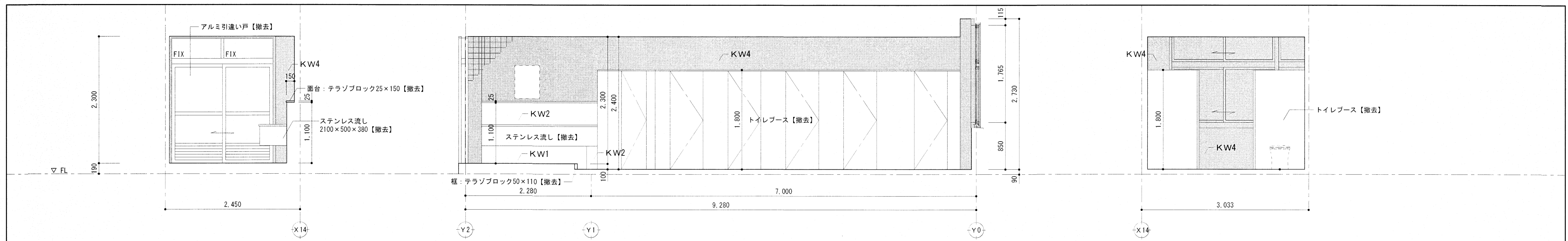
改修後仕上表	
外壁	
外壁-1	スチールタテ鋼線: C-100x50x20x2.3 @455 グラスウール断熱材 t=50 24kg/m3 強化石こうボード(防水防カビタイプ) t=15+15+透湿防水シート+窯業系サイディング t=16横張り(通気金具工法) (1時間耐火認定工法)
床	
F 1	モルタル塗り t=30下地 防滑性ビニル床シート張り t=2.0
F 2	既存モルタル下地 ポリマーセメントペースト塗りの上 乾式トイレ用ビニル床シート張り t=2.0
F 3	乾式二重床 構造用合板 t=12下地 乾式トイレ用ビニル床シート張り t=2.0
F 4	乾式二重床 構造用合板 t=12下地 汚垂石タイル張り(3方テーパー加工)
F 5	モルタル塗り t=30下地 100角タイル張り
F 6	モルタル塗り t=30下地 乾式トイレ用ビニル床シート張り t=2.0
F 7	既存モルタル下地 ポリマーセメントペースト塗りの上 汚垂石タイル張り(3方テーパー加工)
F 8	既存モルタル下地 ポリマーセメントペースト塗りの上 防滑性ビニル床シート張り t=2.0
F 9	ビニル床シート張り t=2.0

アルミ床点検口600x600新設

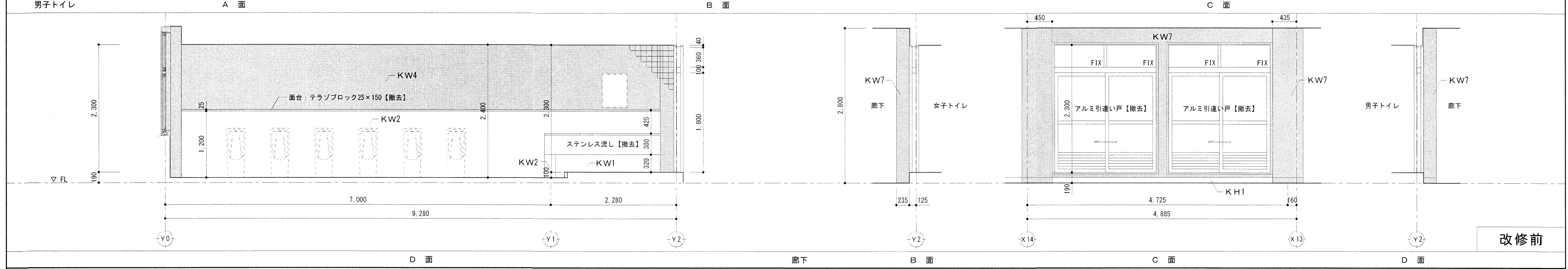
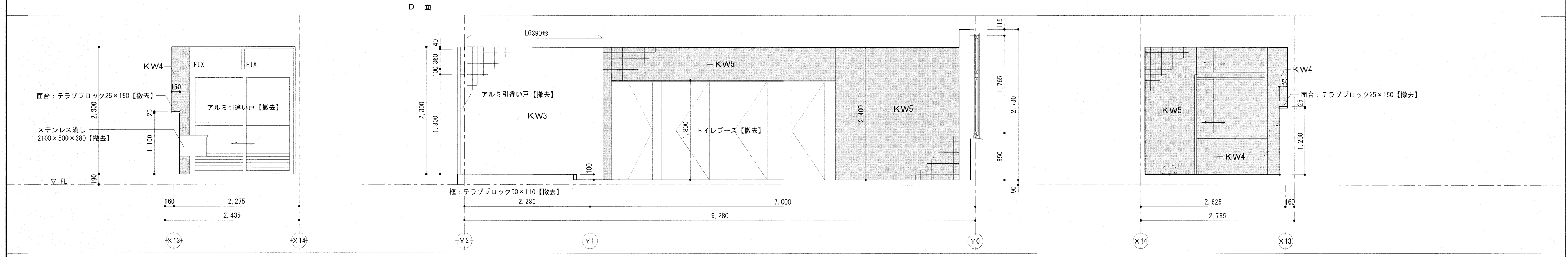
改修後平面詳細図凡例

面台A : ポストフォーム t=20 D150xL1500新設
面台B : ポストフォーム t=20 D120xL750新設
面台C : ポストフォーム t=20 D300xL2600新設
面台D : ポストフォーム t=20 D260xL800新設
面台E : ポストフォーム t=20 D120xL950+480新設
面台F : ポストフォーム t=20 D300xL900新設
面台G : ポストフォーム t=20 D300xL5100新設
面台H : ポストフォーム t=20 D120xL975新設

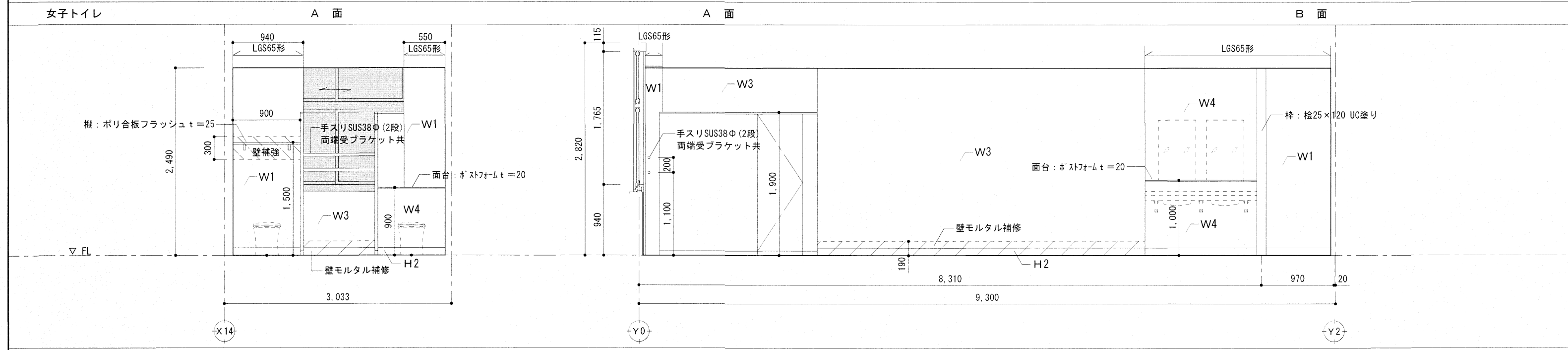
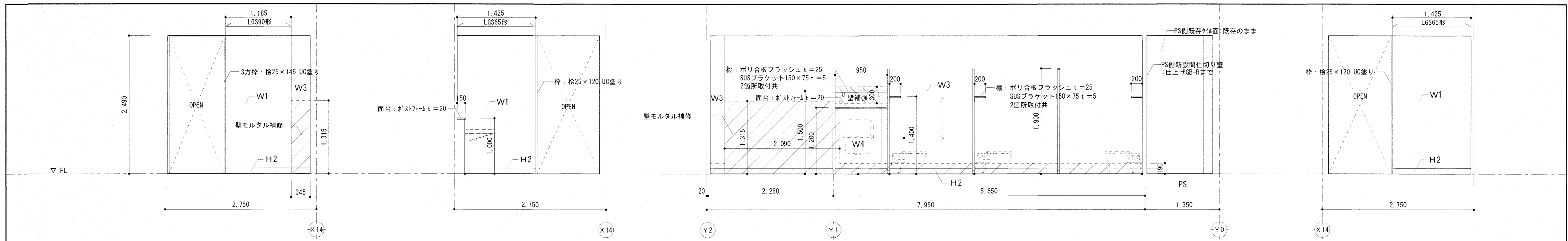
* 特記なき新設LGS下地は65形
シリング(MS-2 15x10)を示す
※ 乾式二重床は、セルフレベリング t=10を行うこと



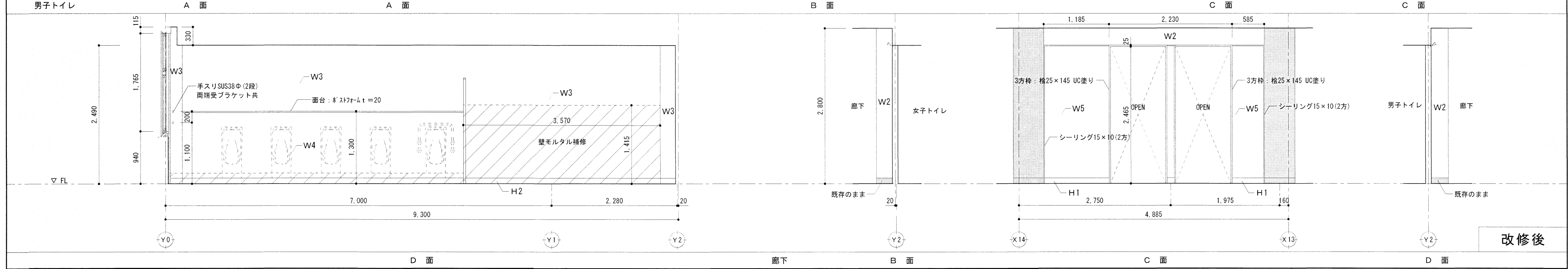
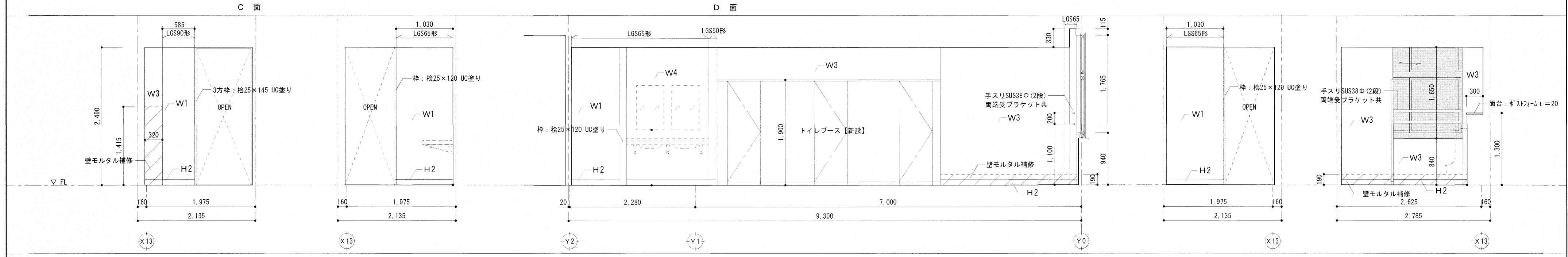
既存 仕上表	
KW1	LGS下地 ラワン合板 t=9.0+けい酸カルシウム板 t=6.0 EP-G塗り【全て撤去】
KW2	CB t=100下地 モルタル+100角カラータイル張り【全て撤去】
KW3	LGS下地 ラワン合板+けい酸カルシウム板 t=6.0+100角タイル接着張り【全て撤去】
KW4	モルタル下地 100角カラータイル張り【既存のまま】
KW5	LGS下地 ラワン合板+けい酸カルシウム板 t=6.0+100角タイル接着張り【既存のまま】
KW6	LGS下地 ラワン合板 t=9.0+けい酸カルシウム板 t=6.0 EP-G塗り【既存のまま】
KW7	モルタル下地+EP塗り【既存のまま】
KH1	ビニル幅木 H=100【撤去】



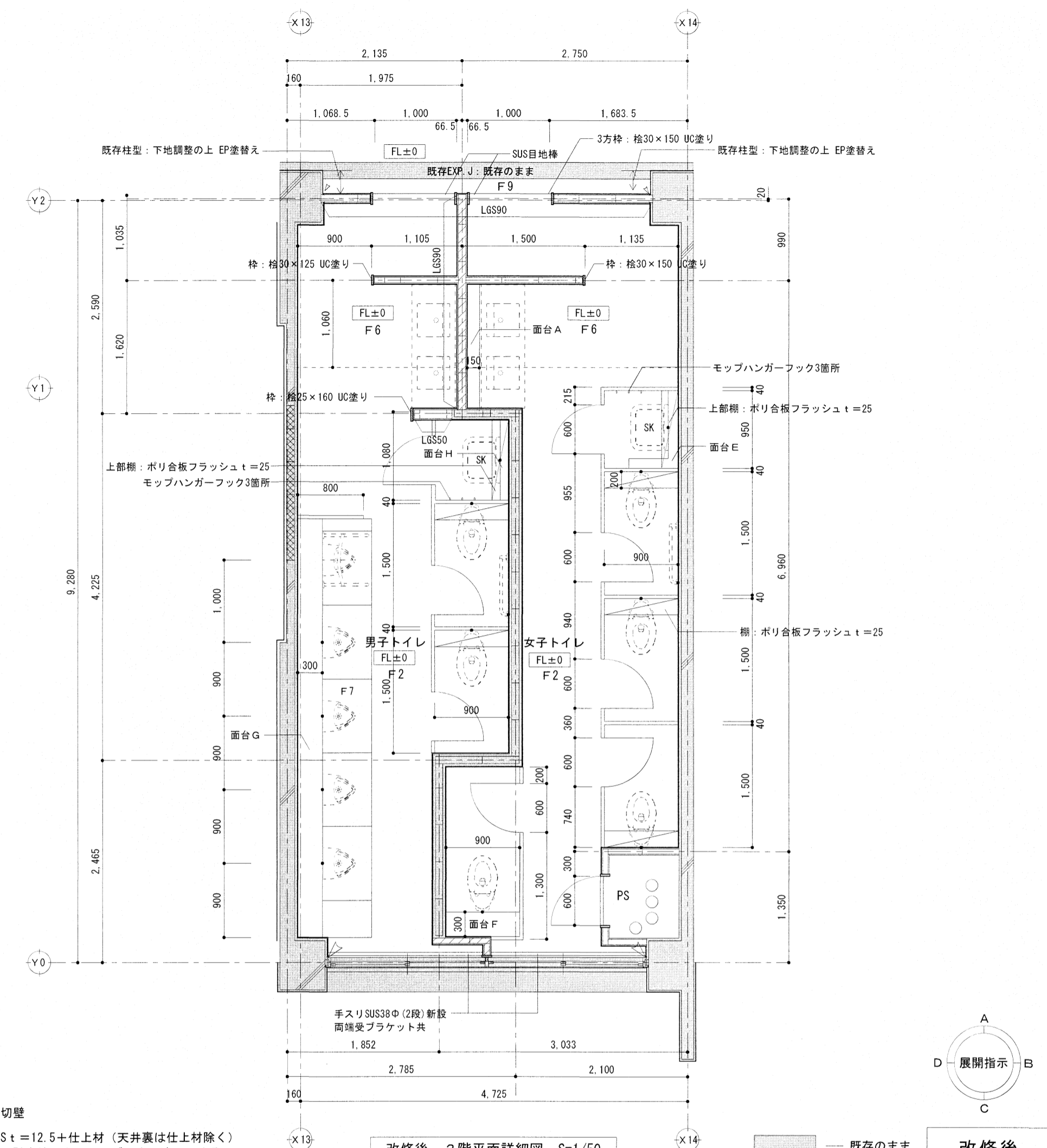
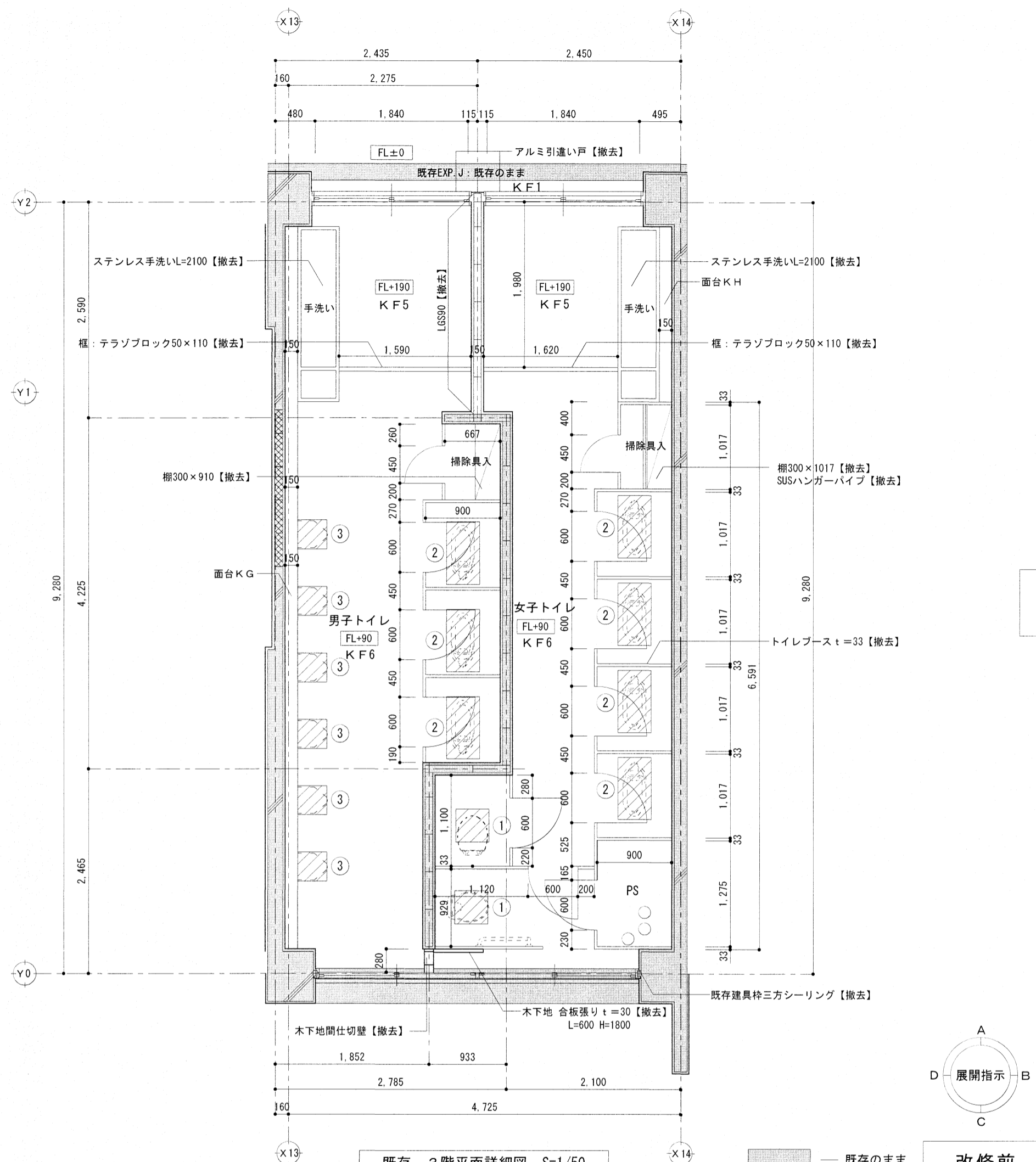
改修前



改修後 仕上表	
W1	新設LGS下地 GB-S t=12.5+化粧けい酸カルシウム板張り t=6.0
W2	下地調整の上 EP塗り
W3	ポリマーセメントペースト塗りの上 化粧けい酸カルシウム板張り t=6.0
W4	新設LGS下地 耐水合板 t=12.0(構造用合板)+化粧けい酸カルシウム板張り t=6.0
W5	新設LGS下地 GB-R t=12.5+EP塗り
W6	下地調整の上 EP-G塗り
H1	ビニル幅木 H=100
H2	床材巻上げ H=100
壁モルタル補修範囲 壁補強: 耐水合板(構造用合板) t=12.0	



高知市 都市建設部 公共建築課				工事名	愛宕中学校南舎トイレ改修工事		松本塚史建築設計事務所 TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates 一級建築士大臣登録第322947号 松本塚史	NO A-18
係	係長	課長補佐	課長	図面名	2階展開図【改修後】			
用紙サイズによる縮尺補正值 A2: 100% A3: 70.7%				CHECKED BY	DRAWN BY	Matsumoto		



既存仕上表

床	
K F 1	モルタル下地 ビニル床シート t=2.0張り【仕上材のみ撤去】
K F 2	モルタル下地 25角モザイクタイル張り【全て撤去】
K F 3	コンクリート土間 t=100+モルタル下地 ビニル床シート t=2.5張り【全て撤去】
K F 4	コンクリート(モルタル含む) t=30~110 ビニル床シート t=2.0張り【全て撤去】
K F 5	軽量コンクリート(モルタル含む) t=220下地 ビニル床シート t=2.0張り【全て撤去】
K F 6	軽量コンクリート t=60下地 25角モザイクタイル(モルタル含む張り)【全て撤去】

* 換気扇、照明器具、衛生陶器類、配管、コンセント、手すり、スイッチ類の撤去は設備工事で行う。
* 解体後、鉄筋露出部分は錆止め塗りをを行う。

既存平面詳細図凡例

- 床コンクリート t=150 400×400撤去 4方カッター入れ共 撤去跡開口閉塞
- 床コンクリート t=150 400×750撤去 4方カッター入れ共 撤去跡開口閉塞
- 床コンクリート t=150 350×350撤去 4方カッター入れ共 撤去跡開口閉塞
- 床点検口 600×600撤去 撤去跡開口閉塞

面台 K A : テラズブロック 25×150 L=1,635【撤去】
面台 K B : テラズブロック 25×150 L=4,425【撤去】
面台 K C : SUS 25×120 L=610【撤去】
面台 K D : SUS 25×120 L=700【撤去】
面台 K E : SUS 25×120 L=2000【撤去】

面台 K F : SUS 25×185 L=750+25×120 L=2180【撤去】
面台 K G : テラズブロック 25×150 L=8,650【撤去】
面台 K H : テラズブロック 25×150 L=2,100【撤去】

改修後仕上表

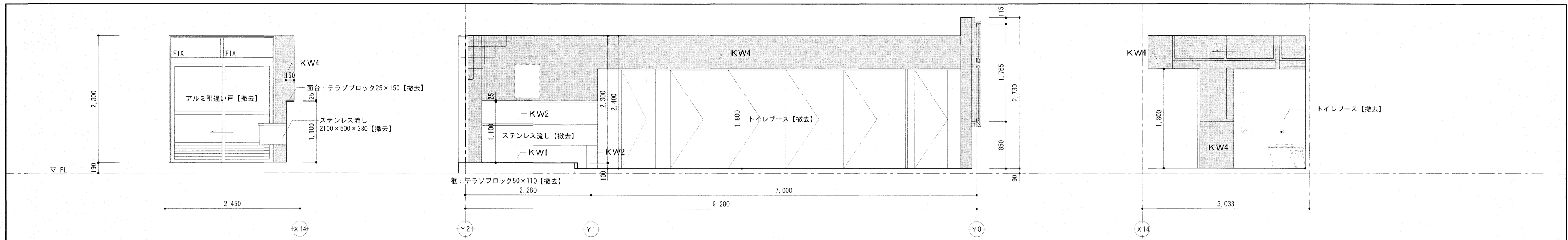
外壁	
外壁-1	スチールタテ鋼線: C-100×50×20×2.3 @455 グラスウール断熱材 t=50 24kg/m3 強化石こうボード(防水防カビタイプ) t=15+15+透湿防水シート+窯業系サイディング t=16横張り(通気金具工法) (1時間耐火認定工法)
床	
F 1	モルタル塗り t=30下地 防滑性ビニル床シート張り t=2.0
F 2	既存モルタル下地 ポリマーセメントペースト塗りの上 乾式トイレ用ビニル床シート張り t=2.0
F 3	乾式二重床 構造用合板 t=12下地 乾式トイレ用ビニル床シート張り t=2.0
F 4	乾式二重床 構造用合板 t=12下地 汚垂石タイル張り(3方テーパ加工)
F 5	モルタル塗り t=30下地 100角タイル張り
F 6	モルタル塗り t=30下地 乾式トイレ用ビニル床シート張り t=2.0
F 7	既存モルタル下地 ポリマーセメントペースト塗りの上 汚垂石タイル張り(3方テーパ加工)
F 8	既存モルタル下地 ポリマーセメントペースト塗りの上 防滑性ビニル床シート張り t=2.0
F 9	ビニル床シート張り t=2.0

アルミ床点検口 600×600新設

改修後平面詳細図凡例

面台 A : ポストフォーム t=20 D150×L1500新設
面台 B : ポストフォーム t=20 D120×L750新設
面台 C : ポストフォーム t=20 D320×L2600新設
面台 D : ポストフォーム t=20 D260×L800新設
面台 E : ポストフォーム t=20 D120×L950+480新設
面台 F : ポストフォーム t=20 D300×L900新設
面台 G : ポストフォーム t=20 D300×L5100新設
面台 H : ポストフォーム t=20 D120×L975新設

* 特記なき新設LGS下地は65形
△ シーリング(MS-2 15×10)を示す
※ 乾式二重床は、セルフレベリング t=10を行うこと

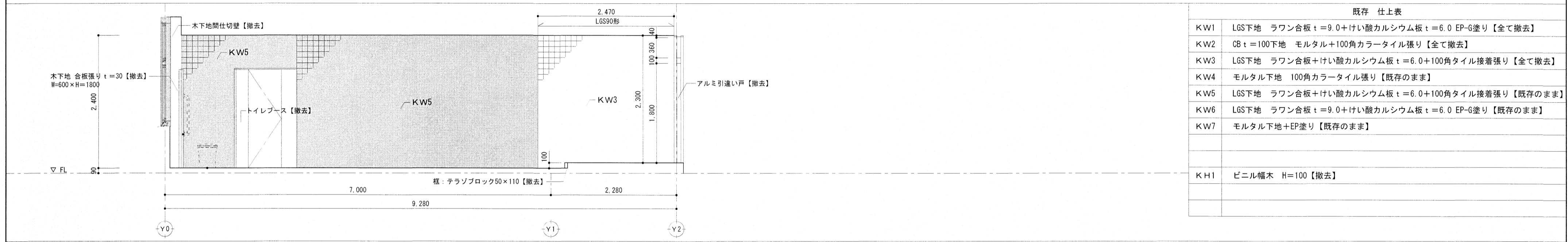


女子トイレ

A 面

B 面

C 面

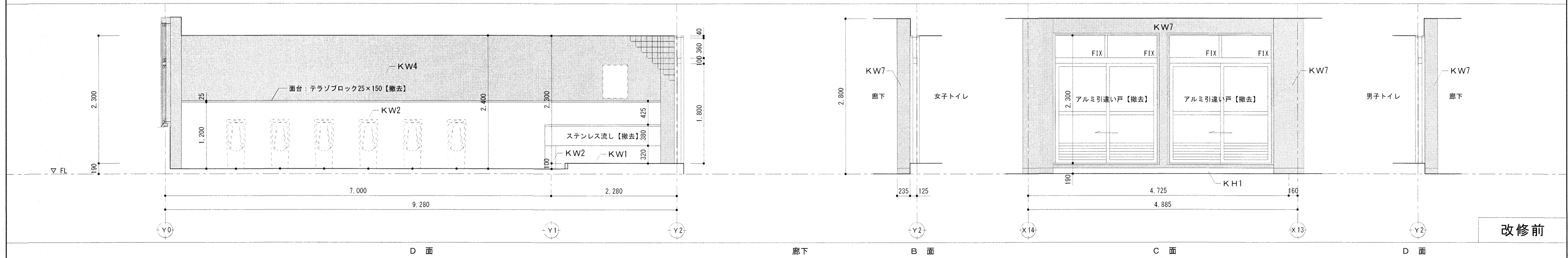


D 面

A 面

B 面

C 面



男子トイレ

A 面

B 面

C 面

D 面

廊下

B 面

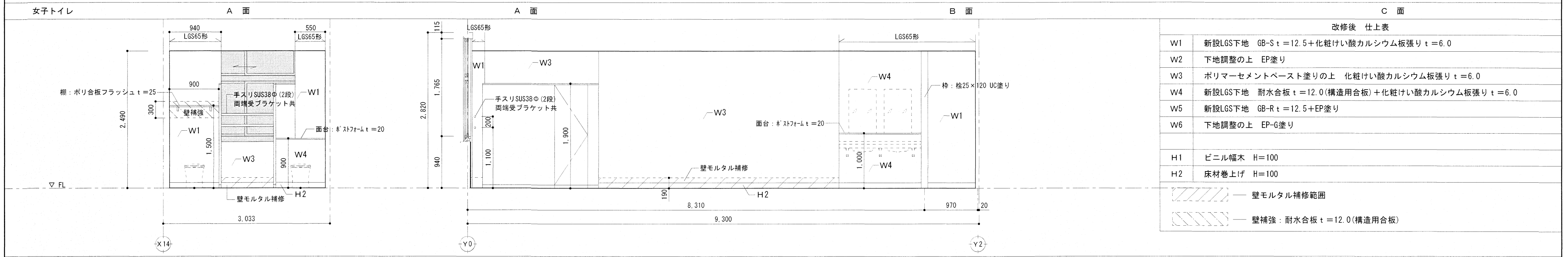
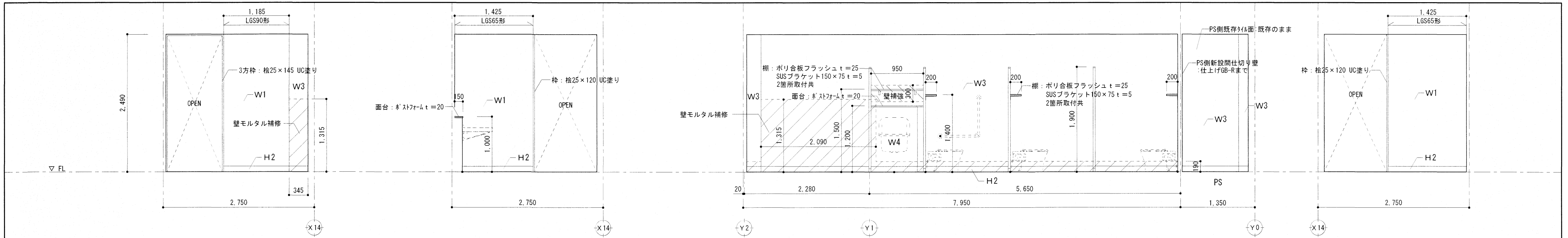
C 面

D 面

改修前

高知市 都市建設部 公共建築課				工事名	愛宕中学校南舎トイレ改修工事		松本琢史建築設計事務所 TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates 一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史	NO	A-20
係	係長	課長補佐	課長	図面名	3階展開図【改修前】			SCALE	1/50
				CHECKED BY		DRAWN BY	Matsumoto		

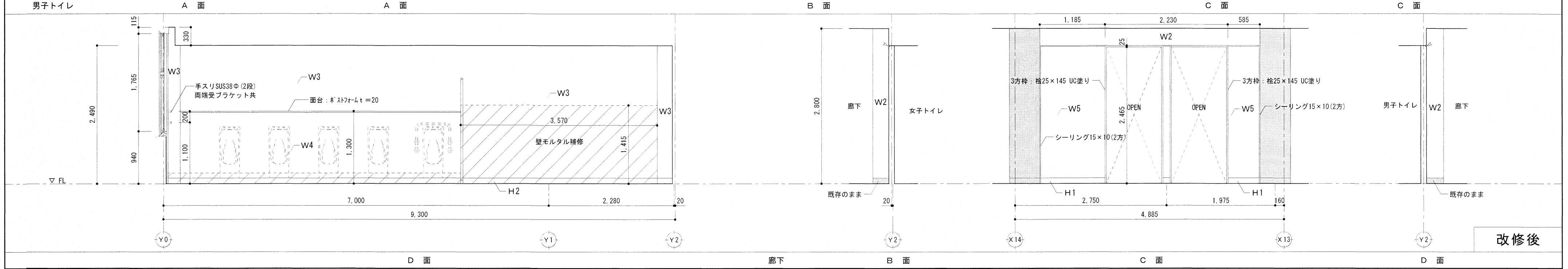
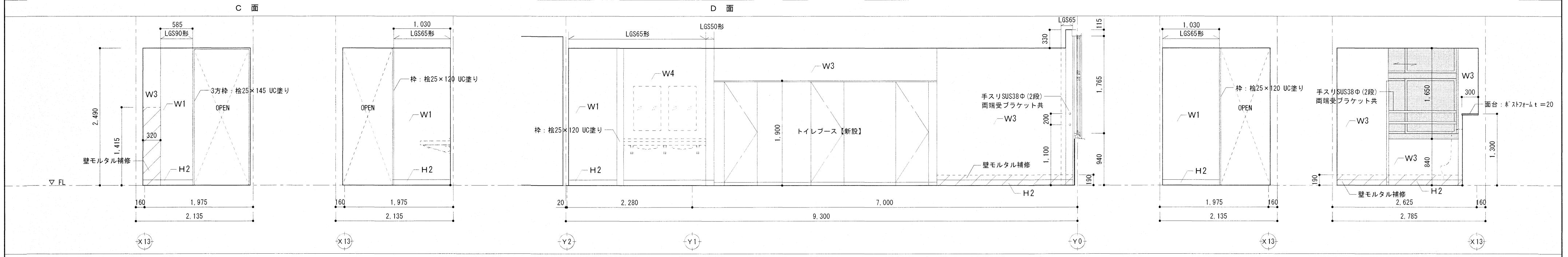
用紙サイズによる縮尺補正値 A2: 100% A3: 70.7%



改修後 仕上表

W1	新設LGS下地 GB-S t=12.5+化粧けい酸カルシウム板張り t=6.0
W2	下地調整の上 EP塗り
W3	ポリマーセメントペースト塗りの上 化粧けい酸カルシウム板張り t=6.0
W4	新設LGS下地 耐水合板 t=12.0(構造用合板)+化粧けい酸カルシウム板張り t=6.0
W5	新設LGS下地 GB-R t=12.5+EP塗り
W6	下地調整の上 EP-G塗り
H1	ビニル幅木 H=100
H2	床材巻上げ H=100

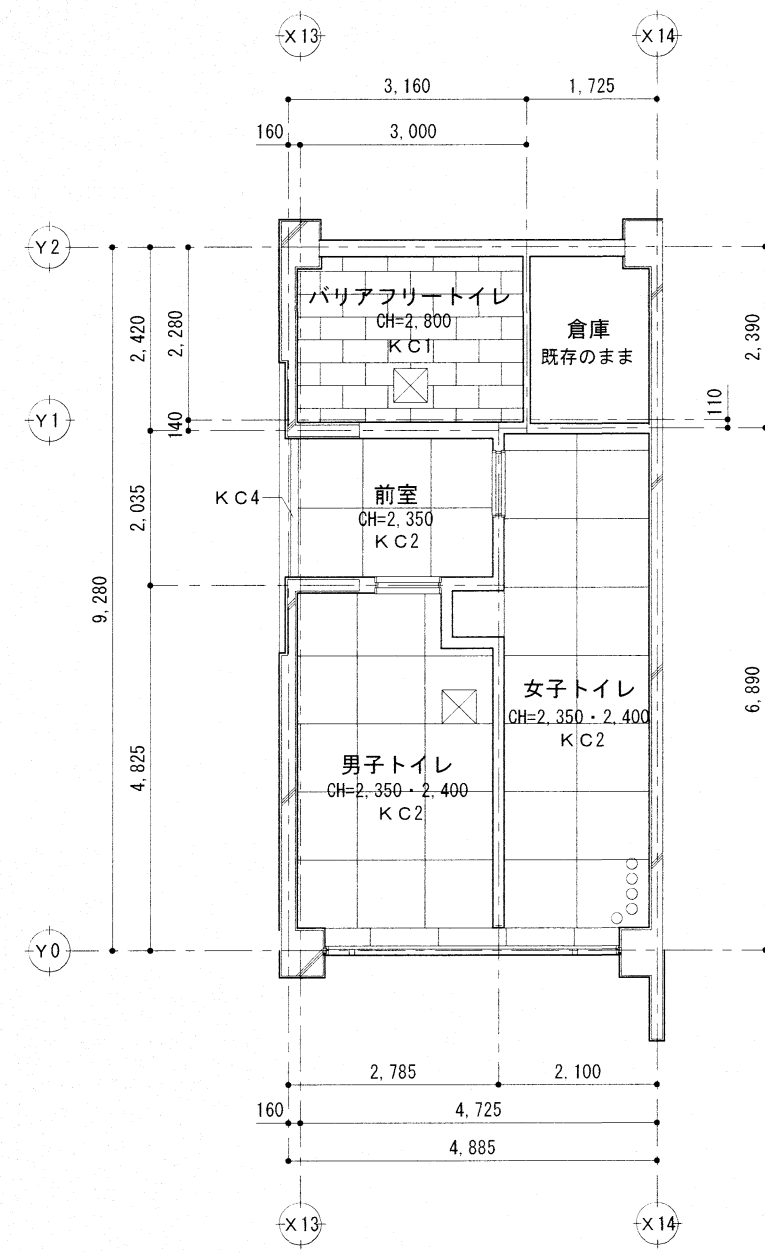
壁モルタル補修範囲
 壁補強: 耐水合板 t=12.0(構造用合板)



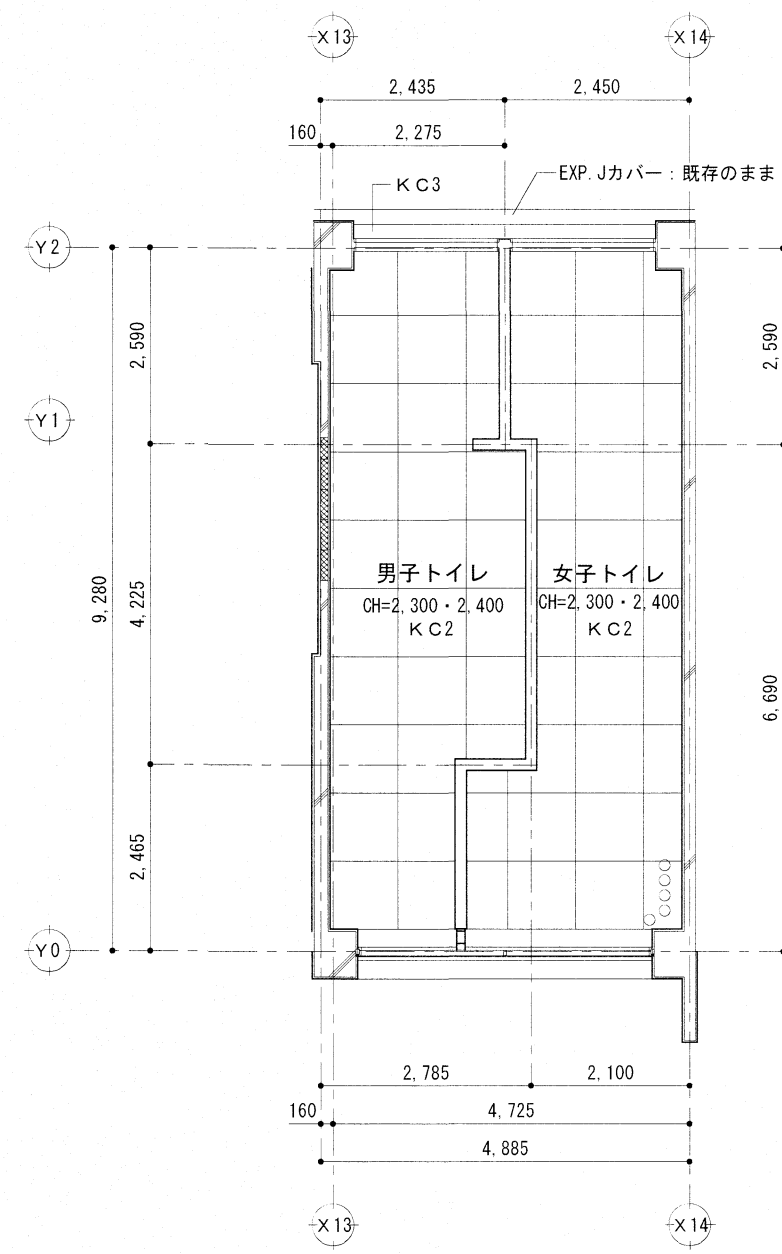
高知市 都市建設部 公共建築課				工事名	愛宕中学校南舎トイレ改修工事		No A-21
係	係長	課長補佐	課長	図面名	3階展開図【改修後】		
				CHECKED BY	DRAWN BY	Matsumoto	一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史

用紙サイズによる縮尺補正値 A2: 100% A3: 70.7%

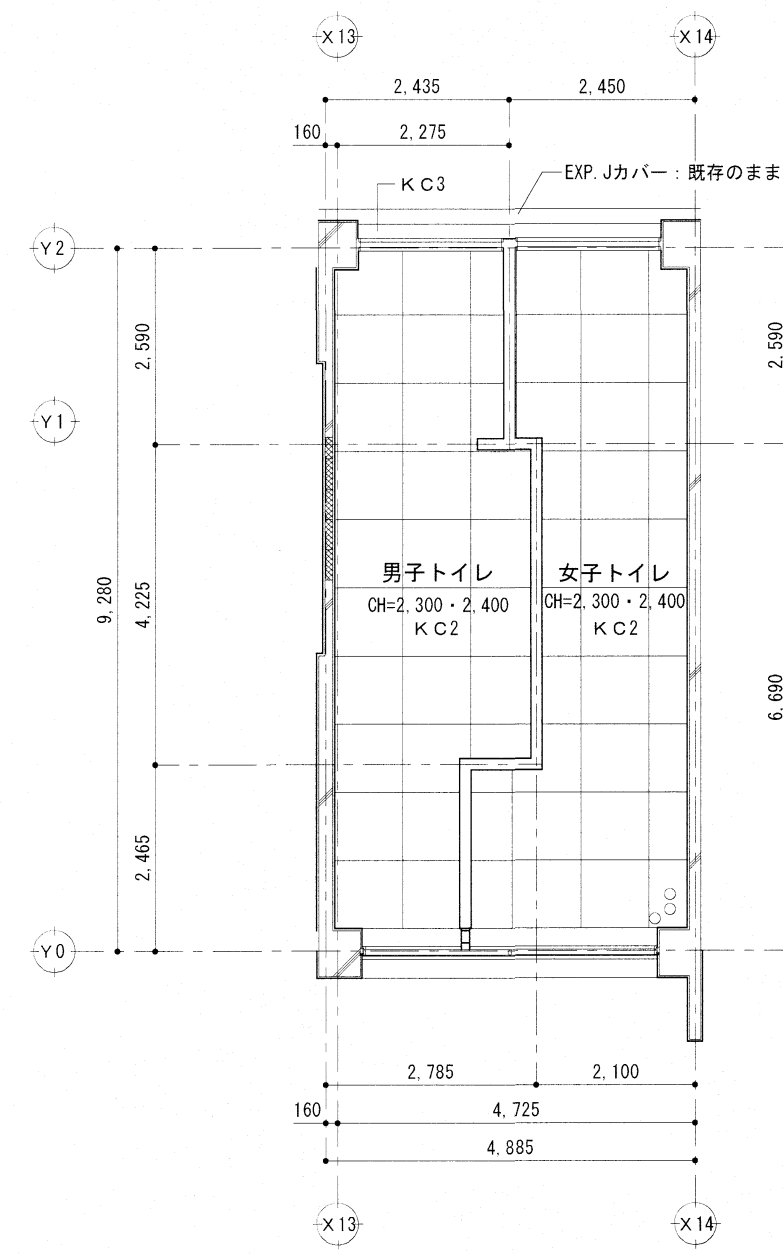
改修後



既存 1階天井伏図 S=1/100



既存 2階天井伏図 S=1/100

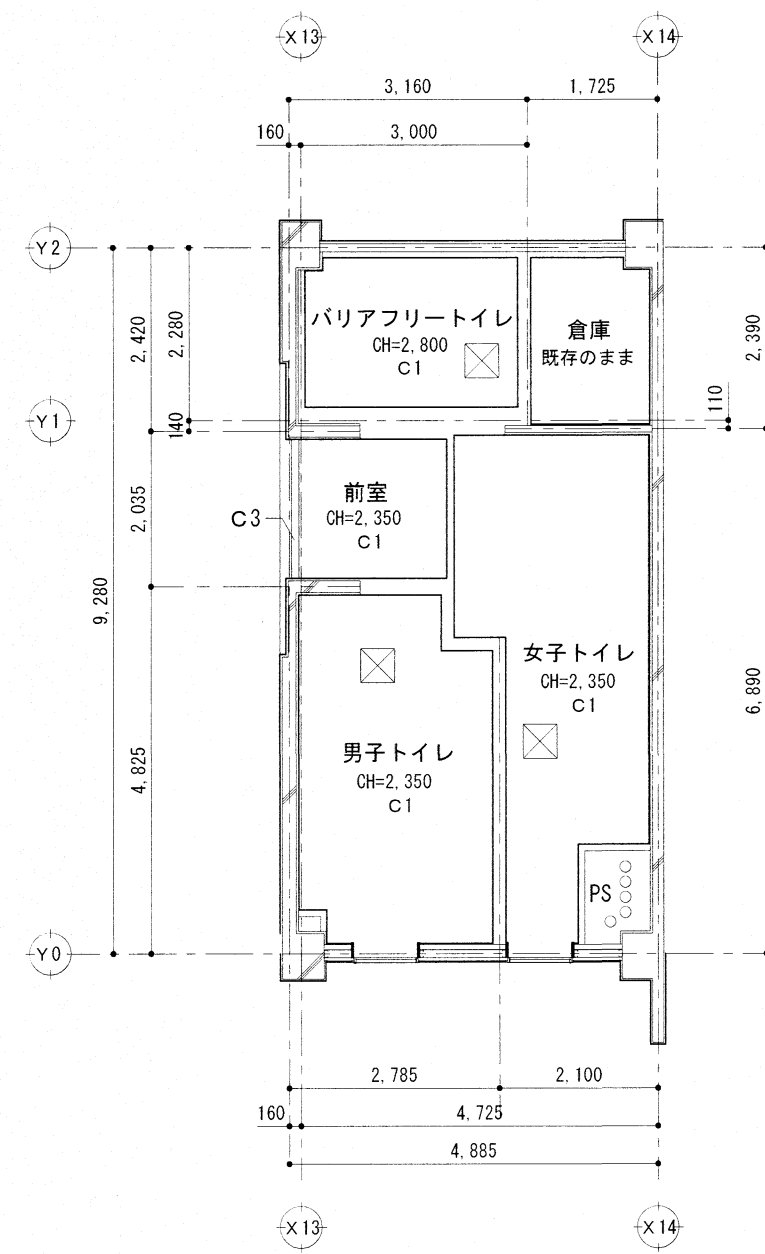


既存 3階天井伏図 S=1/100

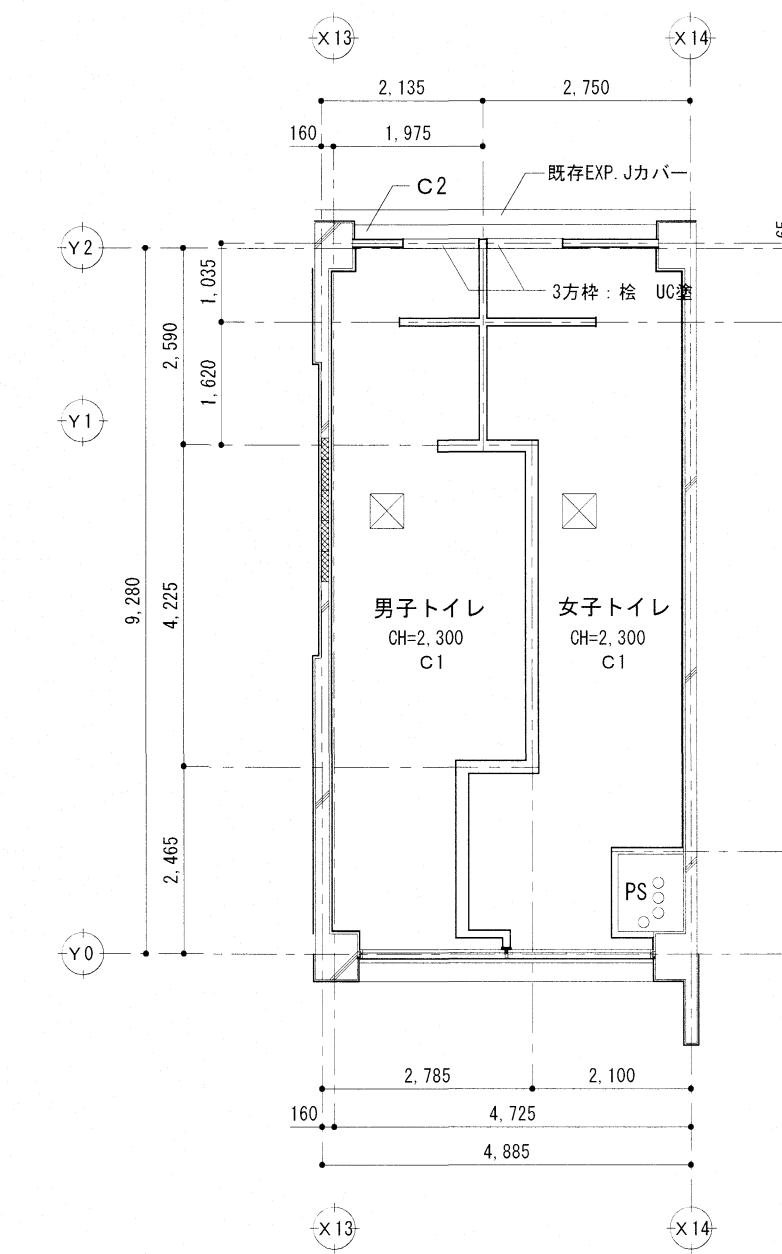
既存 天井仕上表	
K C 1	LGS下地 石こうボード t=9.5捨張 廻り縁：塩ビ 下地+仕上材・廻縁共撤去 ロックウール吸音化粧板 t=9.0張り
K C 2	LGS下地 石綿板 t=6.0 目透し張り VP塗 廻り縁：塩ビ 下地+仕上材・廻縁共撤去
K C 3	LGS下地 化粧吸音石こうボード t=9.5張り 既存のまま
K C 4	梁型：モルタル下地+EP塗り 既存のまま

天井点検口：450×450撤去

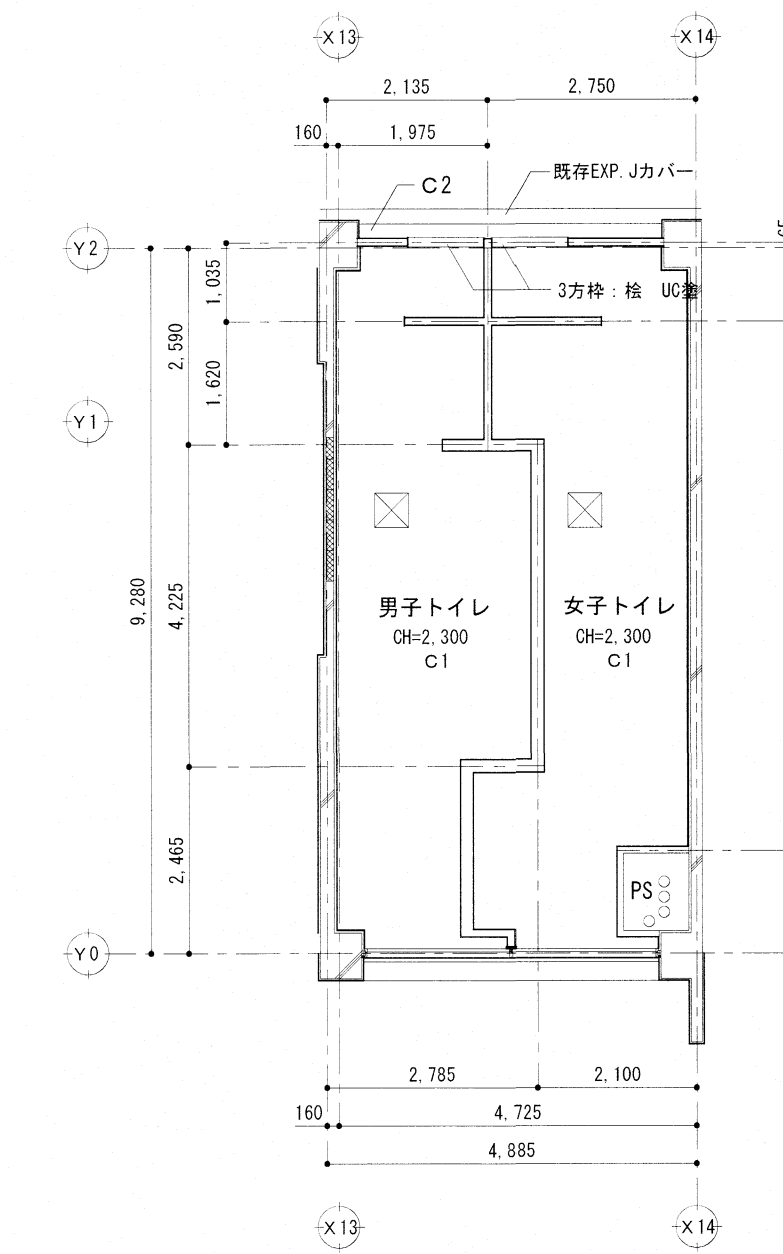
改修前



改修後 1階天井伏図 S=1/100



改修後 2階天井伏図 S=1/100

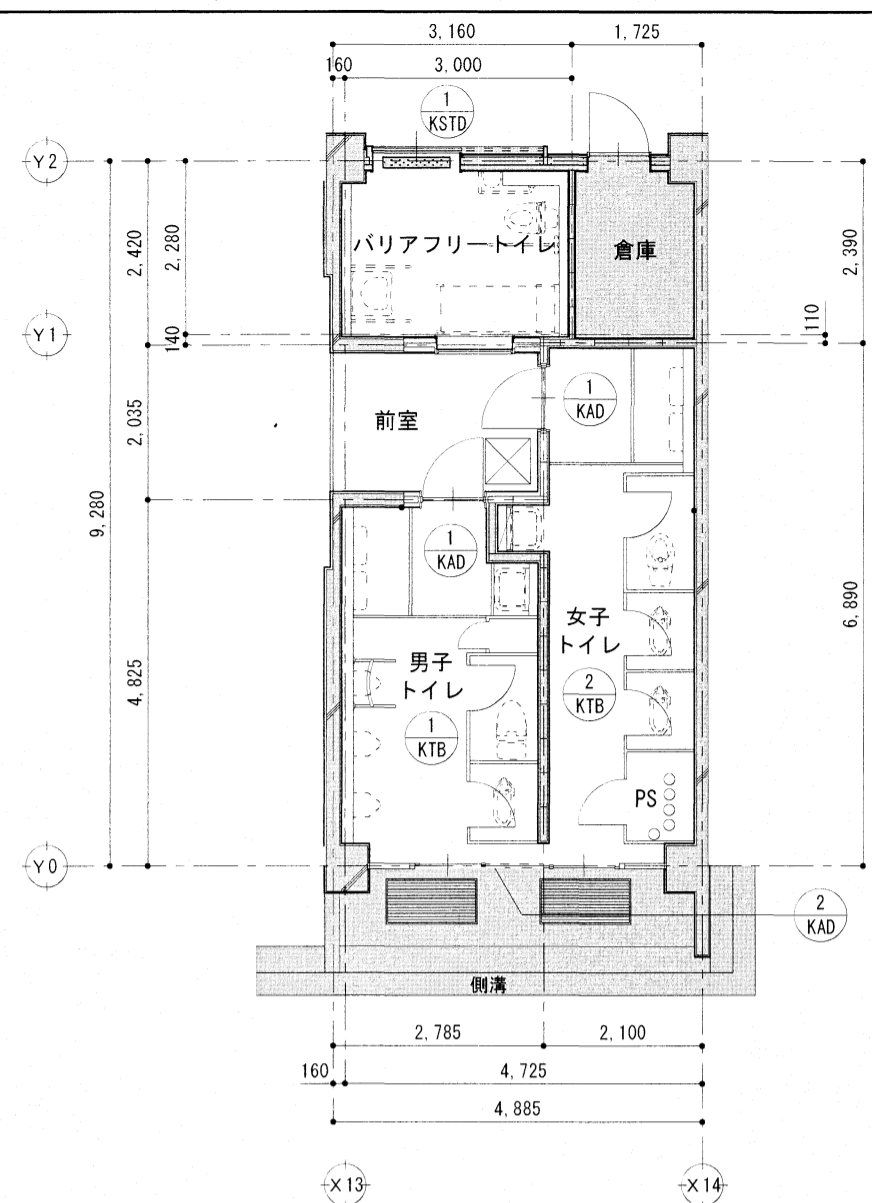


改修後 3階天井伏図 S=1/100

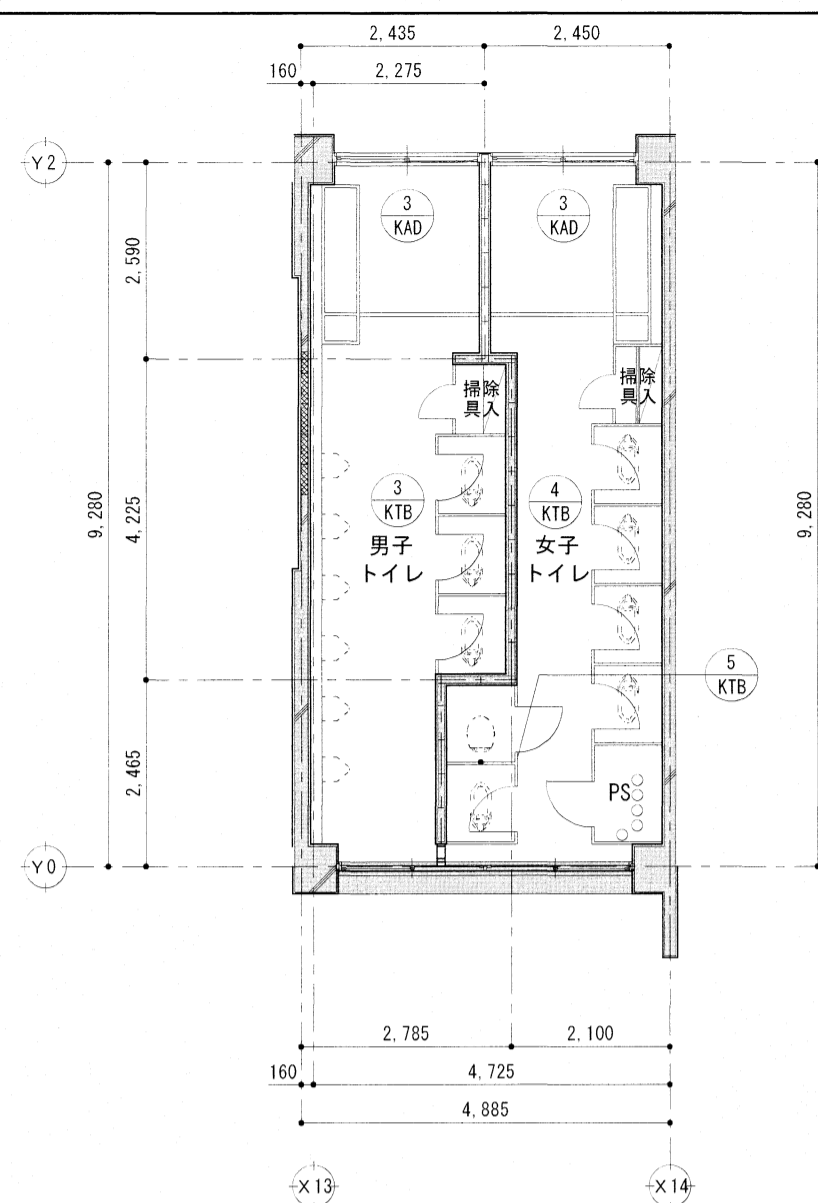
改修後 天井仕上表	
C 1	LGS下地 GB-D t=9.5直張り 廻り縁：塩ビ(目透タイプ)
C 2	下地調整の上 EP塗り
C 3	梁型：下地調整の上 EP塗り

天井点検口新設：アルミ製450角
*取付け位置は監督職員と協議による

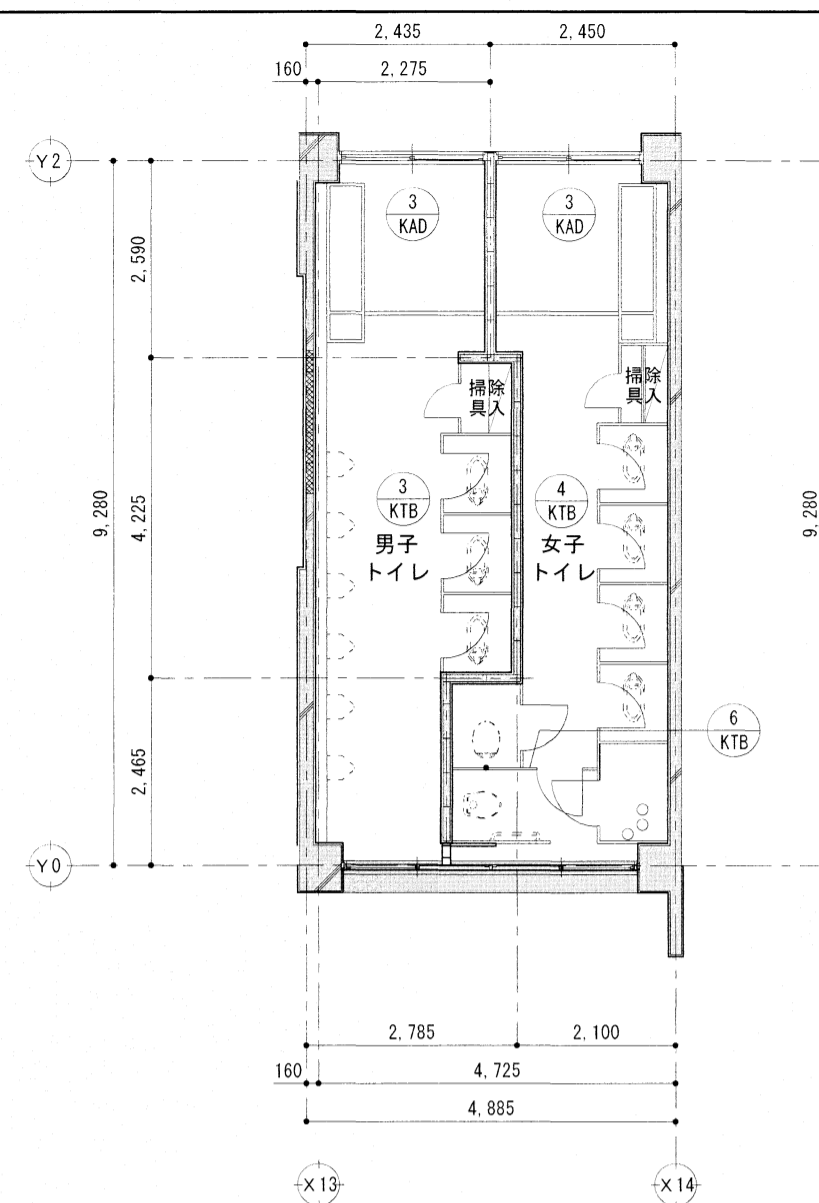
改修後



既存 1階建具配置図 S=1/100



既存 2階建具配置図 S=1/100

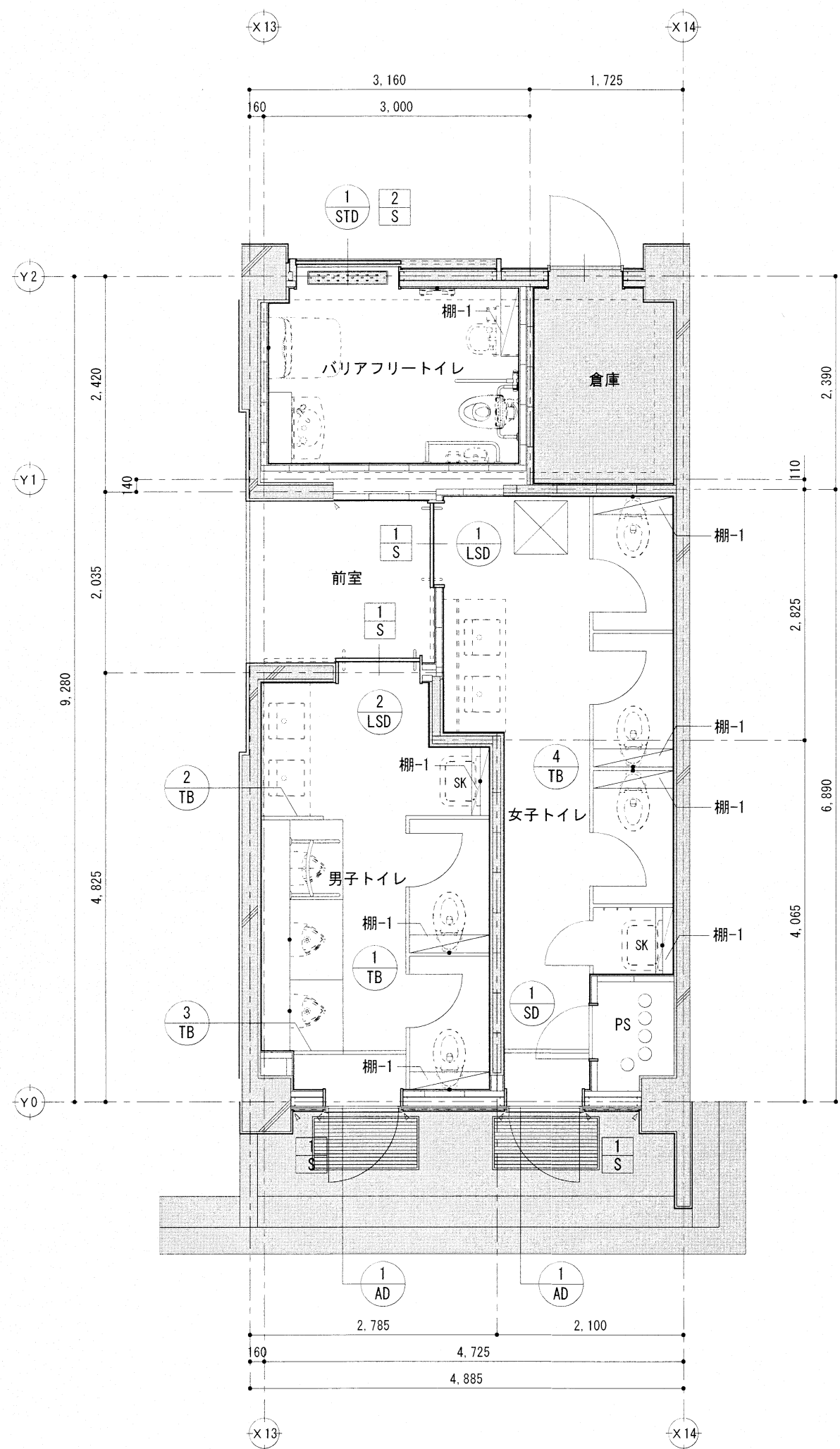


既存 3階建具配置図 S=1/100

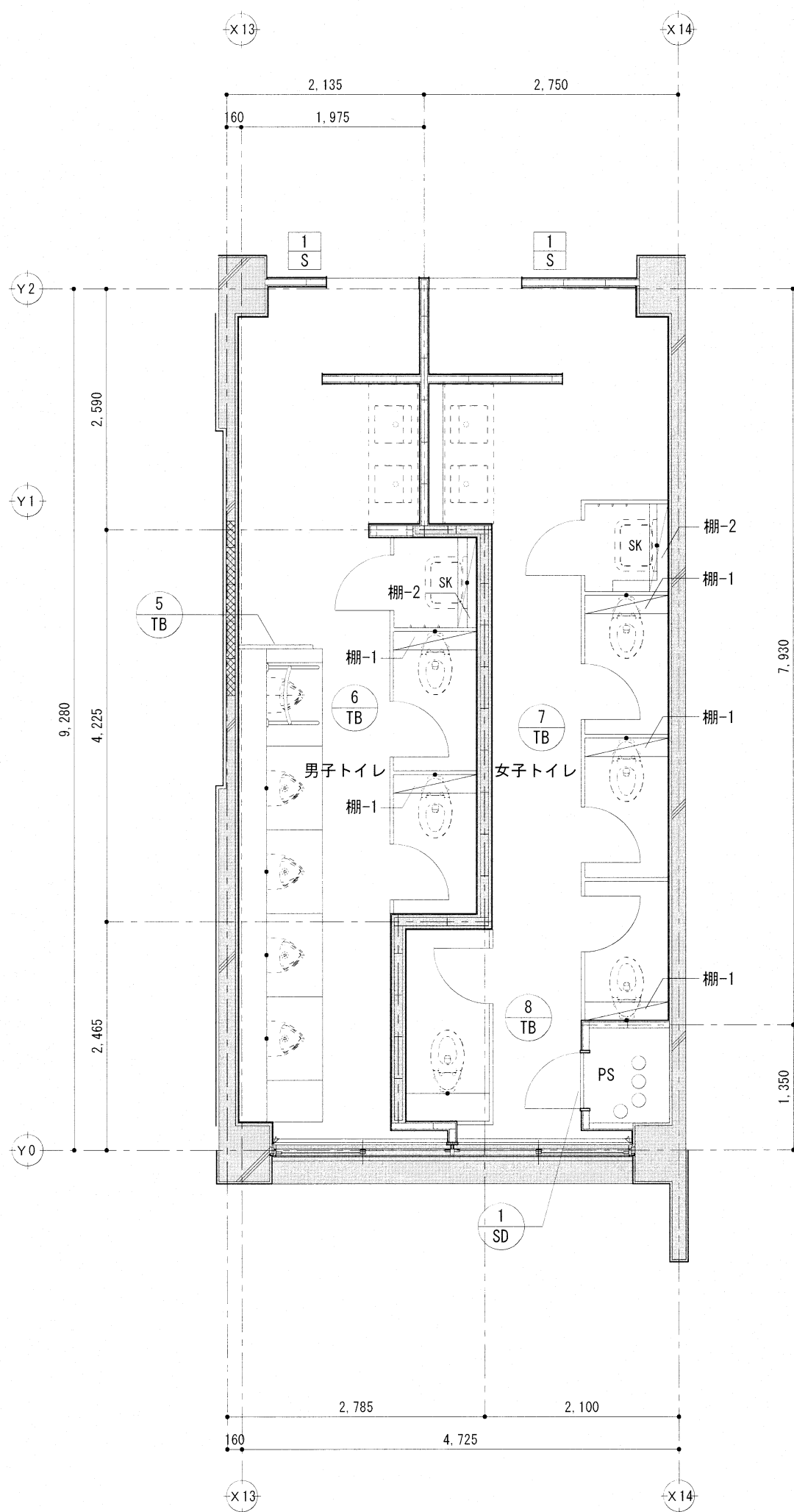
改修前

番号	1階 バリアフリートイレ	1階 男子トイレ・女子トイレ	2階 男子トイレ・女子トイレ	2・3階 男子トイレ・女子トイレ	1階 男子トイレ
形状寸法	開閉機のみ撤去 *ハンガー戸・3方枠は既存のまま	型板ガラス t=4.0撤去 型板ガラス t=4.0撤去 アルミパネル t=3.0撤去	網入り型板ガラス t=6.8撤去 下部アルミパネル t=3.0撤去	型板ガラス t=4.0撤去 下部アルミパネル t=3.0撤去	700 80 50 600 930 600 215 490 2,510 940 1,800 80 360 165 490 2,510 1215
材種	既存ステンレス片引きハンガー戸	既存アルミランマ付き片引き戸撤去	既存アルミランマ付き3枚引き戸+FIX戸撤去	既存アルミランマ付き引違い戸撤去	既存トイレベース撤去
金物					
塗装					
か所数	1か所	2か所	1か所	4か所	1か所
備考		アルミ3方枠撤去	アルミ3方枠撤去	アルミ3方枠撤去・SUS下枠撤去	
番号	2 KT B 1階 女子トイレ	3 KT B 2・3階 男子トイレ	4 KT B 2・3階 女子トイレ	5 KT B 2階 女子トイレ	6 KT B 3階 女子トイレ
形状寸法	940 250 600 960 600 450 600 575 600 250 4,885 1,800 250 600 960 600 450 600 575 600 250 4,885	940 260 450 600 450 600 450 600 190 910 200 270 3,160 1,800 260 450 600 450 600 450 600 190 910 200 270 3,160	940 650 400 450 600 450 600 450 600 690 600 230 1,050 200 270 5,540 1,800 400 450 600 450 600 450 600 690 600 230 1,050 200 270 5,540	940 165 600 450 600 280 2,095 1,800 165 600 450 600 280 2,095	280 600 220 600 1,800 1,120 600 200 1,920 200 220 600 280 A面 B面 1,100
材種	既存トイレベース撤去	既存トイレベース撤去	既存トイレベース撤去	既存トイレベース撤去	既存トイレベース撤去
金物					
塗装					
か所数	1か所	2か所	2か所	1か所	1か所
備考					

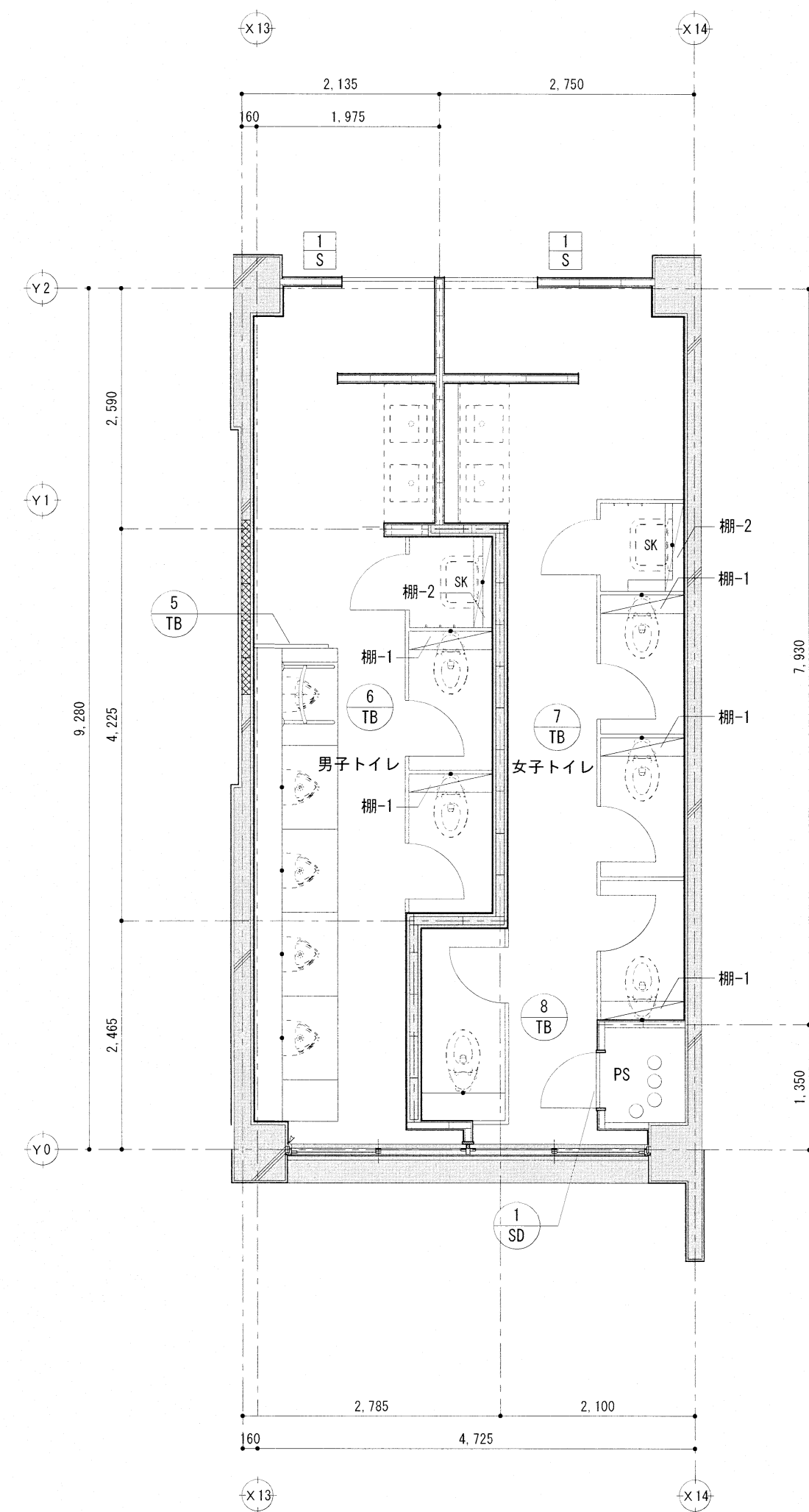
高知市 都市建設部 公共建築課				工事名 愛宕中学校南舎トイレ改修工事				松本琢史建築設計事務所 TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates 一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史	NO A-23 SCALE 1/100
係	係長	課長補佐	課長	図面名 建具表【改修前】					
(清) (大) (田) (松)				CHECKED BY	DRAWN BY	Matsumoto			



改修後 1階建具配置図 S=1/60



改修後 2階建具配置図 S=1/60



改修後 3階建具配置図 S=1/60

改修後

高知市 都市建設部 公共建築課				工事名 愛宕中学校南舎トイレ改修工事		松本琢史建築設計事務所 TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates		NO A-24
係	係長	課長補佐	課長	図面名 建具・サイン配置図【改修後】		SCALE 1/60		
信清	大下	西田	松本	CHECKED BY	DRAWN BY	Matsumoto		
用紙サイズによる縮尺補正值 A2: 100% A3: 70.7%				一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史				

番号	① STD 1階 バリアフリートイレ	① LSD 1階 女子トイレ	② LSD 1階 男子・女子トイレ	① SD 1～3階 PS	① AD 1階 男子・女子トイレ	
形状寸法						
材種	既存ステンレス片引きハンガー戸	スチール軽量片引きフラッシュハンガー戸 (外付け枠タイプ)	スチール片面フラッシュ片引き戸	カムロック (シリンダーカバー付)・SUS丁番・アームストッパー	アルミ片引き戸	
金物	開閉機 (自閉式吊りレール) 取替え	SUSハンドルL=400・鎌錠 (施設操作は前室側のみ)・付属金物一式	EP-G塗り	EP-G塗り	レバーハンドル錠・SUS丁番・DC・付属金物一式	
塗装		指定色焼付塗装			アルミシルバー	
ガラス		型板ガラス t=4.0 (60×800)			網入型板ガラス t=6.8 (680×915)	
か所数	1か所	計2か所	3か所	3か所	2か所	
備考	既存ステンレス3方枠: 美装	スチールガラリ 指定色焼付塗装	スチール3方枠 EP-G塗		SUS下枠	
番号	① TB 1階 男子トイレ	② TB 1階 男子トイレ	③ TB 1階 男子トイレ			
形状寸法						
材種	トイレベース (アルミアルエッジタイプ)	トイレベース (アルミアルエッジタイプ)	トイレベース (アルミアルエッジタイプ)			
金物		ステンレス幅木・ステンレス頭つなぎ・付属金物一式	ステンレス幅木・ステンレス頭つなぎ・付属金物一式			
塗装	高圧メラミン樹脂化粧板 (標準単色又は標準柄物)	高圧メラミン樹脂化粧板 (標準単色又は標準柄物)	高圧メラミン樹脂化粧板 (標準単色又は標準柄物)			
ガラス	ステンレス幅木・ステンレス頭つなぎ・グラビティーヒンジ・表示付スライド錠・戸当り・帽子掛け・付属金物一式	ステンレス幅木・ステンレス頭つなぎ・グラビティーヒンジ・表示付スライド錠・戸当り・帽子掛け・付属金物一式	ステンレス幅木・ステンレス頭つなぎ・グラビティーヒンジ・表示付スライド錠・戸当り・帽子掛け・付属金物一式			
か所数	1か所	1か所	1か所			
備考	内開き戸は、非常時外開き仕様					
番号	④ TB 1階 女子トイレ	⑤ TB 2・3階 男子トイレ	⑥ TB 2・3階 男子トイレ			
形状寸法						
材種	トイレベース (アルミアルエッジタイプ)	トイレベース (アルミアルエッジタイプ)	トイレベース (アルミアルエッジタイプ)			
金物		ステンレス幅木・ステンレス頭つなぎ・付属金物一式	ステンレス幅木・ステンレス頭つなぎ・付属金物一式			
塗装	高圧メラミン樹脂化粧板 (標準単色又は標準柄物)	高圧メラミン樹脂化粧板 (標準単色又は標準柄物)	高圧メラミン樹脂化粧板 (標準単色又は標準柄物)			
ガラス	ステンレス幅木・ステンレス頭つなぎ・グラビティーヒンジ・表示付スライド錠・戸当り・帽子掛け・付属金物一式	ステンレス幅木・ステンレス頭つなぎ・グラビティーヒンジ・表示付スライド錠・戸当り・帽子掛け・付属金物一式	ステンレス幅木・ステンレス頭つなぎ・グラビティーヒンジ・表示付スライド錠・戸当り・帽子掛け・付属金物一式			
か所数	1か所	2か所	2か所			
備考	内開き戸は、非常時外開き仕様		内開き戸は、非常時外開き仕様			
番号	⑦ TB 2・3階 女子トイレ	⑧ TB 2・3階 女子トイレ				
形状寸法						
材種	トイレベース (アルミアルエッジタイプ)	トイレベース (アルミアルエッジタイプ)				
金物	ステンレス幅木・ステンレス頭つなぎ・グラビティーヒンジ・表示付スライド錠・戸当り・帽子掛け・付属金物一式	ステンレス幅木・ステンレス頭つなぎ・グラビティーヒンジ・表示付スライド錠・戸当り・帽子掛け・付属金物一式				
塗装	高圧メラミン樹脂化粧板 (標準単色又は標準柄物)	高圧メラミン樹脂化粧板 (標準単色又は標準柄物)				
ガラス						
か所数	2か所	2か所				
備考	内開き戸は、非常時外開き仕様	内開き戸は、非常時外開き仕様				

改修後

高知市 都市建設部 公共建築課

係 係長 課長補佐 課長

信 大 雷 松

工事名 愛宕中学校南舎トイレ改修工事

図面名 建具表【改修後】

CHECKED BY

DRAWN BY

Matsumoto

松本琢史建築設計事務所

TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates

一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史

NO

A-25

SCALE

1/100

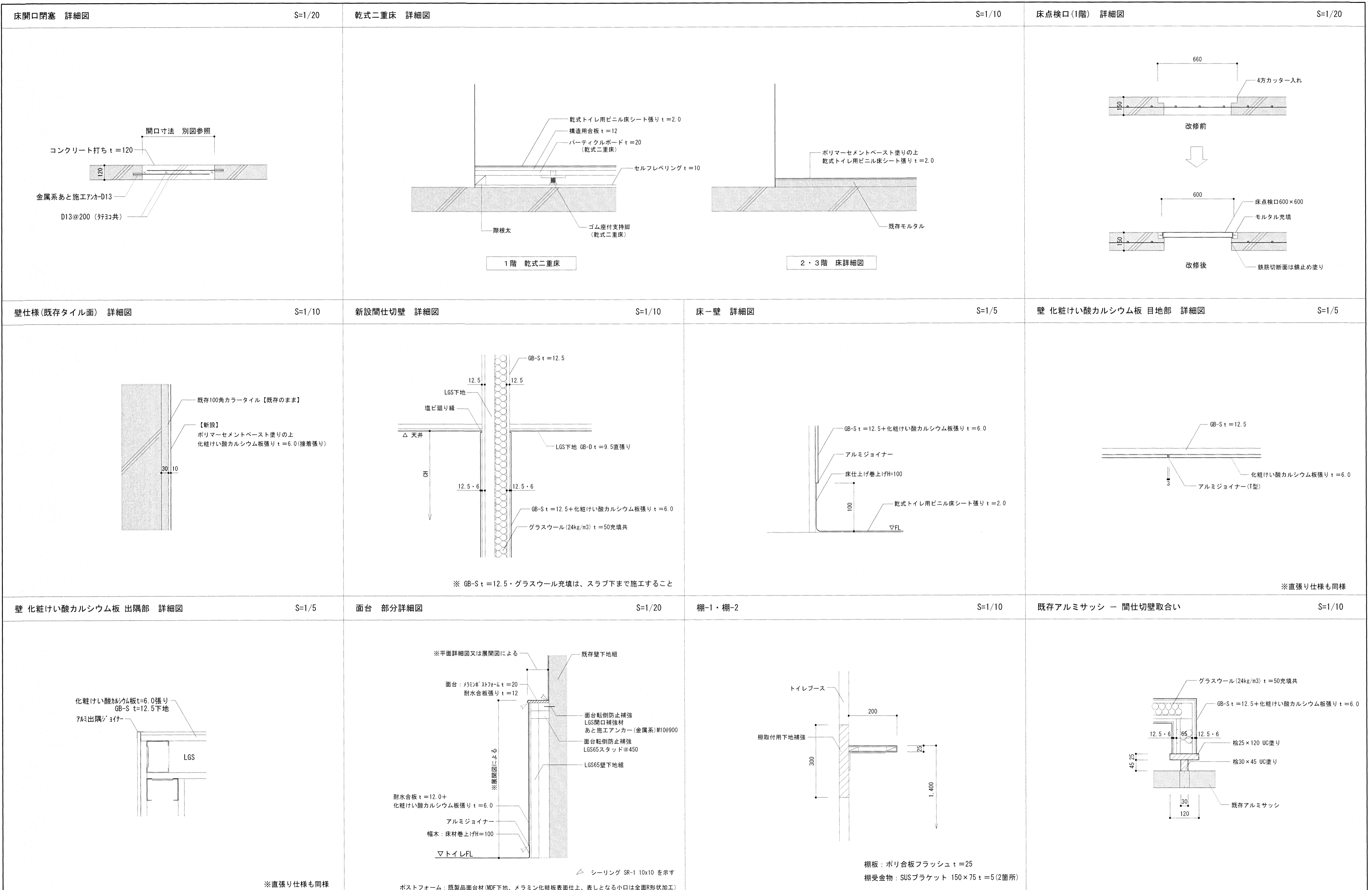
用紙サイズによる縮尺補正值 A2: 100% A3: 70.7%

記号	既存ピクトサイン（平付けタイプ）撤去	既存室名サイン 撤去	記号	<table border="1"><tr><td>1</td></tr><tr><td>S</td></tr></table> ピクトグラフ	1	S	S=1/10
1							
S							
姿図			姿図	<p>男子トイレ：4箇所</p> <p>女子トイレ：4箇所</p> <p>5 3</p> <p>ピクトグラフは公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団「標準案内用記号ガイドライン」による。</p>			
材種	アクリル板【撤去】	アクリル板【撤去】	材種	アクリル板・カットニングシート			
か所数	1か所	6か所	か所数	計8か所			
備考			備考				
記号			記号	<table border="1"><tr><td>2</td></tr><tr><td>S</td></tr></table> ピクトグラフ + 扉 ピクトサイン	2	S	S=1/10
2							
S							
姿図			姿図	<p>5 3</p> <p>120</p> <p>120</p> <p>ピクトグラフは公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団「標準案内用記号ガイドライン」による。</p>			
材種			材種	アクリル板・カットニングシート			
か所数			か所数	ピクトグラフ計1か所 ピクトサイン計2か所			
備考			備考				
記号			記号				
姿図			姿図				
材種			材種				
か所数			か所数				
備考			備考				

改修前

改修後

高知市 都市建設部 公共建築課				工事名 愛宕中学校南舎トイレ改修工事		NO A-26	
係	係長	課長補佐	課長	図面名 サイン図【改修前・後】		SCALE 1/10	
				CHECKED BY	DRAWN BY Matsumoto	一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史	



高知市 都市建設部 公共建築課				工事名 愛宕中学校南舎トイレ改修工事		NO A-27	
係	係長	課長補佐	課長	図面名 部分詳細図		SCALE 1/5・10・20	
用紙サイズによる縮尺補正值 A2: 100% A3: 70.7%				CHECKED BY	DRAWN BY	Matsumoto	
信 大 松				松本琢史建築設計事務所 TAKUJI MATSUMOTO Architect & Associates		一級建築士大臣登録第322947号 松本琢史	